

関西電力株式会社
高浜発電所第2号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1610072号99

成績書管理番号：i-10

令和4年 3月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-10

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第2号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和3年3月23日
至 令和4年3月2日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録


検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第321号(平成28年10月7日) 関原発第435号(平成30年3月20日) 関原発第 47号(平成30年4月20日) 関原発第203号(平成30年7月4日) 関原発第260号(平成30年8月20日) 関原発第416号(平成30年12月5日) 関原発第505号(平成31年2月1日) 関原発第513号(平成31年2月6日) 関原発第 4号(平成31年4月4日) 関原発第 69号(2019年5月16日) 関原発第116号(2019年6月24日) 関原発第205号(2019年8月23日) 関原発第511号(2020年1月31日) 関原発第543号(2020年2月26日) 関原発第618号(2020年3月24日) 関原発第 23号(2020年4月 7日) 関原発第 23号(2021年4月 30日) 関原発第293号(2021年 8月 2日) 関原発第562号(2022年 2月 28日)
--------------------	---

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-10

検査年月日	検査結果	原子力施設検査官 氏名	検査立会責任者 氏名	特記事項
令和3年 3月23日	良	原子力検査官 須貝実	ボロークーザン 主任技術者 	なし

3

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-10

検査年月日：令和3年3月23日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・一	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：1-10

検査年月日：令和3年 3月 23日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・—	
系統構成が完了していること。	立会 記録確認	良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：1-10

検査年月日：令和3年3月23日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象			
原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 主配管 別添1に示す範囲			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
耐圧検査、 漏えい検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">目視</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">記録確認*</div>
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-0107 * 検査対象のうち目視で確認した範囲を除く範囲について確認 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
 (一号検査)
 (立会検査)

成績書管理番号：1-10

検査年月日：令和3年3月23日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
アキュラス 出口取合点 ～ 排気筒 取合点	耐圧検査、 漏えい検査	別紙2参照	良	目視※1
備考 ※1：検査対象のうち別添2に示す範囲について確認				

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
検査用計器一覧表

成績書管理番号：1-10

検査年月日：令和3年3月23日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
耐圧検査、 漏えい検査	圧力計				2020.10.5 2023.9.14	
耐圧検査、 漏えい検査	圧力計				2020.10.5 2023.9.14	
以下余白						

最高使用 圧力 (MP a)	耐圧検査 規定圧力 (MP a)	耐圧検査時 圧力 (MP a)	保持 時間 (分)	漏えい検査時 圧力 (MP a)	水圧 気圧 区分
0.035 ^{※1}	0.035	0.0357	11	0.0356	気圧
備考 ※1：重大事故等時における使用時の値					

工事計画本文（原規規発第1606105号（平成28年6月10日認可））

原子炉格納施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るものにあつては、次の事項

3 圧力低減設備その他の安全設備に係る次の事項

(4) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備に係る次の事項

ヌ 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料
・常設

変更前						変更後					
名 称	最高使用	最高使用	外 径	厚 さ	材 料	名 称	最高使用	最高使用	外 径	厚 さ	材 料
	圧 力	温 度					圧 力	温 度			
	(MPa)	(℃)	(mm)	(mm)			(MPa)	(℃)	(mm)	(mm)	
可燃性ガス 濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 放射性物質濃度制御設備及び 放射線濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	0.015	115	(注2) 508	(注2) 2.3	SS41	変更なし	0.035 (注3)	125 (注3)	変更なし		
			(注2) 500	(注2) 2.3	SS41				(注2) 508	(注2) 3.0	SUS304
			(注2,4) 500	(注2,4) 2.3	SS41				変更なし		
			500 /	2.3							
(注2,4) 508	2.3										

: 検査対象範囲

(注1) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

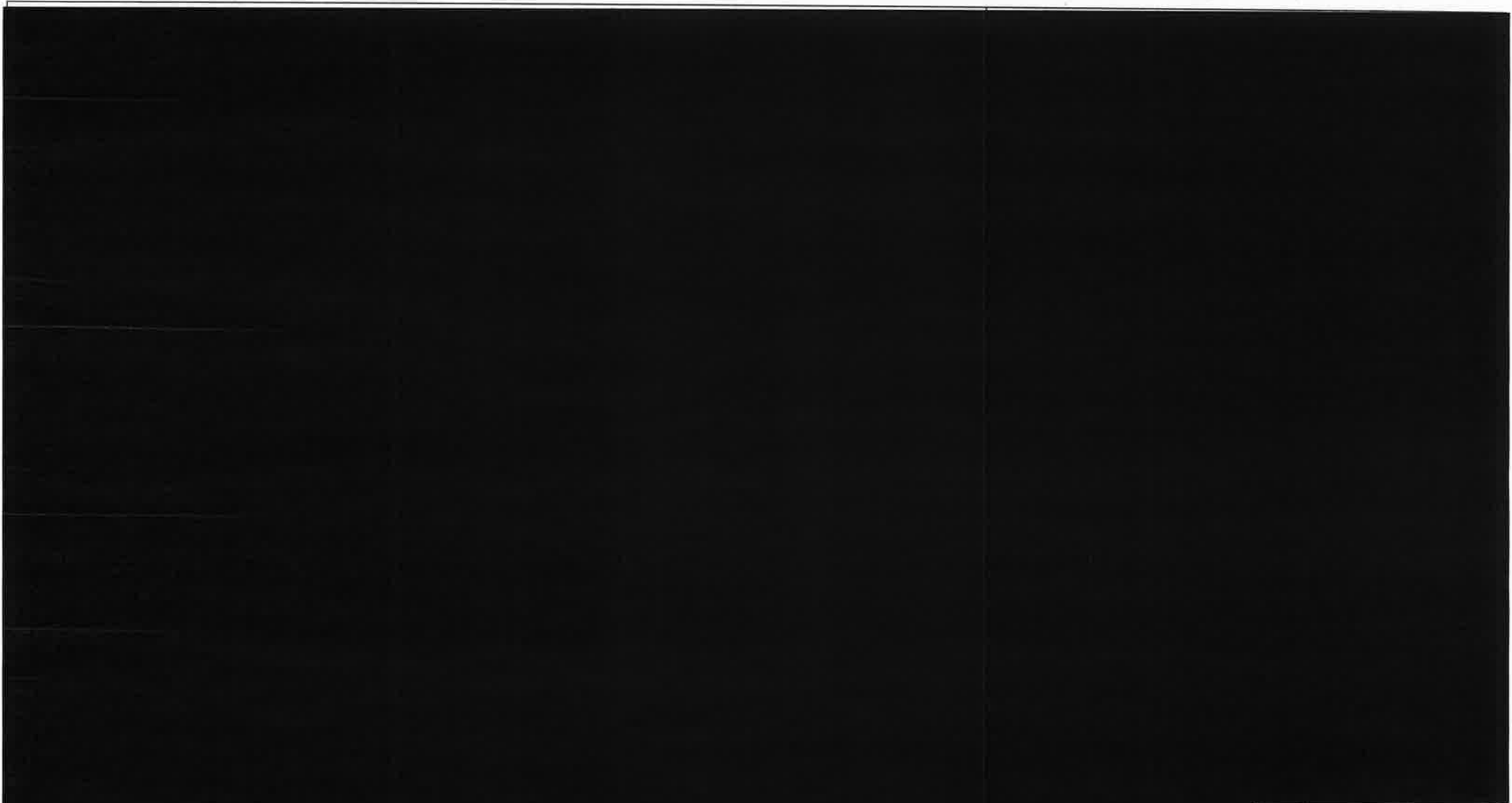
(注2) 公称値

(注3) 重大事故等時における使用時の値

(注4) 入口と出口の口径が異なる管である。

(注5) 本設備は既存の設備である。

12




検査範囲図 (配置図 1 / 2)	
工事計画認可申請	第7-1-42図
高浜発電所第2号機	
原子炉格納施設に係る機器の 配置を明示した図面 (圧力低減設備その他の安全設備 (放射性物質濃度制御設備及び 可燃性ガス濃度制御設備並びに 格納容器再循環設備)) (L/6)	
関西電力株式会社	

令和3年3月23日 別添2

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-10

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和4年 3月2日	良	増本 豊 平川 圭司	ホワイター-タ-ヒン主任技術者 	なし

71

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-10

検査年月日：令和4年 3 月 2 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	良・一	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：1-10

検査年月日：令和4年 3月 2日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	⊙・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	⊙・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	⊙・—	
系統構成が完了していること。	立会/ ⓪記録確認	⊙・—	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
(一号検査)

成績書管理番号：1-10

検査年月日：令和7年 3月 2日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象			
原子炉格納施設 原子炉格納容器 原子炉格納容器本体 機器搬出入口 エアロック 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部 燃料移送管貫通部 固定式配管貫通部 伸縮式配管貫通部 電気配線貫通部 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備） 別添1に示す範囲			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
耐圧検査、 漏えい検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1006、T2-1-0323 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

設 備 概 要

工事計画本文（原規規発第1606105号（平成28年6月10日認可））

原子炉格納施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るものにあつては、次の事項

1 原子炉格納容器に係る次の事項

(1) 原子炉格納容器本体の名称、種類、最高使用圧力、最高使用温度、設計漏えい率、主要寸法、材料及び個数

			変 更 前	変 更 後
名 称			原子炉格納容器	変更なし
種 類	—		上部半球、下部さら形鏡円筒形	変更なし
最 高 使 用 圧 力	MPa		0.261 (注1,2)	変更なし ※ 0.305 (注3)
最 高 使 用 温 度	℃		122	変更なし 138 (注3)
設 計 漏 え い 率	(注4) %/d			
主 要 寸 法	胴 内 径	mm		変更なし
	上 部 鏡 板 内 半 径	mm		
	下部鏡板中央部内半径 (注6)	mm		
	下部鏡板隅の丸み半径 (注7)	mm		
	胴 板 厚 さ	mm		
	上 部 鏡 板 厚 さ	mm		
	下 部 鏡 板 厚 さ	mm		
	高 さ (注9)	mm		
材 料	—			
個 数	—		1 (注11)	

(注1) SI単位に換算したものである。

(注2) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内圧 2.66 外圧 ー」と記載

(注3) 重大事故等時における使用時の値

(注4) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「%/day」と記載

(注5) 公称値

(注6) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「下部鏡中央部内半径」と記載

(注7) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「下部鏡すみの丸みの内半径」と記載

(注8) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和46年2月27日付け45公第13560号にて認可された工事計画の資料2-1「原子炉格納容器板厚ならびに補強板等の計算書」による。

※SA使用前検査の変更申請(2020年2月28日付け関原発第562号)を行ったことから、一部検査対象から除く(別図参照)

(注9) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高」と記載

(注10) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ASTM A516 Gr.70 A300 (JIS SB49相当材)」
と記載

(注11) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

(2) 機器搬出入口の名称、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料及び個数

			変更前	変更後
名 称			機器搬入口 (注1)	変更なし
最 高 使 用 圧 力	MPa		0.261 (注2,3)	変更なし 0.305 (注4)
最 高 使 用 温 度	℃		122 (注3)	変更なし 138 (注1)
主 要 寸 法	内 径 (注5)	mm		変更なし
	胴 長 さ	mm		
	ふ た 内 半 径	mm		
	胴 板 厚 さ (注8)	mm		
	ふ た 板 厚 さ (注10)	mm		
材 料	—			
個 数	—		1	

(注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書の「種類」の記載を削除

(注2) SI単位に換算したものである。

(注3) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書「原子炉格納容器」の記載による。

(注4) 重大事故等時における使用時の値

(注5) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴内径」と記載

(注6) 公称値

(注7) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和46年2月27日付け45公第13560号にて認可された工事計画の資料2-3「エアロツクおよび機器搬入口応力解析書」による。

(注8) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴板厚」と記載

(注9) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「XXXXXXXXXX」と記載。なお、昭和46年2月27日付け45公第13560号にて認可された工事計画の資料2-3「エアロツクおよび機器搬入口応力解析書」にて、最小板厚XXXXの部材を解析条件に考慮していないため、既工事計画書の「XXXXXXXXXX」の記載を削除

(注10) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「盲板板厚」と記載

(3) エアロックの名称、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料及び個数

		変更前	変更後
名 称		通常用及び非常用エアロック (注1)	変更なし
最 高 使 用 圧 力	MPa	0.261 (注2)	変更なし 0.305 (注3)
最 高 使 用 温 度	℃	122 (注2)	変更なし 138 (注3)
主 要 寸 法	内 径 (注4)	[Redacted]	変更なし
	胴 長 さ		
	胴 板 厚 さ (注6)		
	と び ら 厚 さ (注8)		
材 料	—		
個 数	—	通常用 1、非常用 1 (注9)	

(注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書の「種類」の記載を削除

(注2) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書「原子炉格納容器」の記載による。

(注3) 重大事故等時における使用時の値

(注4) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴内径」と記載

(注5) 公称値

(注6) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴板厚」と記載

(注7) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和46年2月27日付け45公第13560号にて認可された工事計画の資料2-3「エアロックおよび機器搬入口応力解析書」による。

(注8) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「扉板厚」と記載

(注9) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「各1」と記載

(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部の名称又は貫通部番号、種類、個数、最高使用圧力、最高使用温度、構成、主要寸法及び材料

a 燃料移送管貫通部

変更前								変更後																								
貫通部番号	種類	個数	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	構成	主要寸法 (mm)			材料	貫通部番号	種類	個数	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	構成	主要寸法 (mm)			材料													
						外径	長さ	厚さ								外径	長さ	厚さ														
200	22B 貫通部	1	0.261 ^(注2)	122 ^(注3)	スリーブ ^(注4)	[REDACTED]			変更なし	変更なし	0.305 ^(注7)	138 ^(注7)	変更なし					変更なし														
					端板																											
			0.24 ^(注5)	122 ^(注5)	貫通配管																											

(注1) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。

(注2) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書に記載の原子炉格納容器の最高使用圧力の値

(注3) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書に記載の原子炉格納容器の最高使用温度の値

(注4) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「[REDACTED]」と記載

(注5) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

(注6) 公称値

(注7) 重大事故等時における使用時の値

(注8) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SUS27HP」と記載

171

変 更 前										変 更 後									
貫通部 番 号	種 類	個 数	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	構 成	主 要 寸 法 (mm)			材 料	貫通部 番 号	種 類	個 数	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	構 成	主 要 寸 法 (mm)			材 料
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ	
224	10B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	224	変更なし	1	0.305	138	変更なし	変更なし	変更なし	[REDACTED]	
				200	端 板								0.305	138					
			17.2	貫通配管	0.305								138						
227	12B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	227	変更なし	1	0.305	138	変更なし	変更なし	変更なし	[REDACTED]	
				200	端 板								0.305	138					
			4.1	貫通配管	0.305								138						
228	4B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	変更なし	1	0.305	138	変更なし	変更なし	変更なし	[REDACTED]		
				端 板	0.305							138							
			0.98	貫通配管	0.305							138							

ア

変更前										変更後										
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料	
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ		
229	3/4B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	変更なし	変更なし	0.305	138	端 板	変更なし	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	
			0.24	122	貫通配管								変更なし							変更なし
			0.261	122	スリーブ								変更なし							138
230	2B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	変更なし	変更なし	0.305	138	端 板	変更なし	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	
			7.48	291	貫通配管								変更なし							変更なし
			0.261	291	端 板								変更なし							変更なし
231	3/4B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	変更なし	変更なし	0.305	138	端 板	変更なし	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	
			7.48	291	貫通配管								変更なし							変更なし
			0.261	291	端 板								変更なし							変更なし

7

変更前								変更後											
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ	
232	3/4B 貫通部	1	0.261	122 ^(E7)	スリーブ ^(E1)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	[Redacted]	[Redacted]	0.305 ^(E4)	変更なし ^(E0)	変更なし	変更なし	[Redacted]	[Redacted]	
				291 ^(E3)	端 板									138					
			7.48 ^(E4, E1)	291 ^(E3)	貫通配管								変更なし	変更なし					
233	2B 貫通部	1	0.261	122 ^(E7)	スリーブ ^(E1)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	[Redacted]	[Redacted]	0.305 ^(E4)	変更なし ^(E1)	変更なし	変更なし	[Redacted]	[Redacted]	
				291 ^(E3)	端 板									138					
			7.48 ^(E4, E1)	291 ^(E3)	貫通配管								変更なし	変更なし					

27

変更前								変更後													
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料		
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ			
234	1B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]		
				150	端 板															0.305	138
			7.8	貫通配管	変更なし																変更なし
254	3/4B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]		
				150	端 板															0.305	138
			17.2	貫通配管	変更なし																変更なし
255	1B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]		
				端 板	0.305															138	変更なし
			4.9	50																貫通配管	変更なし

28

変更前								変更後											
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構成	主要寸法 (mm)			材料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構成	主要寸法 (mm)			材料
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ	
256	12B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	256	変更なし	1	0.305	138	端 板	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
			0.98	95	貫通配管								1.2	138					
257	12B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	257	変更なし	1	0.305	138	端 板	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
			0.98	95	貫通配管								1.2	161					
258	10B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	1	0.305	138	端 板	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
			17.2	200	貫通配管								変更なし	変更なし					

29

変更前								変更後												
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料	
						外 径	長 さ	厚 ・ さ								外 径	長 さ	厚 さ		
259	3B 貫通部	1	0.261	122 ^(16.7)	スリーブ ^(16.1)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	変更なし	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	
				150 ^(16.2)	端 板								0.305 ^(16.4)	138 ^(16.1)						変更なし
			17.2 ^(16.3, 16)	150 ^(16.2)	貫通配管								変更なし	変更なし						変更なし
260	2B 貫通部	1	0.261	122 ^(16.7)	スリーブ ^(16.1)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	変更なし	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	
				18.8 ^(16.3, 16)	95 ^(16.3)								貫通配管	変更なし						変更なし
			17.2 ^(16.3, 16)	150 ^(16.2)	端 板								0.305 ^(16.4)	138 ^(16.1)						変更なし
261	3B 貫通部	1	0.261	122 ^(16.7)	スリーブ ^(16.1)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	変更なし	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	
				150 ^(16.3)	端 板								0.305 ^(16.4)	138 ^(16.1)						変更なし
			17.2 ^(16.3, 16)	150 ^(16.2)	貫通配管								変更なし	変更なし						変更なし

UC

変更前								変更後											
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ	
262	3B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	0.305	138	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
				150	端 板									138					
			17.2	貫通配管	変更なし									変更なし					
263	10B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	0.305	138	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
				200	端 板									138					
			17.2	貫通配管	変更なし									変更なし					
275	2B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	0.305	138	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
				端 板	138														
			18.8	95	貫通配管														

21

変更前								変更後											
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ	
276	3B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	0.305	138	端 板	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
				150	端 板									138	端 板				
			17.2	貫通配管	138									貫通配管					
277	12B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	0.305	138	端 板	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
				200	端 板									138	端 板				
			4.1	貫通配管	138									貫通配管					
278	2B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	0.305	138	端 板	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
				170	端 板									138	端 板				
			0.7	貫通配管	138									貫通配管					

変更前								変更後											
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ	
279	2B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	変更なし	変更なし	0.305	変更なし	138	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	
				291	端 板								変更なし	変更なし					
			7.48	291	貫通配管								変更なし	変更なし					
280	3B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	変更なし	変更なし	0.305	変更なし	138	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	
				端 板	変更なし								変更なし						
			0.98	95	貫通配管								変更なし	変更なし					
281	1B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	変更なし	変更なし	0.305	変更なし	138	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	
				端 板	変更なし								変更なし						
			0.7	95	貫通配管								変更なし	変更なし					

22

変更前										変更後									
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ	
282	3/4B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	変更なし	0.305	138	端 板	変更なし	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	
			0.18	95	貫通配管								変更なし						変更なし
			0.261	122	スリーブ								変更なし						変更なし
283	2B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	変更なし	0.305	138	端 板	変更なし	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	
			18.8	95	貫通配管								変更なし						変更なし
			0.261	122	スリーブ								変更なし						変更なし
284	3/4B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	変更なし	0.305	138	端 板	変更なし	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	
			7.48	291	貫通配管								変更なし						変更なし
			0.261	291	端 板								変更なし						変更なし

110

変更前										変更後									
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ	
285	3B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	変更なし	138	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]
			0.98	95	端 板								0.305	138					
286	2B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	変更なし	138	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]
			4.1	200	端 板								0.305	138					
287	3B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	変更なし	138	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]
			0.98	95	端 板								0.305	138					

76

変更前								変更後																		
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料							
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ								
288	3B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	288	変更なし	1	変更なし	変更なし	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]								
			18.8	95	貫通配管								0.305	138					変更なし	138						
289	3B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ					[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	1	変更なし	変更なし	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]				
			0.98	65	貫通配管												0.305	138					変更なし	138		
290	3/4B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ									[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	1	変更なし	変更なし	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
			0.98	50	貫通配管																0.305	138				

変更前							変更後												
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ	
291	3/4B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	変更なし	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
				170	端 板								0.305	138					
			0.7	170	貫通配管								変更なし	変更なし					
301	3B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	変更なし	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
				170	端 板								0.305	138					
			0.98	95	貫通配管								変更なし	変更なし					
326	8B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	変更なし	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
				170	端 板								0.305	138					
			0.98	95	貫通配管								変更なし	変更なし					

変更前							変更後																																	
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料																					
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ																						
378	2B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ				378	変更なし	1	変更なし	変更なし	変更なし																										
			0.83	50	貫通配管							0.305	138																											
329	6B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ															378	変更なし	1	変更なし	変更なし	変更なし															
			0.98	95	貫通配管																		0.305	138																
331	3/4B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ																										378	変更なし	1	変更なし	変更なし	変更なし				
			17.2	343	貫通配管																													0.305	138					
									378	変更なし	1			変更なし	変更なし	変更なし																								
															378				変更なし	1	変更なし	変更なし			変更なし															
																								378						変更なし	1	変更なし	変更なし			変更なし				
									378	変更なし	1					変更なし	変更なし	変更なし																						

11

変更前							変更後												
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ	
332	2B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	332	変更なし	1	変更なし	変更なし	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	
			0.83	50	貫通配管								0.305	138					変更なし
			0.98	138	貫通配管								0.98	138					変更なし
353	4B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	1	変更なし	変更なし	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	
			343	端 板	0.305								138	変更なし					
			17.2	343	貫通配管								変更なし	変更なし					
354	3/4B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	1	変更なし	変更なし	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	
			150	端 板	0.305								138	変更なし					
			4.9	150	貫通配管								変更なし	変更なし					

69

変更前										変更後																																	
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料																								
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ																									
355	3/4B ×2 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	変更なし	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]																								
			0.305	138	端 板								変更なし	変更なし																													
375	1 1/4B ×2 貫通部	1	0.24	122	貫通配管								[Redacted]	[Redacted]						[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	変更なし	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]												
			0.261	122	スリーブ																				変更なし	変更なし																	
377	1B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ																				[Redacted]	[Redacted]						[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	変更なし	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
			0.305	138	端 板																																変更なし	変更なし					
375	1 1/4B ×2 貫通部	1	0.24	122	貫通配管	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]			変更なし	変更なし	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]																		[Redacted]	[Redacted]					
			0.305	138	端 板										変更なし	変更なし																											
377	1B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ								[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]				[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	変更なし			[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]												
			0.98	65	貫通配管																		変更なし	変更なし																			

変更前										変更後																
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料							
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ								
380	2B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	1	変更なし	変更なし	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]								
			0.7	120	貫通配管							0.305	138						変更なし							
381	1/8B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ					[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	1	変更なし	変更なし	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]				
			17.2	360	貫通配管											0.305	138						変更なし			
382	3/4B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ									[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	1	変更なし	変更なし	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
			17.2	360	貫通配管															0.305	138					

変更前										変更後									
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ	
383	3B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	変更なし	1	0.305	138	変更なし	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
			0.98	95	貫通配管								変更なし	変更なし					
			0.261	122	スリーブ								変更なし	変更なし					
455	1 1/4B ×2 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	変更なし	1	0.305	138	変更なし	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
			0.24	122	貫通配管								変更なし	変更なし					
			0.261	122	スリーブ								変更なし	変更なし					
384	3B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	変更なし	1	0.305	138	変更なし	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
			0.98	95	貫通配管								変更なし	変更なし					
			0.261	122	スリーブ								変更なし	変更なし					

変更前							変更後												
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ	
385	3/4B 貫通部	1	0.261 ^(G1b)	122 ^(G17)	スリーブ ^(G11)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	1	変更なし ^(G14)	変更なし ^(G13)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	
			0.305 ^(G14)	138 ^(G13)	変更なし														
			17.2 ^(G13,11)	360 ^(G12)	貫通配管							変更なし	変更なし						
386	3/4B 貫通部	1	0.261 ^(G16)	122 ^(G17)	スリーブ ^(G11)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	1	変更なし ^(G14)	変更なし ^(G13)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	
			0.305 ^(G14)	138 ^(G13)	変更なし														
			0.24 ^(G13,11)	122 ^(G12)	貫通配管							変更なし	変更なし						
401	6B 貫通部	1	0.261 ^(G16)	122 ^(G17)	スリーブ ^(G11)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	1	変更なし ^(G14)	変更なし ^(G13)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	
			0.305 ^(G14)	138 ^(G13)	変更なし														
			0.24 ^(G13,11)	122 ^(G12)	貫通配管							変更なし	変更なし						

変更前							変更後													
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料	
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ		
404	3/4B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ 端 板	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	変更なし	0.305	138	変更なし	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]
			0.24	122	貫通配管								変更なし	変更なし						
450	6B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ 端 板	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	変更なし	0.305	138	変更なし	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]
			2.1	150	貫通配管								変更なし	変更なし						
451	6B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ 端 板	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	変更なし	0.305	138	変更なし	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]
			2.1	150	貫通配管								変更なし	変更なし						

変更前										変更後									
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ	
452	3/4B ×3 貫通部	1	0.261 ⁽¹⁾⁽⁶⁾	122 ⁽¹⁾⁽⁷⁾	スリーブ ⁽¹⁾⁽⁴⁾	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	変更なし	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	
			0.24 ^{(1)(3, 11)}	122 ⁽¹⁾⁽²⁾	端 板								0.305 ⁽¹⁾⁽⁴⁾	138 ⁽¹⁾⁽¹⁾					変更なし
453	6B 貫通部	1	0.261 ⁽¹⁾⁽⁶⁾	122 ⁽¹⁾⁽⁷⁾	スリーブ ⁽¹⁾⁽⁴⁾	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	変更なし	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	
			0.24 ^{(1)(3, 11)}	122 ⁽¹⁾⁽²⁾	端 板								0.305 ⁽¹⁾⁽⁴⁾	138 ⁽¹⁾⁽¹⁾					変更なし
			0.24 ^{(1)(3, 11)}	122 ⁽¹⁾⁽²⁾	貫通配管								変更なし	変更なし					

シ
ン

変更前								変更後											
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ	
457	8B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	457	変更なし	1	0.305	138	変更なし	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]
				150	端 板								0.305	138					
				2.1	貫通配管								0.305	138					
477	8B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	477	変更なし	1	0.305	138	変更なし	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]
				150	端 板								0.305	138					
				2.1	貫通配管								0.305	138					
478	6B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	478	変更なし	1	0.305	138	変更なし	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]
				150	端 板								0.305	138					
				2.1	貫通配管								0.305	138					

1/2

変更前								変更後											
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構成	主要寸法 (mm)			材 料
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ	
481	6B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	481	変更なし	1	変更なし	変更なし 138	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
				150	端 板								0.305	変更なし					
			2.1	150	貫通配管								変更なし	変更なし					
154 480	48B 貫通部	2	0.261	122	スリーブ	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	2	変更なし	変更なし 138	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	
				122	端 板							0.305	変更なし						
0.24	122	貫通配管 (スリーブ)	変更なし	変更なし															
376	3B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	1	変更なし	変更なし 138	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	
				122	端 板							0.305	変更なし						
0.24	122	貫通配管	変更なし	変更なし															

ノリ

変更前										変更後																																																	
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料																																								
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ																																									
458	12B 貫通部	1	0.261 ⁽¹⁾⁽⁶⁾	122 ⁽¹⁾⁽⁷⁾	スリーブ ⁽¹⁾⁽¹⁾															変更なし	0.305 ⁽¹⁾⁽⁴⁾	138 ⁽¹⁾⁽¹⁾	変更なし																																				
			端 板	変更なし	変更なし																			変更なし																																			
459	12B 貫通部	1	0.261 ⁽¹⁾⁽⁶⁾	122 ⁽¹⁾⁽⁷⁾	スリーブ ⁽¹⁾⁽¹⁾																																																						
			端 板	変更なし	変更なし																																	変更なし																					
460	12B 貫通部	1	0.261 ⁽¹⁾⁽⁶⁾	122 ⁽¹⁾⁽⁷⁾	スリーブ ⁽¹⁾⁽¹⁾																																																						
			端 板	変更なし	変更なし																																																			変更なし			
458	12B 貫通部	1	0.24 ^{(1)(5, 11)}	122 ⁽¹⁾⁽³⁾	貫通配管																																																						
			貫通配管	変更なし	変更なし																																																						
459	12B 貫通部	1	0.24 ^{(1)(4, 11)}	122 ⁽¹⁾⁽⁴⁾	貫通配管																																																						
			貫通配管	変更なし	変更なし																																																						
460	12B 貫通部	1	0.24 ^{(1)(3, 11)}	122 ⁽¹⁾⁽³⁾	貫通配管																																																						
			貫通配管	変更なし	変更なし																																																						

1/1

変更前							変更後												
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構成	主要寸法 (mm)			材 料
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ	
475	12B 貫通部	1	0.261 ^(注6)	122 ^(注7)	スリーブ	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	変更なし	変更なし	1	0.305 ^(注4)	138 ^(注11)	端 板	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
			0.24 ^(注4, 11)	122 ^(注4)	貫通配管								変更なし	変更なし					
476	12B 貫通部	1	0.261 ^(注6)	122 ^(注7)	スリーブ	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	変更なし	変更なし	1	0.305 ^(注4)	138 ^(注11)	端 板	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
			0.24 ^(注4, 11)	122 ^(注3)	貫通配管								変更なし	変更なし					
302 330 387 388	10B 予備 貫通部	4	0.261 ^(注6, 11)	122 ^(注7)	スリーブ	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	変更なし	変更なし	4	0.305 ^(注4)	138 ^(注11)	閉止板	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]

(注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「[REDACTED]」と記載

(注2) 公称値

(注3) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

(注4) 重大事故等時における使用時の値

(注5) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。

(注6) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書に記載の原子炉格納容器の最高使用圧力の値

(注7) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書に記載の原子炉格納容器の最高使用温度の値

(注8) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和46年2月27日付け45令第13560号にて認可された工事計画の添付図面第8-3図「貫通部スリーブおよび補強板寸法図」による。

(注9) 貫通配管については、原子炉冷却系統施設のうち余熱除去設備及び原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備と兼用

(注10) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SUS32HP」と記載

(注11) SI単位に換算したものである。

※SA使用前検査の変更申請(2020年2月28日付け関原発第562号)を行ったことから、一部検査対象から除く(別図参照)

- (注12) 貫通配管については、原子炉冷却系統施設のうち余熱除去設備と兼用
- (注13) JIS G3118 SGV49相当材
- (注14) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SUS27HP」と記載
- (注15) 貫通配管については、原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備と兼用
- (注16) 貫通配管については、原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備及び計測制御系統施設のうちほう酸注入機能を有する設備と兼用
- (注17) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ASTM A516 Gr70 A300」と記載
- (注18) 貫通配管については、原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）と兼用
- (注19) 貫通配管については、計測制御系統施設のうち制御用空気設備と兼用
- (注20) 貫通配管については、原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）と兼用
- (注21) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ASME A516 Gr.70 A300」と記載
- (注22) 貫通配管については、計測制御系統施設と兼用

01

c 伸縮式配管貫通部

変更前										変更後									
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ	
151	14B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	151	変更なし	1	変更なし	変更なし	変更なし	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]
					伸縮継手								0.305	138					
			0.24	122	貫通配管							0.305	138						
152	14B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	152	変更なし	1	変更なし	変更なし	変更なし	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]
					伸縮継手								0.305	138					
			0.24	122	貫通配管							0.305	138						

17

変更前										変更後										
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料	
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ		
153	14B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	変更なし	変更なし	0.305	138	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし		
					伸縮継手														変更なし	変更なし
端 板 (スリーブ 取付)	変更なし	変更なし	0.305	138	変更なし					変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
端 板 (配管 取付)																				
			0.24	122	貫通配管															
175	14B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	変更なし	変更なし	0.305	138	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし		
					伸縮継手														変更なし	変更なし
端 板 (スリーブ 取付)	変更なし	変更なし	0.305	138	変更なし					変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
端 板 (配管 取付)																				
			0.24	122	貫通配管															

ケ

変更前										変更後											
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構成	主要寸法 (mm)			材 料		
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ			
225 251	30B 貫通部	2	0.261	122	スリーブ	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	225 251	変更なし	2	0.305	変更なし 138	変更なし 351	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]		
				291	伸縮継手 端 板 (スリーブ 取付) 端 板 (配管 取付) 短 管								変更なし 351							変更なし 351	変更なし
			7.48	291	貫通配管							8.0	351								
352	30B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	352	変更なし	1	0.305	変更なし 138	変更なし 351	スリーブ	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	
				291	伸縮継手 端 板 (スリーブ 取付) 端 板 (配管 取付) 短 管								伸縮継手 端 板 (スリーブ 取付) 端 板 (配管 取付) 短 管		同左						
			7.48	291	貫通配管							8.0	351	貫通配管							

72

変更前								変更後												
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料	
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ		
226	16B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	226	変更なし	1	0.305	138	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	
				230	伸縮継手 端 板 (スリーブ 取付) 端 板 (配管 取付) 短 管								変更なし 0.305	変更なし 351						変更なし
			7.48	230	貫通配管								8.0	351						
250 351	16B 貫通部	2	0.261	122	スリーブ	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	250 351	変更なし	2	0.305	138	スリーブ	同左	[Redacted]	[Redacted]	同左	
				230	伸縮継手 端 板 (スリーブ 取付) 端 板 (配管 取付) 短 管								変更なし 0.305	変更なし 351	伸縮継手 端 板 (スリーブ 取付) 端 板 (配管 取付) 短 管	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]		
			7.48	230	貫通配管								8.0	351	貫通配管					

- 07
- (注1) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。
 - (注2) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書に記載の原子炉格納容器の最高使用圧力の値
 - (注3) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書に記載の原子炉格納容器の最高使用温度の値
 - (注4) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「 」と記載
 - (注5) 公称値
 - (注6) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
 - (注7) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ASTM A516 Gr. 70 A300及びSUS27HP」と記載
 - (注8) 重大事故等時における使用時の値
 - (注9) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ペローズ」と記載
 - (注10) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和48年10月26日47公第139号にて認可された工事計画書の添付資料12-1「安全注入再循環配管、内部スプレ再循環配管格納容器貫通部強度計算書（分割第7次申請分 資料8-1）」による。
 - (注11) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SUS304HP」と記載
 - (注12) 貫通配管については、原子炉冷却系統施設のうち主蒸気・主給水設備と兼用
 - (注13) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和48年10月26日47公第139号にて認可された工事計画書の添付資料12-2「主蒸気管格納容器貫通部強度計算書（分割第7次申請分 資料8-2）」による。
 - (注14) SGV480相当
 - (注15) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和48年10月26日47公第139号にて認可された工事計画書の添付資料12-3「主給水管格納容器貫通部強度計算書（分割第7次申請分 資料8-3）」による。
 - (注16) 貫通配管については、原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備と兼用

d 電気配線貫通部

変更前							変更後									
貫通部 番号	種類	最高使用		構成	主要寸法 (mm)		材料	貫通部 番号	種類	最高使用		構成	主要寸法 (mm)		材料	
		個数	圧力 (MPa)		温度 (°C)	外径				長さ	厚さ		個数	圧力 (MPa)		温度 (°C)
528 529	電線 貫通部	2	0.261 ^(注2)	122 ^(注3)	スリーブ ^(注4) 本体 端板 溶接 リング			変更なし		2	0.305 ^(注7)	138 ^(注7)				

55

56

変更前							変更後								
貫通部 番号	種類	最高使用		構造	主要寸法 (mm)		材料	貫通部 番号	種類	最高使用		構造	主要寸法 (mm)		材料
		個数	圧力 (MPa)		温度 (°C)	外径				長さ	厚さ		個数	圧力 (MPa)	
552、554 556、560 562、575 576、577 578、579 580、625 626、627 628、632 650、652 653、654 655、656 658、659 660	電線 貫通部	(注1) 25	(注2) 0.261	(注3) 122	(注4) スリーブ			変更なし		変更なし (注7) 0.305	変更なし (注7) 138		変更なし		
551 558 600 601 629 630 631 651 661 662 663 675 678 679	電線 貫通部	(注1) 14	(注2) 0.261	(注3) 122	(注4) スリーブ			変更なし		変更なし (注7) 0.305	変更なし (注7) 138		変更なし		

変更前										変更後									
貫通部番号	種類	個数	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	構成	主要寸法 (mm)			材料	貫通部番号	種類	個数	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	構成	主要寸法 (mm)			材料
						外径	長さ	厚さ								外径	長さ	厚さ	
557	電線貫通部	1	0.261	122	スリーブ					変更なし	変更なし	0.305	138	変更なし					
550 553 555 559 561	電線貫通部	5	0.261	122	スリーブ					変更なし	変更なし	0.305	138	スリーブ	同左		同左	ASTM A333 Gr. 6 及び GSTPL	
526 530 676	予備貫通部	3	0.261	122	スリーブ 閉止板					変更なし	変更なし	0.305	138	変更なし				変更なし	

57

※SA使用前検査の変更申請(2020年2月28日付け関原発第562号)を行ったことから、一部検査対象から除く(別図参照)

変更前										変更後									
貫通部 番号	種類	個数	最高使用	最高使用	構 成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用	最高使用	構 成	主要寸法 (mm)			材 料
			圧 力 (MPa)	温 度 (℃)		外 径	長 さ	厚 さ					圧 力 (MPa)	温 度 (℃)		外 径	長 さ	厚 さ	
(注1) 602 603	予備 貫通部	2	(注2) 0.261	(注3) 122	スリーブ 閉止板					変更なし			変更なし (注7) 0.305	変更なし (注7) 138				変更なし	

(注1) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。

(注2) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書に記載の原子炉格納容器の最高使用圧力の値

(注3) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書に記載の原子炉格納容器の最高使用温度の値

(注4) 記載の適正化を行う。既工事計画書には [] と記載

(注5) 公称値

(注6) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

(注7) 重大事故等時における使用時の値

(注8) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「25組」と記載

(注9) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和48年2月19日付け47公第11429号にて認可された工事計画の添付資料9「格納容器電線ケーブル貫通部強度計算書（通産省告示第501号による計算書）」による。

(注10) 記載の適正化を行う。既工事計画書には [] と記載

(注11) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「14組」と記載

(注12) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1組」と記載

(注13) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「5組」と記載

(注14) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和46年2月27日付け45公第13560号にて認可された工事計画の資料2-1「原子炉格納容器板厚ならびに補強板等の計算書」による。

(注15) 記載の適正化を行う。既工事計画書には [] と記載

(注16) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和46年2月27日付け45公第13560号にて認可された工事計画の添付図面第8-3図「貫通部スリーブおよび補強板寸法図」による。

※SA使用前検査の変更申請(2020年2月28日付け関原発第562号)を行ったことから、一部検査対象から除く(別図参照)

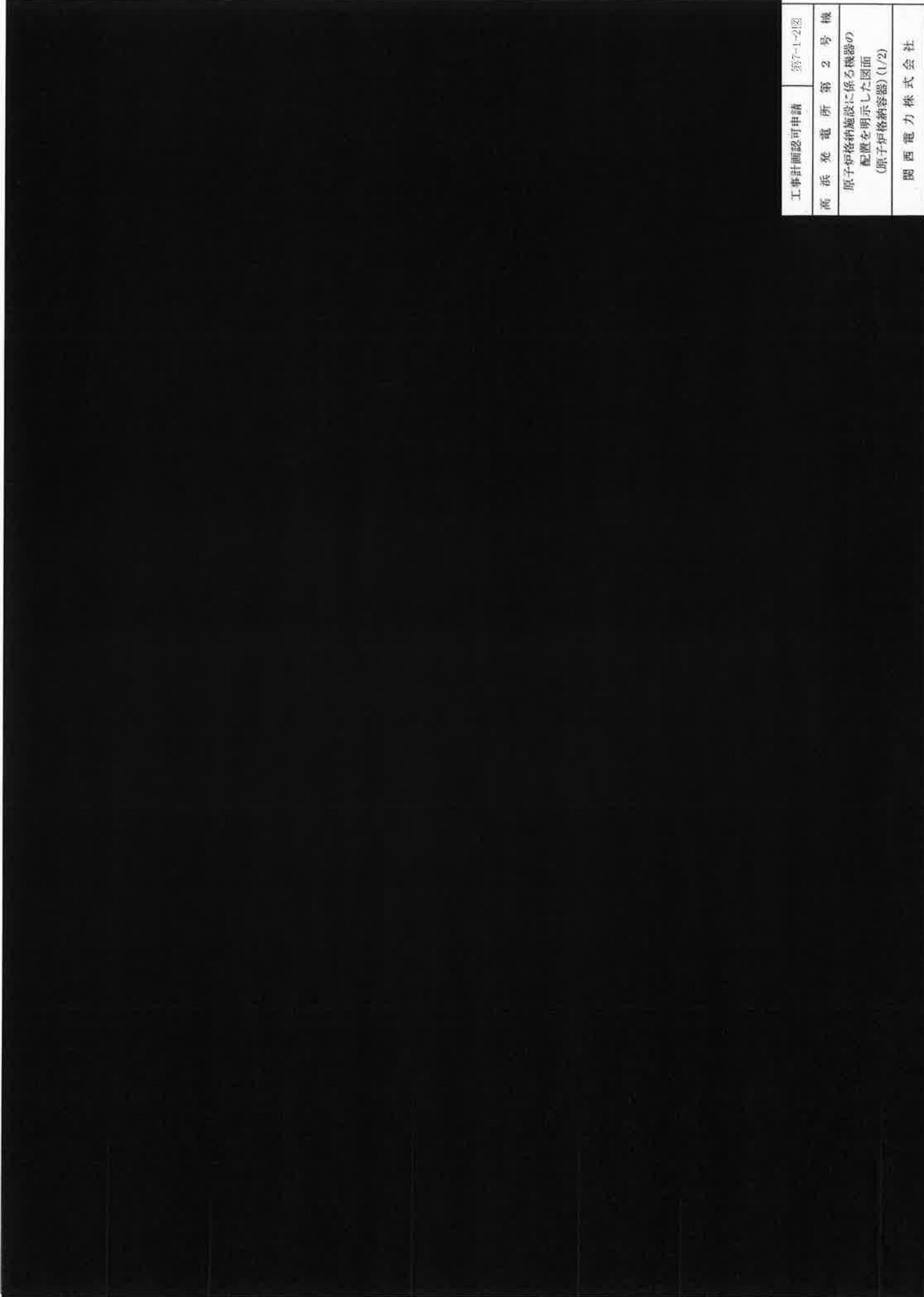
58

(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部の名称又は貫通部番号、種類、個数、最高使用圧力、最高使用温度、構成、主要寸法及び材料

b. 固定式配管貫通部

変更前											変更後										
貫通部 番号	種類	個数	最高使用	最高使用	構成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用	最高使用	構成	主要寸法 (mm)			材 料		
			圧 力 (MPa)	温 度 (°C)		外 径	長 さ	厚 さ					圧 力 (MPa)	温 度 (°C)		外 径	長 さ	厚 さ			
291	3/4B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	
			0.305	138	端 板																変更なし
			0.7	170	貫通配管																
301	3B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	
			0.305	138	端 板																変更なし
			0.98	95	貫通配管																
326	8B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	
			0.305	138	端 板																変更なし
			0.98	95	貫通配管																

59



工事計画認可申請	第7-1-2図
高 浜 電 力 所 第 2 号 機	
原子炉格納施設に係る機器の 配置を明示した図面 (原子炉格納容器) (1/2)	
関 西 電 力 株 式 会 社	

工事計画認可申請 第7-1-3図

高 浜 発 電 所 第 2 号 機

原子炉格納施設に係る機器の
配置を明示した図面
(原子炉格納容器) (2/2)

関西電力株式会社

関西電力株式会社
高浜発電所第2号機
使用前検査成績書

要領書番号 : 原規規収第1610072号.99

成績書管理番号 : 1-11

令和4年12月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-11

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第2号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和4年12月21日
至 令和4年12月22日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録


検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第321号 (平成28年10月7日) 関原発第435号 (平成30年3月20日) 関原発第 47号 (平成30年4月20日) 関原発第203号 (平成30年7月4日) 関原発第260号 (平成30年8月20日) 関原発第416号 (平成30年12月5日) 関原発第505号 (平成31年2月1日) 関原発第513号 (平成31年2月6日) 関原発第 4号 (平成31年4月4日) 関原発第 69号 (2019年5月16日) 関原発第116号 (2019年6月24日) 関原発第205号 (2019年8月23日) 関原発第511号 (2020年1月31日) 関原発第543号 (2020年2月26日) 関原発第618号 (2020年3月24日) 関原発第 23号 (2020年4月7日) 関原発第 23号 (2021年4月30日) 関原発第293号 (2021年8月2日) 関原発第562号 (2022年2月28日) 関原発第585号 (2022年3月15日) 関原発第137号 (2022年6月10日) 関原発第209号 (2022年7月1日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-11

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和 4 年 12 月 21 日 22 日	良	須貝 実 吉村 直樹	ホウラ...タービン 主任技術者 	なし

ω

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：1-11

検査年月日：令和4年 12 月 21 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・一	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：1-11

検査年月日：令和4年 12月 21日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・⊖	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・⊖	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：1-11

検査年月日：令和4年 12月 21日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検 査 対 象			
<p>・原子炉冷却系統施設 蒸気タービンの附属設備、一次冷却材の循環設備、主蒸気・主給水設備、余熱除去設備、非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備、原子炉補機冷却設備</p> <p>・原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）、放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 主配管の支持構造物 別添1参照</p>			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">良</div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">目視</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;">記録確認※2</div>
備考 <ul style="list-style-type: none"> ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※1）による。 ※1 適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-0219、T2-1-0219（その2）、 T2-1-1903、T2-1-1913、T2-1-1915 ※2 目視で確認した範囲を除く範囲について確認 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照 			

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
 (一号検査)
 (立会検査)

成績書管理番号：1-11

検査年月日：令和4年 12月 21日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
原子炉冷却系統施設 一次冷却材の循環設備 非常用炉心冷却設備その 他原子炉注水設備	外観検査 組立て及び据 付け状態を確 認する検査	-	良	目視*

備考：

※：検査対象設備のうち、目視により確認した支持構造物は以下のとおり。

P-CF-21B-006A、P-CF-21B-007A、P-CF-21B-009、P-AC-27G-013、P-AC-27G-005

21/11/1
C1/36

施設区分	設備区分	要目表	サポート番号	配管サイズ	確認日	
原子炉冷却系統施設	蒸気タービンの附属設備	弁(2FW-560A、B、C及び2FW-550A、B、C)～弁(2FW-562A、B、C)	P-IF-28F-002A	4	令和4年 12月22日	
			P-IF-21F-012	4		
			P-IF-21F-011	4		
			P-IF-21F-010	4		
			P-IF-21F-009	4		
			P-IF-28F-001R	4		
			P-IF-21F-008	4		
			P-IF-21F-007	4		
			P-IF-21F-006	4		
			P-IF-28F-005R	4		
			P-IF-28F-004N	4		
			P-IF-28F-003R	4		
			P-IF-21F-021	4		
			P-IF-21F-020	4		
			P-IF-21F-019	4		
			P-IF-21F-018	4		
			P-IF-21F-017	4		
			P-IF-21F-016	4		
			P-IF-21F-015	4		
			P-IF-21F-014	4		
			P-IF-28F-013A	4		
			P-IF-21F-031-1	4		
			P-IF-21F-031	4		
			P-IF-28F-012N	4		
	P-IF-21F-030	4				
	P-IF-28F-011R	4				
	P-IF-28F-010N	4				
	P-IF-28F-009R	4				
	P-IF-21F-026	4				
	P-IF-28F-008R	4				
	P-IF-21F-024	4				
	P-IF-21F-023	4				
			弁(2AS-100A、B) タービン補助給水ポンプ	2H-MSH-870A		6
				2H-MSH-870B		6
				2H-MSH-805		6
				2H-MSH-808A		6
				2H-MSH-808B		6
				2H-MSH-807		6
				2H-MSH-806A		6
				2H-MSH-806B		6
				2H-MSH-802A		6
				2H-MSH-802B		6
				2H-MSH-871A		6
				2H-MSH-871B		6
				2H-MSH-872		6
				2H-MSH-851		6
				2H-MSH-807A		6
				2H-MSH-807B		6
2H-MSH-833				6		
2H-MSH-873A				6		
2H-MSH-873B				6		
2H-MSH-844				6		
2H-MSH-869A				6		
2H-MSH-869B				6		
2H-MSH-832				6		
2H-MSH-874				6		
2H-MSH-831	6					
2H-MSH-852	6					
2H-MSH-814	6					
2H-MSH-853	6					
2H-MSH-829	6					
2H-MSH-2809A	6					
2H-MSH-2809B	6					
2H-MSH-810	6					

5/12/20
(2/36)

施設区分	設備区分	要目表	サポート番号	配管サイズ	確認日	
原子炉冷却系統施設	蒸気タービンの附属設備	弁(2AS-108A、B) ～ タービン駆補助給水ポンプ	2H-MSH-817	6	令和4年 12月22日	
			MSH-17	6		
			2H-MSH-2810	6		
			MSH-18	6		
			2H-MSH-2811	6		
			2H-MSH-2812	6		
			MSH-19	6		
			MSH-20	6		
			MSH-21	6		
			MSH-22	6		
			MSH-23	6		
			MSH-24	6		
			MSH-25	6		
			MSH-26	6		
			MSH-29	6		
			MSH-30	6		
			2H-MSH-830	6		
			MSH-33	6		
			MSH-34	6		
			MSH-1020	6		
			2H-MSH-2813	6		
			MSH-1005	6		
			MSH-1009	6		
			H-1	6		
			H-2	6		
			H-3	6		
			H-4	6		
			H-9	6		
			H-10	6		
			H-5	6		
		H-6	6			
		H-7	6			
		H-8	6			
		タービン駆補助給水ポンプ ～弁(2FW-556A、B、C)	P-IE-27U-247	6		
			P-IE-27U-248	6		
		復水タンク～復水タンク出口配管分岐点	APSH-19	10		令和4年12月21日
			APSH-20	10		
			APSH-21	10		
			APSH-22	10		
			APSH-23	10		
			APSH-24	10		
			APSH-25	10		
			APSH-26	10		
			APSH-27	10		
			APSH-28	10		
			APSH-29	10		
			APSH-30	10		
			2H-APSH-30-1	10		
2H-APSH-30-2	10					
APSH-31	10					
APSH-32	10					
APSH-33	10					
APSH-34	10					
APSH-35	10					
APSH-36	10					
APSH-50	10					
APSH-51	10					
APSH-38-1	10					
APSH-52	10					
APSH-57	6					
APSH-58	6					
復水タンク出口配管分岐点 B電動補助給水ポンプ入口配管分岐点	2H-APSH-002-1	6	令和4年 12月22日			
	P-IB-27G-065	6				

3/36

施設区分	設備区分	要目表	サポート番号	配管サイズ	確認日
原子炉冷却系統施設	蒸気タービンの附属設備	復水タンク出口配管分岐点 ～A電動補助給水ポンプ	2H-APSH-52-1	8	令和4年 12月22日
			2H-APSH-52-2	8	
			APSH-53	8	
			APSH-54	8	
			APSH-55	8	
			2H-APSH-55-1	8	
		B電動補助給水ポンプ入口配管分岐点 ～B電動補助給水ポンプ	APSH-59	8	
			APSH-60	8	
			APSH-61	8	
			APSH-1	10	
			APSH-2	10	
			APSH-3	10	
		復水タンク～タービン動補助給水ポンプ	APSH-4	10	
			APSH-5	10	
			APSH-6	10	
			APSH-7	10	
			APSH-8	10	
			APSH-9	10	
			APSH-10	10	
			APSH-11	10	
			APSH-12	10	
			2H-APSH-12-1	10	
			2H-APSH-12-2	10	
			APSH-13	10	
			APSH-14	10	
			APSH-15	10	
			APSH-16	10	
			APSH-17	10	
			APSH-18	10	
			APSH-37	10	
	APSH-38	10			
	APSH-39	10			
	APSH-40	10			
	APSH-41	10			
	APSH-42	10			
	APSH-43	10			
	APSH-44	10			
	APSH-45	10			
	2H-APSH-45-1	10			
	APSH-46	10			
	2H-APSH-46-2	10			
	APSH-46-1	10			
	APSH-47	10			
	APSH-48	10			
	APSH-49	10			
APSH-49a	10				
一次冷却材の循環設備	12B余熱除去ライン用管台 ～弁(2MOV-8702A, B)	P-CF-21B-001A	12	令和4年 12月21日	
		P-CF-21B-001B	12		
		P-CF-21B-002	12		
		P-CF-21B-003	12		
		P-CF-21B-004A	12		
		P-CF-21B-004B	12		
		P-CF-21B-005	12		
		P-CF-21B-006A	12		
		P-CF-21B-006B	12		
		P-CF-21B-007A	12		
		P-CF-21B-007B	12		
		P-CF-21B-008	12		
		P-CF-21B-009	12		
		P-CF-21B-010	12		
		P-CF-21B-011	12		
RHR-139	12				
RHR-138N	12				
RHR-143S	12				

別添1
(4/36)

施設区分	設備区分	要目表	サポート番号	配管サイズ	確認日
原子炉冷却系統施設	一次冷却材の循環設備	12B余熱除去ライン用管台 ～弁(2MOV-8702A, B)	RHR-142N-1	12	令和4年 12月21日
			RHR-142N-2	12	
			RHR-141N	12	
			RHR-140N-1	12	
			RHR-140N-2	12	
			RHR-158R	12	
			RHR-3008N	12	
		加圧器～弁(2MOV-8000A, B)入口レジャーサ(6×3)	PRL-2	6	
			PRL-1	6	
			PRL-91R-1	6	
		4B一次冷却系スプレイン用管台 ～加圧器	PRL-91R-2	6	
			PRL-70	6	
			RSP-37N	4	
			RSP-33R	4	
			RSP-34N	4	
			RSP-35N	4	
			RSP-31N	4	
			RSP-32S	4	
			RSP-30N	4	
			RSP-87R	4	
			RSP-28,27	4	
			RSP-85R	4	
			RSP-86R	4	
			RSP-84N	4	
			RSP-83R-1	4	
			RSP-83R-2	4	
			RSP-82R	4	
			P-CH-21B-009	4	
			P-CH-21B-010	4	
			P-CH-21B-011	4	
			P-CH-21B-012	4	
			RSP-81N	4	
			P-CH-21B-013	4	
			P-CH-21B-014	4	
			P-CH-21B-015	4	
			P-CH-21B-016	4	
			P-CH-21B-017	4	
			RSP-75N	4	
			RSP-74N	4	
			RSP-80R	4	
			RSP-49R	4	
			RSP-73N	4	
			RSP-72R	4	
			RSP-48N	4	
			RSP-71R-1	4	
			RSP-71R-2	4	
			RSP-70N	4	
			RSP-44R	4	
			RSP-89N	4	
			RSP-88R	4	
RSP-87R-1	4				
RSP-87R-2	4				
RSP-86R	4				
RSP-84R	4				
RSP-85R	4				
RSP-83R-1	4				
RSP-83R-2	4				
RSP-82N	4				
RSP-81R	4				
P-CH-21B-001	4				
P-CH-21B-002	4				
P-CH-21B-003A	4				
P-CH-21B-003B	4				

3115
(5/36)

施設区分	設備区分	要目表	サポート番号	配管サイズ	確認日	
原子炉冷却系統施設	一次冷却材の循環設備	4B一次冷却系スプレイン用管台 ～加圧器	P-CH-21B-004	4	令和4年 12月21日	
			P-CH-21B-005	4		
			P-CH-21B-008	4		
			P-CH-21B-007	4		
			P-CH-21B-008	4		
		弁(2V-8948A、B、C) ～12B安全注入系ライン用管台	ACL-1N	12		
			ACL-3N-A	12		
			ACL-3N-B	12		
			ACL-22N	12		
			ACL-23N	12		
			ACL-29N	12		
			ACL-30N	12		
			14B一次冷却系加圧器サージライン用管台～加圧器	SUR-12N		14
				SUR-11N		14
				SUR-10N-1		14
		SUR-10N-2		14		
		SUR-8S		14		
		SUR-5N		14		
		SUR-9N-1		14		
		SUR-9N-2		14		
		SUR-4S		14		
		SUR-3N		14		
		加圧器～弁(2V-8010A、B、C)	PRL-84	6		
			PRL-82	6		
			PRL-80	6		
	弁(2V-8940A、B、C) ～6B安全注入系ライン用管台	SIS-138N	6			
		SIS-139N	6			
		SIS-140R	6			
		SIS-145R	6			
		SIS-188R	6			
	主蒸気・主給水設備	弁(2V-582A、B、C) ～補助給水配管合流点	P-IF-21F-005	4		
			AFW-002N	4		
			AFW-001R	4		
			AFW-003R	4		
			AFW-004R	4		
		格納容器貫通部PEN#225、251、352 主蒸気配管分岐点 弁(2MS-327A、B、C)行き	MS-48N	30		
			MS-48N	30		
			MS-47	30		
			MS-185N-1	30		
			MS-185N-2	30		
			MS-184R-A	30		
			MS-184R-B	30		
			MS-183R-A	30		
			MS-183R-B	30		
			MS-182N	30		
			MS-182N-2	30		
			MS-161N-1	30		
			MS-161N-2	30		
			MS-160N	30		
			MS-37	30		
MS-38N			30			
MS-36C-1			30			
MS-36C-2			30			
MS-158N-1			30			
MS-33N			30			
MS-34N	30					
MS-32C-1	30					
MS-32C-2	30					
MS-30	30					
MS-31	30					
MS-28C-1	30					
MS-28C-2	30					

5/14/20
16/36

施設区分	設備区分	要目表	サポート番号	配管サイズ	確認日
			MS-157N-1	30	
			MS-167N-2	30	
			MS-26(1)	30	
			MS-26(2)	30	
			MS-150R	30	
			MS-25N-A	30	
			MS-25N-B	30	
			MS-26C-1	30	
			MS-26C-2	30	
			MS-23N	30	
			MS-24N	30	
			MS-20	30	
			MS-21	30	
			MS-178R-1	30	
			MS-178R-2	30	
			MS-177N	30	
			MS-69N	30	
			MS-70N	30	
			MS-176N	30	
			MS-68(1)	30	
			MS-68(2)	30	
			MS-66N	30	
			MS-67N	30	
			MS-175N-1	30	
			MS-175N-2	30	
			MS-174R	30	
			MS-173N	30	
			MS-63(1)	30	
			MS-63(2)	30	
			MS-61N-A	30	
			MS-61N-B	30	
			MS-62C-1	30	
			MS-62C-2	30	
			MS-59N	30	
			MS-60N	30	
			MS-58N	30	
			MS-187S-1	30	
			MS-187S-2	30	
			MS-186N-1	30	
			MS-186N-2	30	
			MS-185R	30	
			MS-2001R	30	
			MS-04-1	30	
			MS-154R	30	
			MS-2006R-A	30	
			MS-2006R-B	30	
			MS-2006R-C	30	
			MS-2007N	30	
			MS-2008N	30	
			MS-2009R	30	
			MS-2010R-A	30	
			MS-2010R-B	30	
			MS-2010R-C	30	
			MS-04-2	30	
			MS-04-3	30	
			MS-2011N	30	
			MS-2012R	30	
			MS-2013R-A	30	
			MS-2013R-B	30	
			MS-2013R-C	30	
			MS-04-4	30	
			MS-14	30	
			MS-15	30	
			MS-04-5	30	

原子炉冷却系統施設

主蒸気・主給水設備

格納容器貫通部PEN#225、251、352～主蒸気配管
分岐点 弁(2MS-527A、B、C)行き

令和4年
12月21日

9/14
17/36

施設区分	設備区分	要目表	サポート番号	配管サイズ	確認日
			MS-04-6	30	
			MS-2014R-A	30	
			MS-2014R-B	30	
			MS-2014R-C	30	
			MS-04-7	30	
			MS-2015N	30	
			MS-57A	30	
			MS-57B	30	
			MS-05-1	30	
			MS-2020R	30	
			MS-2021R	30	
			MS-55N-A	30	
			MS-55N-B	30	
			MS-2022R-A	30	
			MS-2022R-B	30	
			MS-2022R-C	30	
			MS-05-2	30	
			MS-2023N-A	30	
			MS-2023N-B	30	
			MS-05-3	30	
			MS-05-4	30	
			MS-05-5	30	
			MS-2024R-A	30	
			MS-2024R-B	30	
			MS-2024R-C	30	
			MS-2025N	30	
			MS-05-6	30	
			MS-2026R-A	30	
			MS-2026R-B	30	
			MS-05-7	30	
			MS-06-1	30	
			MS-90S-1	30	
			MS-90S-2	30	
			MS-2030R	30	
			MS-2031R	30	
			MS-2032N	30	
			MS-821A	30	
			MS-821B	30	
			MS-87	30	
			MS-86N-1	30	
			MS-86N-2	30	
			MS-183R	30	
			MS-81N	30	
			MS-82N	30	
			MS-182R-1	30	
			MS-182R-2	30	
			MS-2033R-A	30	
			MS-2033R-B	30	
			MS-2033R-C	30	
			MS-06-2	30	
			MS-78N	30	
			MS-79N	30	
			MS-06-3	30	
			MS-2034R-A	30	
			MS-2034R-B	30	
			MS-2034R-C	30	
			MS-06-4	30	
			MS-75	30	
			MS-06-5	30	
			MS-77	30	
			MS-2035R-A	30	
			MS-2035R-B	30	
			MS-2035R-C	30	
			MS-06-6	30	
			MS-06-7	30	

原子炉冷却系統施設

主蒸気・主給水設備

格納容器直通部PEN#225、251、352～主蒸気配管
分岐点 弁(2MS-527A、B、C)行き

令和4年
12月21日

5115
(8/36)

施設区分	設備区分	要目表	サポート番号	配管サイズ	確認日	
原子炉冷却系統施設	主蒸気・主給水設備	主蒸気配管分岐点 弁(ZMS-527A, B, C)行き ～弁(ZMS-537A, B, C)	MS-11	30	令和4年 12月21日	
			MS-10	30		
			MS-2016N-1	30		
			MS-2016N-2	30		
			MS-167N	30		
			MS-8	30		
			MS-9	30		
			MS-53	30		
			MS-51	30		
			MS-2036R	30		
			MS-161N	30		
			MS-74	30		
			MS-2037N	30		
			弁(FW-520A, B, C)～ 補助給水配管合流点	FW-203R		16
				FW-204N		16
		FW-243R		16		
		FW-244N		16		
		FW-263R		16		
		FW-264N		16		
		補助給水配管合流点～精納容器貫通部PEN#226. 250, 351	FW-206N-A	16		
			FW-206N-B	16		
			FW-206R-A	16		
			FW-206R-B	16		
			FW-207N	16		
			FW-208N	16		
			FW-209N	16		
			FW-210N	16		
			FW-33	16		
			FW-212N	16		
			FW-213N	16		
			FW-37	16		
			FW-38	16		
			FW-217R	16		
			FW-218R	16		
			FW-219N-A	16		
			FW-219N-B	16		
			FW-220N	16		
			FW-221R	16		
			FW-222N	16		
			FW-223R	16		
			FW-224R	16		
			FW-225N	16		
			FW-226N-A	16		
			FW-226N-B	16		
			FW-227N	16		
			FW-228R	16		
			FW-229N	16		
			FW-231N	16		
			FW-232R	16		
			FW-233N	16		
FW-234R	16					
FW-236N-A	16					
FW-236N-B	16					
FW-238N	16					
FW-237R	16					
FW-238R	16					
FW-245R-A	16					
FW-245R-B	16					
FW-246N-A	16					
FW-247R	16					
FW-246N-B	16					
FW-248N	16					
FW-249N	16					

37251
(9136)

施設区分	設備区分	表目表	サポート番号	配管サイズ	確認日
原子炉冷却系統施設	主蒸気・主給水設備	補助給水配管合流点～格納容器貫通部PEN#226、250、351	FW-250R	18	令和4年 12月21日
			FW-251N	18	
			FW-252R	18	
			FW-253N	18	
			FW-254N	18	
			FW-255R	18	
			FW-256N	18	
			FW-257R	18	
			FW-258S	18	
			FW-265R-A	18	
			FW-265R-B	18	
			FW-266N-A	18	
			FW-266N-B	18	
			FW-267N	18	
			FW-268N	18	
			FW-269N	18	
			FW-270S-1	18	
			FW-270S-2	18	
			MS-102N-1	30	
			MS-102N-2	30	
			MS-100	30	
			MS-101	30	
			MS-104N	30	
			MS-105N	30	
			MS-106	30	
			MS-108N	30	
			MS-112-1	30	
			MS-112-2	30	
	MS-113-1	30			
	MS-113-2	30			
	MS-110	30			
	MS-111	30			
	MS-114N	30			
	MS-115N	30			
	MS-116N	30			
	MS-118	30			
	MS-117N	30			
	MS-121N-1	30			
	MS-121N-2	30			
	MS-119	30			
	MS-120	30			
	MS-123N	30			
	MS-124N	30			
	MS-125N	30			
	MS-127	30			
	MS-128N	30			
	MS-129	30			
MS-130	30				
MS-131N	30				
MS-132	30				
主蒸気・主給水設備	蒸気発生器A、B、C下流レジャーサ (32×30) ～格納容器貫通部PEN#225、251、352	蒸気発生器A、B、C下流レジャーサ (32×30) ～格納容器貫通部PEN#225、251、352	FW-151A	18	
			FW-151B	18	
			FW-152A	18	
			FW-152B	18	
			FW-166N	18	
			FW-167S	18	
			FW-164	18	
			FW-164N	18	
			FW-160N-A	18	
			FW-160N-B	18	
			FW-182N	18	
FW-183	18				
FW-180	18				
FW-179	18				

3/15-1
(10/36)

施設区分	設備区分	要目表	サポート番号	配管サイズ	確認日
原子炉冷却系統施設	主蒸気・主給水設備	格納容器貫通部PEN#226、250、351 ～蒸気発生器A、B、C	FW-177N	16	
			FW-178N	16	
			FW-175	16	
			FW-176	16	
			FW-173	16	
			FW-174	16	
			FW-171	16	
			FW-172	16	
			FW-189N-A	16	
			FW-189N-B	16	
		主蒸気配管分岐点 弁(2AS-108A、B)行き ～弁(2AS-108A、B)	KTN-2-002	6	
			2H-MSH-2802	6	
			2H-MSH-801A	6	
			2H-MSH-801B	6	
			KTN-2-003	6	
			KTN-2-004	6	
			2H-MSH-2803	6	
			2H-MSH-804	6	
			KTN-2-001	6	
			2H-MSH-809	6	
		主蒸気配管分岐点 弁(2MS-520A、B、C)行き ～弁(2MS-520A、B、C)	MS-311N	8	
			MS-2005N	8	
			MS-303	8	
			MS-2002R	8	
			MS-312N	8	
			MS-2010N	8	
			MS-305	8	
			MS-300	8	
			MS-313N	8	
			MS-2028N	8	
	余熱除去設備	余熱除去ボンプA、B出口レジャーサ (10×8) ～余熱除去クーラA、B	MS-301	8	
			MS-302	8	
			RHR-56	10	
			RHR-57	10	
			RHR-80R	10	
			RHR-87S	10	
			RHR-89N	10	
			RHR-70R	10	
			RHR-71	10	
			RHR-72	10	
			RHR-74	10	
			RHR-75S	10	
			RHR-76N	10	
			RHR-107	10	
			RHR-189	10	
			RHR-201	10	
			RHR-202R	10	
			RHR-203	10	
			RHR-204	10	
			RHR-205	10	
RHR-206	10				
RHR-208S-1	10				
RHR-208S-2	10				
RHR-207	10				
RHR-208	10				
RHR-210	10				
RHR-211	10				
RHR-2011	10				
RHR-212	10				
RHR-213	10				
RHR-214S-1	10				
RHR-214S-2	10				
RHR-215	10				

令和4年
12月21日

3715-1
(11/3t)

施設区分	設備区分	要目表	サポート番号	配管サイズ	確認日
原子炉冷却系統施設	余熱除去設備	余熱除去ポンプA、B出口レギュラ (10×8) ～余熱除去クーラA、B	RHR-216	10	
			RHR-217	10	
		A、B余熱除去クーラ～弁(2HCV-603A、B)	RHR-84	10	
			RHR-89	10	
			RHR-222	6	
			RHR-285R	10	
			RHR-286R	10	
			RHR-287R	10	
			RHR-288S	10	
			RHR-288N	10	
			RHR-92A	10	
			RHR-288N	10	
			RHR-225R	10	
			RHR-2001	10	
			RHR-226	10	
			RHR-227	10	
			RHR-2012	10	
			RHR-228	10	
			RHR-229A	10	
			RHR-296R	10	
		RHR-297R	10		
		RHR-97	10		
		RHR-98	10		
		RHR-99	10		
		RHR-101	10		
		RHR-100	10		
		RHR-2008	10		
		RHR-3029N	10		
		RHR-232	10		
		RHR-234	10		
		RHR-233	10		
		RHR-235	10		
		RHR-238	10		
		弁(2HCV-603A、B)～ 高温側注入配管分岐点	RHR-281S	8	
			RHR-282N	8	
			RHR-283N	8	
			RHR-284N	8	
			RHR-291S	8	
			RHR-292N	8	
			RHR-293N	8	
			RHR-294N	8	
		A、B余熱除去ポンプ出ライン分岐点 ～ A、B余熱除去クーラ出ライン合流点	RHR-295R	8	
			P-CF-21B-012A	12	
			P-CF-21B-012B	12	
			P-CF-21B-013	12	
			P-CF-21B-014	12	
			P-CF-21B-015	12	
			P-CF-21B-016	12	
			RHR-11	12	
			RHR-10	12	
P-CF-21B-017	12				
P-CF-21B-018	12				
P-CF-21B-019	12				
RHR-15	12				
RHR-16	12				
RHR-17	12				
RHR-18	12				
RHR-19	12				
弁(2MOV-8702A、B)～弁(2MOV-8701A、B)	P-CF-21B-020	12			
	RHR-147S	12			
	RHR-144	12			
	RHR-145	12			
	RHR-146	12			
	RHR-148	12			
	RHR-148	12			

令和4年
12月21日

37471
(12/36)

施設区分	設備区分	要目表	サポート番号	配管サイズ	確認日
原子炉冷却系統施設	余熱除去設備	弁(2MOV-8702A、B)~弁(2MOV-8701A、B)	RHR-149R	12	
			RHR-150N	12	
			RHR-151N	12	
			RHR-152N	12	
			RHR-154R	12	
			RHR-153N	12	
			RHR-155N	12	
			RHR-156R	12	
			RHR-3007N	12	
			RHR-3008N	12	
		弁(2MOV-8701A、B) ~格納容器真通部PEN#227、277	RHR-20	12	
			RHR-21	12	
		格納容器真通部PEN#227、277~ 余熱除去ポンプ入口ラインとの合流点	RHR-24	12	
			RHR-26	12	
			RHR-27	12	
			RHR-28	12	
			RHR-31	12	
			RHR-33	12	
			RHR-35	12	
			RHR-37	12	
			RHR-38	12	
			RHR-39	12	
			RHR-40	12	
			RHR-41	12	
			RHR-44	12	
			RHR-159	12	
			RHR-160	12	
			RHR-3014N	12	
			RHR-162	12	
			RHR-3003	12	
			RHR-3015N	12	
			RHR-3001	12	
			RHR-163	12	
			RHR-164	12	
			RHR-3018N	12	
			RHR-166	12	
			RHR-167	12	
			RHR-3017R	12	
			RHR-169	12	
			RHR-168	12	
			RHR-3018R	12	
			RHR-170	12	
			RHR-171	12	
			RHR-3019R	12	
			RHR-172-1	12	
			RHR-172-2	12	
			RHR-173	12	
			RHR-3002	12	
			RHR-3004	12	
			RHR-3020N	12	
RHR-176	12				
RHR-175	12				
RHR-177	12				
RHR-178	12				
RHR-3021N	12				
RHR-179	12				
RHR-180	12				
RHR-181	12				
RHR-3022N	12				
RHR-182	12				
RHR-3006	12				
RHR-184	12				
余熱除去ポンプ入口ラインとの合流点 ~余熱除去ポンプA、B	RHR-46	14			
	RHR-3012N	14			

令和4年
12月21日

51721
(13/36)

施設区分	設備区分	表目表	サポート番号	配管サイズ	確認日
原子炉冷却系統施設	余熱除去設備	余熱除去ポンプ入ロラインとの合流点 ～余熱除去ポンプA、B	RHR-3013N	14	令和4年 12月21日
			RHR-49	14	
			RHR-3010N	14	
			RHR-3011N	14	
			RHR-50	14	
			RHR-51	14	
			RHR-53	14	
			RHR-3023N-1	14	
			RHR-3023N-2	14	
			RHR-191	14	
			RHR-188	14	
			RHR-189	14	
			RHR-190	14	
			RHR-3024N	14	
			RHR-3025N	14	
			RHR-3005	14	
			RHR-192	14	
			RHR-3028N	14	
			RHR-3027N	14	
			RHR-193	14	
			RHR-194	14	
			RHR-103	10	
			RHR-104	10	
			RHR-105	10	
			RHR-106	10	
		RHR-122	10		
		RHR-1001	10		
		RHR-1004	10		
		RHR-1005	10		
		RHR-121	10		
		RHR-117	10		
		RHR-118	10		
		RHR-116	10		
		RHR-115	10		
		RHR-114	10		
		RHR-1008	10		
		RHR-2009	10		
		RHR-238	10		
		RHR-240	10		
		RHR-242	10		
		RHR-244	10		
		RHR-245	10		
		RHR-246	10		
		RHR-247	10		
		RHR-2008	10		
RHR-2007	10				
RHR-248	10				
RHR-249	10				
RHR-250	10				
RHR-2003	10				
RHR-2006A	10				
RHR-2006B	10				
RHR-251	10				
RHR-2002	10				
RHR-3028N	10				
RHR-253	10				
RHR-252	10				
RHR-254	10				
RHR-255-1	10				
RHR-255-2	10				
RHR-2004	10				
RHR-45	14				
RHR-187	14				
		弁(2MOV-8809A、B)～ 余熱除去ポンプ入ロラインとの合流点			

39/301
(14/36)

施設区分	設備区分	要目表	サポート番号	配管サイズ	確認日
原子炉冷却系統施設	非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	弁(2V-8973A, B, C)～余熱除去クーラ出口配管合流点弁(2V-8944A, B, C)間	SIS-80R	6	令和4年 12月21日
			SIS-81R	6	
			SIS-151R	6	
			SIS-152N	6	
			SIS-27R	6	
			SIS-161N	6	
			SIS-162N	6	
			SIS-163R-1	6	
			SIS-163R-2	6	
			SIS-164R	6	
			SIS-165N-1	6	
			SIS-165N-2	6	
			SIS-166N	6	
			SIS-167R	6	
			SIS-168N	6	
			SIS-16R	6	
			SIS-17N	6	
			SIS-171S	6	
			SIS-20N	6	
			SIS-172N	6	
			SIS-173N	6	
			SIS-174N	6	
			SIS-175N	6	
			SIS-153R	6	
		SIS-154N	6		
		SIS-155R	6		
		SIS-156N	6		
		SIS-157R	6		
		SIS-169N	6		
		SIS-178S	6		
		RHR-124	10		
		RHR-123	10		
		弁(2V-8916A, B)～格納容器真蓋部PEN#224, 263	SIS-5	6	
			SIS-4	6	
			SIS-7	6	
			SIS-9	6	
			SIS-10R	6	
			SIS-12	6	
			SIS-125A	6	
			SIS-1	6	
			SIS-504N	6	
			SIS-503N	6	
			SIS-111	6	
			SIS-49.50	10	
			SIS-71	6	
			SIS-72	6	
			SIS-74R	6	
			SIS-73	6	
SIS-75	6				
SIS-76R	6				
SIS-77	6				
SIS-79	6				
SIS-51	6				
SIS-52	6				
SIS-53N	6				
SIS-123A	6				
SIS-46	6				
SIS-45	6				
SIS-42	6				
SIS-43	6				
SIS-38	6				
SIS-112	6				
SIS-25	6				
SIS-124A	6				
弁(2V-8971A, B)下流分岐点～弁(2V-8973A, B, C)	SIS-5	6			
	SIS-4	6			
	SIS-7	6			
	SIS-9	6			
	SIS-10R	6			
	SIS-12	6			
	SIS-125A	6			
	SIS-1	6			
	SIS-504N	6			
	SIS-503N	6			
	SIS-111	6			
	SIS-49.50	10			

5月 添1
(15/36)

施設区分	設備区分	要目表	サポート番号	配管サイズ	確認日	
原子炉冷却系統施設	非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	アキュムレータA、B、C ～弁(2MOV-8808A、B、C)	ACL-33	12	令和4年 12月21日	
			ACL-51R	12		
			ACL-34	12		
			ACL-52R	12		
			AGL-38	12		
			ACL-53R	12		
			弁(2MOV-8808A、B、C) ～ 弁(2V-8956A、B、C)	ACL-32		12
				ACL-35		12
				ACL-37		12
				弁(2V-8958A、B、C) ～ 弁(2V-8948A、B、C)		ACL-12N
		ACL-43N				12
		ACL-10N				12
		ACL-9R				12
		ACL-11S				12
		ACL-8S				12
		ACL-7				12
		ACL-8N	12			
		ACL-42N	12			
		ACL-4S	12			
		ACL-2S	12			
		ACL-41N	12			
		ACL-14N	12			
		ACL-15R-A	12			
		ACL-15R-B	12			
		ACL-17N	12			
		ACL-18N-A	12			
		ACL-18N-B	12			
		ACL-44N	12			
		ACL-20S	12			
		ACL-18R	12			
		ACL-19N	12			
		ACL-24S	12			
		ACL-25N	12			
		ACL-28R	12			
		ACL-27N	12			
		ACL-28S	12			
		ACL-31S	12			
		弁(2MOV-8811A、B)～弁(2MOV-8812A、B)	RHR-136	14		
			RHR-135	14		
			RHR-134-1	14		
			RHR-134-2	14		
			RHR-133	14		
			RHR-132	14		
			RHR-130	14		
			RHR-129	14		
			RHR-128	14		
			RHR-127	14		
			RHR-126	14		
			RHR-282	14		
			RHR-281	14		
RHR-280	14					
RHR-259	14					
RHR-257	14					
弁(2MOV-8817A、B)下流分岐点～ 弁(2MOV-8819)	RHR-109	10				
弁(2MOV-8819)～格納容器貫通部PEN#25B	RHR-1002	10				
	RHR-113	10				
	RHR-112	10				
B内部スプレューラ出口分岐点 弁(2MOV-8746)行き ～ 弁(2MOV-8746) ～ B余熱除去クーラ出口配管合流点	AM-1-2A	8				
	AM-1-88R	8				
	AM-1-33R	8				
	AM-1-36R	8				
	AM-1-60N	8				
	AM-1-37R	8				

5/14
(16/36)

施設区分	設備区分	要目表	サポート番号	配管サイズ	確認日
原子炉冷却系統施設	非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	格納容器貫通部PEN#258 ～弁(2V-8935A, B)上流分岐点	SIS-81	10	令和4年 12月21日
		弁(2V-8935A, B)上流分岐点 ～弁(2V-8935A, B)	SIS-85N	8	
			SIS-84N	8	
			SIS-121A	8	
			SIS-500R	8	
			SIS-501	8	
			SIS-502	8	
			SIS-122A	8	
			SIS-103R	8	
			SIS-102R	8	
			弁(2V-8935A, B)～弁(2V-8940A, B)	SIS-81R	
		SIS-98R		8	
		SIS-131R		8	
		SIS-132R		8	
		SIS-133R		8	
		SIS-134N		8	
		SIS-135N		8	
		SIS-138S		8	
		SIS-137N		8	
		SIS-97N		8	
		SIS-104R		8	
		SIS-141R		8	
		SIS-100R		8	
		SIS-142N		8	
		SIS-143N		8	
		SIS-144N	8		
		弁(2V-8937C)及び弁(2V-8938C) ～弁(2V-8940C)	SIS-183N	4	
			SIS-184R	4	
			SIS-185N	6	
		燃料取替用水タンク～弁(2V-8958)	P-AF-27W-005	14	
			P-AD-27W-104	14	
		弁(2V-8928)～弁(2LGV-115B, D)	P-AF-27W-037	8	
			P-AF-27W-035	8	
		燃料取替用水タンク～弁(2V-8928)	P-AD-27W-103	14	
			P-AD-27W-002	14	
		燃料取替用水タンク～弁(2MOV-8400A, B)	P-AD-27W-102	14	
			P-AC-27G-001	14	
			P-AD-27K-170	4	
		内部スプレッシャー出口テストライン分岐点 弁(2MOV-8498A, B) ～ 燃料取替用水タンク	P-AD-27K-171	4	
			P-AG-27W-038	4	
			P-AD-27K-156	4	
			V-AD-27K-157	4	
			V-AD-27K-158	4	
			P-AD-27K-159	4	
			P-AD-27K-160	4	
P-AD-27K-161	4				
P-AD-27K-162	4				
P-AD-27K-163	4				
P-AD-27K-164	4				
P-AD-27K-165	4				
P-AD-27K-168	4				
P-AD-27K-169	4				
V-AD-27M-070	4				
V-AD-27M-071	4				
P-AD-27M-072	4				
P-AD-27M-073	4				
P-AD-27M-074	4				
P-AD-27M-075	4				
P-AD-27M-078	4				
P-AF-27W-027	4				
P-AF-27W-028	4				
P-AF-27W-029	4				
P-AF-27W-030	4				
					令和4年 12月22日

57501
(17/36)

令和4年
12月22日

令和4年
12月21日

施設区分	設備区分	要目表	サポート番号	配管サイズ	確認日
原子炉冷却系統施設	非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	内部スプレューラ出口テストライン分岐点 ～ 弁(2MOV-6488A、B) ～ 燃料取替用水タンク	P-AF-27W-031	4	令和4年 12月21日
			P-AF-27W-032	4	
			P-AF-27W-033	4	
			P-AF-27W-034	4	
			P-AF-27W-001	14	
			P-AF-27W-003	14	
		P-AC-27G-002	8		
		P-AC-27G-003	8		
		P-AC-27G-004	8		
		P-AC-27G-005	8		
		P-AC-27G-006	8		
		P-AC-27G-007	14		
		P-AC-27G-008	14		
		P-AC-27H-001	10		
		P-AC-27H-002	10		
		P-AC-27H-003	10		
		P-AA-27H-004	10		
		P-AA-27H-005	10		
		P-AA-27H-008	10		
		P-AA-27H-007	10		
		P-AA-27H-008	10		
		P-AA-27H-009	10		
		P-AA-27H-010	10		
		P-AA-27H-011	10		
		P-AA-27H-012	10		
		P-AA-27H-013	10		
		P-AA-27M-079	10		
		P-AA-27M-080	10		
		P-AA-27M-081	10		
		P-AA-27M-082	10		
		P-AA-27M-083	10		
		P-AA-27M-084	10		
		P-AA-27M-085	10		
		燃料取替用水タンク出口配管分岐点及び B電動補助給水ポンプ入口配管分岐点 ～ 原子炉下部キャビティ注水ポンプ 及び恒設代管低圧注水ポンプ	P-AA-27M-086	6	
			P-AC-27H-014	10	
			P-AC-27H-015	10	
			P-AC-27H-016	10	
			P-AC-27H-017	10	
			P-AC-27H-018	10	
			P-AC-27H-019	10	
			P-AC-27H-020	10	
			P-AC-27H-021	10	
			P-AC-27H-022	10	
			P-AC-27H-023	10	
			P-AA-27H-024	10	
			P-AA-27H-025	10	
	P-AA-27H-026	10			
	P-AA-27H-027	10			
	P-AA-27H-028	10			
	P-AA-27H-029	10			
	P-AA-27K-172	10			
	P-AA-27K-173	10			
	P-AA-27K-174	10			
	P-AA-27K-175	10			
	P-AA-27K-176	10			
	P-AA-27K-177	6			
	P-IB-27G-068	14			
	P-IB-27G-069	10			
	P-IB-27G-080	10			
	P-IB-27G-081	10			
	P-IB-27G-082	10			
	P-IB-27G-083	10			
	P-IB-27G-084	10			

カ121-1
(18/36)

施設区分	設備区分	要目表	サポート番号	配管サイズ	確認日
原子炉冷却系統施設	非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	燃料取替用水タンク出口配管分岐点及び B電動補助給水ポンプ入口配管分岐点 原子炉下部キャビティ注水ポンプ 及び置換代管低圧注水ポンプ	P-IB-27G-046	14	令和4年 12月21日
			P-IB-27G-047	14	
			P-IB-27G-048	14	
			P-IB-27G-049	14	
			P-IB-27G-050	14	
			P-IB-27G-051	14	
			P-IB-27G-052	14	
			P-IB-27G-053	14	
			P-IB-27G-054	14	
			P-IB-27G-055	14	
			P-IB-27G-023	14	
			P-IB-27G-024	14	
			P-IB-27G-025	14	
			P-IB-27G-026	14	
			P-IB-27G-027	14	
			P-IB-27G-028	14	
			P-IB-27G-029	14	
			P-IB-27G-037	14	
			P-IB-27G-038	14	
			P-IB-27G-039	14	
			P-IB-27G-040	14	
			P-IB-27G-041	14	
			P-IB-27G-042	14	
			P-IB-27G-043	14	
			P-IB-27G-044	14	
			P-IB-27G-045	14	
			P-AC-27G-022	14	
			P-AC-27G-009	14	
			P-AC-27G-010	14	
			P-AC-27G-011	14	
			P-AC-27G-012	14	
			P-AC-27G-013	14	
			P-AC-27G-014	14	
			P-AC-27G-015	14	
			P-AC-27G-016	14	
			P-AC-27G-017	14	
			P-AC-27G-018	14	
			P-AC-27G-019	14	
			P-AC-27G-020	14	
			P-AC-27G-021	14	
原子炉冷却系統施設	非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	恒設代管低圧注水ポンプ B内部スプレッラ出口配管合流点	P-AA-27M-001	8	令和4年 12月22日
			P-AA-27M-002	8	
			P-AA-27M-003	8	
			P-AA-27M-004	8	
			P-AA-27M-005	8	
			P-AA-27M-006	8	
			P-AA-27M-007	8	
			P-AA-27M-008	8	
			P-AA-27M-009	8	
			P-AA-27M-010	8	
			P-AA-27M-011	8	
			P-AA-27M-012	8	
			P-AA-27M-013	8	
			P-AA-27M-014	8	
			P-AA-27M-015	8	
			P-AA-27M-016	8	
			P-AA-27M-017	8	
			P-AA-27M-018	8	
			P-AA-27M-019	8	
			P-AA-27M-020	8	
			P-AA-27M-021	8	
			P-AA-27M-022	8	
			P-AA-27M-023	8	
			P-AA-27M-024	8	

3/14
19/36

施設区分	設備区分	要目表	サポート番号	配管サイズ	確認日			
原子炉冷却系統施設	非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	恒設代替低圧注水ポンプ B内部スプレクーラ出口配管合流点	P-AA-27M-025	φ	令和4年 12月22日			
			P-AA-27M-026	φ				
			P-AA-27M-027	φ				
			P-AA-27M-028	φ				
			P-AA-27M-029	φ				
			P-AA-27M-030	φ				
			P-AA-27M-031	φ				
			P-AA-27M-032	φ				
			P-AA-27M-033	φ				
			P-AC-27M-037	φ				
			P-AC-27M-038	φ				
			P-AC-27M-039	φ				
			P-AC-27M-040	φ				
			P-AC-27M-041	φ				
			P-AC-27M-042	φ				
			P-AC-27M-043	φ				
			P-AC-27M-044	φ				
			P-AD-27M-045	φ				
			P-AD-27M-046	φ				
			P-AD-27M-047	φ				
			P-AD-27M-048	φ				
			P-AD-27M-049	φ				
			P-AD-27M-050	φ				
			P-AD-27M-061	φ				
			P-AD-27M-062	φ				
			P-AD-27M-063	φ				
			V-AD-27M-054	φ				
			V-AD-27M-055	φ				
			P-AD-27M-056	φ				
			P-AD-27M-057	φ				
			P-AD-27M-058	φ				
			P-AD-27M-059	φ				
			P-AD-27M-060	φ				
						可搬式代替低圧注水ライン接続口 恒設代替低圧注水ポンプ出口配管合流点	P-AA-27L-070	φ
							P-AA-27L-071	φ
							P-AA-27L-072	φ
							P-AA-27L-073	φ
							P-AA-27L-074	φ
							P-AD-27L-061	φ
							P-AD-27L-062	φ
P-AD-27L-063	φ							
P-AD-27L-064	φ							
P-AD-27L-065	φ							
P-AC-27L-066	φ							
P-AC-27L-067	φ							
P-AA-27L-068	φ							
P-AF-27L-047	φ							
P-AF-27L-048	φ							
P-AF-27L-049	φ							
P-AF-27L-050	φ							
P-AF-27L-051	φ							
P-AF-27L-052	φ							
P-AF-27L-053	φ							
P-AF-27L-054	φ							
P-AD-27L-055	φ							
P-AD-27L-056	φ							
P-AD-27L-057	φ							
P-AD-27L-058	φ							
P-AD-27L-059	φ							
P-AD-27L-060	φ							

59 添付
(20/36)

施設区分	設備区分	要目表	サブポート番号	配管サイズ	確認日
原子炉冷却系統施設	非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	可搬式代替低圧注水ライン接続口 恒設代替低圧注水ポンプ出口配管合流点	P-AG-27L-039	φ	令和4年 12月22日
			P-AG-27L-040	φ	
			P-AG-27L-041	φ	
			P-AG-27L-042	φ	
			P-AG-27L-043	φ	
			P-AG-27L-044	φ	
			P-AG-27L-045	φ	
			P-AG-27L-046	φ	
			P-AG-27L-048	φ	
			P-AG-27L-088	φ	
			P-AG-27L-089	φ	
			P-AG-27L-090	φ	
			P-AG-27L-091	φ	
			P-AG-27L-092	φ	
			P-AG-27L-093	φ	
			P-AG-27L-029	φ	
			P-AG-27L-030	φ	
			P-AG-27L-031	φ	
			P-AG-27L-032	φ	
			P-AG-27L-033	φ	
			P-AG-27L-034	φ	
			P-AG-27L-035	φ	
			P-AG-27L-036	φ	
			P-AG-27L-037	φ	
			P-AG-27L-038	φ	
			P-AH-27L-018	φ	
			P-AH-27L-019	φ	
			P-AH-27L-020	φ	
			P-AH-27L-021	φ	
			P-AH-27L-022	φ	
			P-AH-27L-023	φ	
			P-AH-27L-024	φ	
			P-AH-27L-025	φ	
			P-AH-27L-026	φ	
			P-AH-27L-027	φ	
			P-AH-27L-028	φ	
			P-FH-27L-001	φ	
			P-FH-27L-002	φ	
			P-FH-27L-003	φ	
			P-FH-27L-007	φ	
			P-FH-27L-008	φ	
			P-FH-27L-010	φ	
			P-FH-27L-011	φ	
			P-FH-27L-012	φ	
			P-FH-27L-013	φ	
			P-FH-27L-014	φ	
			P-FH-27L-015	φ	
P-FH-27L-016	φ				
P-FH-27L-017	φ				
P-AH-27L-075	φ				
P-AH-27L-076	φ				
P-AH-27L-077	φ				
P-AH-27L-078	φ				
P-AH-27L-079	φ				
P-AA-27K-108	φ				
P-AA-27K-109	φ				
P-AA-27K-110	φ				
P-AA-27K-111	φ				
P-AA-27K-112	φ				
P-AA-27K-113	φ				
P-AA-27K-114	φ				
P-AA-27K-115	φ				
P-AA-27K-116	φ				
P-AA-27K-117	φ				
P-AA-27K-118	φ				
		原子炉下部キャビティ注水ポンプ A内部スプレクター出口配管合流点			

3/17
(21/36)

施設区分	設備区分	要目表	サポート番号	配管サイズ	確認日	
原子炉冷却系統施設	非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	原子炉下部キャビティ注水ポンプ A内部スプレッシャー出口配管合流点	P-AA-27K-119	6	令和4年 12月22日	
			P-AA-27K-120	6		
			P-AA-27K-121	6		
			P-AA-27K-122	6		
			P-AA-27K-123	6		
			P-AA-27K-124	6		
			P-AA-27K-125	6		
			P-AA-27K-126	6		
			P-AA-27K-127	6		
			P-AA-27K-128	6		
			P-AA-27K-129	6		
			P-AA-27K-131	6		
			P-AA-27K-132	6		
			P-AA-27K-133	6		
			P-AA-27K-134	6		
			P-AD-27K-135	6		
			P-AC-27K-135	6		
			P-AD-27K-137	6		
			P-AD-27K-138	6		
			P-AD-27K-140	6		
			P-AD-27K-147	6		
			V-AD-27K-148	6		
			V-AD-27K-149	6		
			P-AD-27K-150	6		
			P-AD-27K-151	6		
	P-AD-27K-152	6				
	P-AD-27K-153	6				
	P-AD-27K-164	6				
	P-AD-27K-155	6				
			B充てん/高圧注入ポンプ出口配管分岐点～B充てん/高圧注入ポンプ海水排水用ホース上流側取合点	P-AF-27F-097	4	令和4年 12月21日
			B充てん/高圧注入ポンプ海水排水用ホース下流側取合点～屋外放出端	P-AF-27F-098	4	
			B充てん/高圧注入ポンプ海水排水用ホース下流側取合点～屋外放出端	P-AF-27F-090	4	
			B充てん/高圧注入ポンプ海水排水用ホース下流側取合点～屋外放出端	P-AF-27F-091	4	
			B充てん/高圧注入ポンプ海水排水用ホース下流側取合点～屋外放出端	P-OF-27F-092	4	
			B充てん/高圧注入ポンプ海水排水用ホース下流側取合点～屋外放出端	P-OF-27F-093	4	
			1次系冷却水クーラA、C入ライン合流点～1次系冷却水クーラB上流レギュレータ(20×18)	P-IE-27U-027	20	
			1次系冷却水クーラA、C入ライン合流点～1次系冷却水クーラB上流レギュレータ(20×18)	P-IE-27U-028	20	
			1次系冷却水クーラA、C入ライン合流点～1次系冷却水クーラB上流レギュレータ(20×18)	P-IE-27U-029	20	
			1次系冷却水クーラA、C入ライン合流点～1次系冷却水クーラB上流レギュレータ(20×18)	P-IE-27U-030	20	
			1次系冷却水クーラA、C入ライン合流点～1次系冷却水クーラB上流レギュレータ(20×18)	P-IB-27U-014	20	
			1次系冷却水ポンプA出ライン分岐点～1次系冷却水ポンプD出ライン分岐点	P-IE-27U-031	20	
			1次系冷却水クーラA、C入ライン合流点及び1次系冷却水クーラB上流レギュレータ(20×18)～1次系冷却水クーラA、C及びB	P-IB-27U-049	16	
			1次系冷却水クーラA、C及びB	P-IB-27U-048	16	
			1次系冷却水クーラA、B、C～供給母管1次系冷却水クーラA、B、C分岐点	P-IB-27F-082	16	
			供給母管1次系冷却水クーラA分岐点	P-IE-27U-032	20	
		供給母管1次系冷却水クーラA分岐点	P-IE-27U-034	20		
		供給母管1次系冷却水クーラC分岐点	P-IE-27U-035	20		
		供給母管1次系冷却水クーラC分岐点	P-IE-27U-036	20		
		1次系冷却水クーラB出ライン分岐点～1次系機器冷却水母管分岐点格納容器循環冷媒ユニット行き	P-IE-27U-038	20		
		弁(2MOV-5160B)下流レギュレータ(12×8)～1次系機器冷却水母管分岐点格納容器循環冷媒ユニット戻り	P-AF-27F-042	16		
		1次系機器冷却水母管分岐点格納容器循環冷媒ユニット戻り～Cヘッダ戻り合流点	P-IF-27F-043	16		

311201
(22/36)

施設区分	設備区分	要目表	サポート番号	配管サイズ	確認日				
原子炉冷却系統施設	原子炉補機冷却設備	格納容器貫通部PEN#257出口配管分岐点 ～ 屋外放出罐	P-AF-27F-034	8	令和4年 12月22日				
			P-AF-27F-035	8					
			P-AF-27F-036	8					
			P-AF-27F-037	8					
			P-AF-27F-038	8					
			P-AF-27F-039A	8					
			P-AF-27F-039B	8					
			P-AF-27F-040	8					
			P-AF-27F-041	8					
			P-AF-27F-044	8					
			P-AF-27F-045A	8					
			P-AF-27F-045B	8					
			P-AF-27F-046A	8					
			P-AF-27F-046B	8					
			P-AF-27F-047	8					
			P-AF-27F-048A	8					
			P-AF-27F-048B	8					
			P-AF-27F-049	8					
			P-AF-27F-050	8					
			P-AF-27F-051	8					
			P-AF-27F-052A	8					
			P-AF-27F-052B	8					
			P-AF-27F-053	8					
			P-AF-27F-054	8					
			P-AF-27F-055	8					
			P-AF-27F-056	8					
			P-AF-27F-057	8					
			P-AF-27F-058	8					
			P-AF-27F-059	8					
			P-AF-27F-060	8					
			P-AF-27F-061	8					
			P-AF-27F-062	8					
			P-AF-27F-063	8					
			P-AF-27F-064	8					
			P-AF-27F-065	8					
			P-AF-27F-066	8					
			P-AF-27F-067	8					
			P-AF-27F-068	8					
			P-AF-27F-068	8					
			P-AF-27F-069	8					
			P-AF-27F-070	8					
			P-AF-27F-071	8					
			P-AF-27F-072	8					
						海水戻り母管分岐点A～海水戻り母管合流点	P-IB-27Z-029	36	令和4年 12月21日
							P-IB-27Z-030	36	
						海水戻り母管分岐点A ～ 海水戻り母管合流点	P-IB-27Z-031	36	
							P-IB-27Z-120	36	
							P-IB-27Z-032	36	
						1次系冷却水クーラA、B、C ～ 海水戻り母管分岐点A、B、C	P-IB-27Z-010	24	
							P-IB-27Z-011	24	
							P-IB-27Z-114	24	
						1次系冷却水クーラA、B、C ～ 海水戻り母管分岐点A、B、C	P-IB-27Z-012	24	
							P-IB-27Z-115	24	
						中間建屋入口A、B系 ～ 海水供給母管分岐点及び 1次系冷却水クーラA、C 入口ラインレジューサ(30×24)	P-IB-27Z-013	24	
							P-IB-27Z-116	24	
						B1次系冷却水クーラ入口配管分岐点 (補機冷却海水側) ～ B1次系冷却水クーラ出口配管合流点 (原子炉補機冷却水側)及び B1次系冷却水クーラ海水供給接続口	P-IB-27Z-113	30	
							P-IB-27Z-112	30	
							P-IB-27Z-001	24	
							P-IB-27F-073	8	
							P-IB-27F-074	8	
							P-IB-27F-075	8	
							P-IB-27F-076	8	
			P-IB-27F-077	8					

311/154
(23) 36

施設区分	設備区分	要目表	サポート番号	配管サイズ	確認日	
原子炉冷却系統施設	原子炉補機冷却設備	B1次系冷却水クーラ入口配管分岐点 (補機冷却海水側)	P-IB-27F-078	8	令和4年 12月21日	
			P-IB-27F-079	8		
			B1次系冷却水クーラ出口配管合流点 (原子炉補機冷却水側)及び B1次系冷却水クーラ海水供給接続口	P-IB-27F-080		8
			P-IB-27F-081	8		
		A海水供給母管接続口 Aa、Ab海水ストレーナ入口配管合流点	P-PA01-27N-010/1	10		
			P-PA01-27N-010/2	10		
		海水ポンプA、B、C、D Aa、Ab海水ストレーナ入口配管合流点及び中間継 ぎ入口(8系)	P-PA01-27N-011	10		
			P-PA01-27N-012	10		
			P-SA01-27N-230	30		
			P-SA01-27N-218	30		
			P-PA01-27N-004	36		
			P-PA01-27N-005	36		
			P-PA01-27N-001	36		
			P-PA01-27N-002	36		
			P-PA01-27N-003	36		
			P-PA01-27N-006	36		
			P-PA01-27N-007	36		
			P-PA01-27N-008	36		
			P-PA01-27N-009	36		
			P-PA01-27N-107	36		
			P-PA01-27N-108	36		
			P-PA01-27N-109	36		
			P-PA01-27N-110	36		
			P-PA01-27N-111	36		
			P-PA01-27N-112	36		
			P-PA01-27N-116	36		
			P-PA01-27N-206	36		
			P-PA01-27N-207	36		
			P-PA01-27N-208	36		
			P-PA01-27N-210	36		
			P-PA01-27N-209	36		
			P-PA01-27N-211	36		
			P-PA01-27N-220	36		
			P-PA01-27N-221	36		
			P-PA01-27N-222	36		
			P-PA01-27N-223	36		
			P-PA01-27N-224	30		
			P-PA01-27N-232	30		
			P-PA01-27N-233	30		
			P-SA01-27N-011	30		
			P-SA01-27N-012	30		
P-SA01-27N-026	30					
P-SA01-27N-013	30					
P-SA01-27N-027	30					
P-SA01-27N-014	30					
P-SA01-27N-028	30					
P-SA01-27N-015	30					
P-SA01-27N-029	30					
P-SA01-27N-016	30					
P-SA01-27N-030	30					
P-SA01-27N-017	30					
P-SA01-27N-018	30					
P-SA01-27N-019	30					
P-SA01-27N-020	30					
P-SA01-27N-132	30					
P-SA01-27N-133	30					
P-SA01-27N-134	30					
P-SA01-27N-135	30					
P-SA01-27N-136	30					
P-SA01-27N-137	30					
P-SA01-27N-138	30					
P-SA01-27N-139	30					
P-SA01-27N-140	30					
P-SA01-27N-141	30					

別添
24/36

施設区分	設備区分	要目表	サポート番号	配管サイズ	確認日			
原子炉冷却系統施設	原子炉補給冷却設備	海水ポンプA、B、C、D Aa、Ab海水ストレーナ入口配管合流点及び中間継ぎ り入口(B系)	P-SA01-27N-142	30	令和4年 12月21日			
			P-SA01-27N-143	30				
			P-SA01-27N-144	30				
			P-SA01-27N-145	30				
			P-SA01-27N-146	30				
			P-SA01-27N-147	30				
			P-SA01-27N-148	30				
			P-SA01-27N-149	30				
			P-SA01-27N-150	30				
			P-SA01-27N-151	30				
			P-SA01-27N-152	30				
			P-SA01-27N-153	30				
			P-SA01-27N-154	30				
			P-SA01-27N-155	30				
			P-SA01-27N-156	30				
			P-SA01-27N-157	30				
			P-SA01-27N-158	30				
			P-SA01-27N-159	30				
			P-SA01-27N-160	30				
			P-SA01-27N-161	30				
			P-SA01-27N-162	30				
			P-SA01-27N-210	30				
			P-SA01-27N-211	30				
			P-SA01-27N-212	30				
			P-SA01-27N-213	30				
			P-SA01-27N-224	30				
			P-SA01-27N-214	30				
			P-SA01-27N-225	30				
			P-SA01-27N-215	30				
			P-SA01-27N-226	30				
			P-SA01-27N-227	30				
			P-SA01-27N-216	30				
			P-SA01-27N-228	30				
			P-SA01-27N-217	30				
						Aa、Ab海水ストレーナ入口配管合流点 ～中間継ぎ入り口(A系)	P-PA01-27N-101	36
							P-PA01-27N-102	36
							P-PA01-27N-113	36
							P-PA01-27N-103	36
							P-PA01-27N-104	36
							P-PA01-27N-105	36
							P-PA01-27N-106	36
							P-PA01-27N-114	36
P-PA01-27N-201	36							
P-PA01-27N-202	36							
P-PA01-27N-204	36							
P-PA01-27N-203	36							
P-PA01-27N-205	36							
P-SA01-27N-229	30							
P-SA01-27N-209	30							
P-PA01-27N-212	36							
P-PA01-27N-213	36							
P-PA01-27N-214	36							
P-PA01-27N-215	36							
P-PA01-27N-216	36							
P-PA01-27N-217	36							
P-PA01-27N-218	36							
P-PA01-27N-219	36							
P-PA01-27N-230	30							
P-PA01-27N-231	30							
P-SA01-27N-001	30							
P-SA01-27N-002	30							
P-SA01-27N-003	30							
P-SA01-27N-021	30							

31151
(25/36)

施設区分	設備区分	項目表	サポート番号	配管サイズ	確認日
原子炉冷却系統施設	原子炉補機冷却設備	Aa、Ab凝水ストレーナ入口配管合流点 ～中間建屋入口(A系)	P-SA01-27N-004	30	令和4年 12月21日
			P-SA01-27N-022	30	
			P-SA01-27N-006	30	
			P-SA01-27N-023	30	
			P-SA01-27N-008	30	
			P-SA01-27N-024	30	
			P-SA01-27N-007	30	
			P-SA01-27N-025	30	
			P-SA01-27N-008	30	
			P-SA01-27N-009	30	
			P-SA01-27N-010	30	
			P-SA01-27N-101	30	
			P-SA01-27N-102	30	
			P-SA01-27N-103	30	
			P-SA01-27N-104	30	
			P-SA01-27N-105	30	
			P-SA01-27N-106	30	
			P-SA01-27N-107	30	
			P-SA01-27N-108	30	
			P-SA01-27N-108	30	
			P-SA01-27N-110	30	
			P-SA01-27N-111	30	
			P-SA01-27N-112	30	
			P-SA01-27N-113	30	
			P-SA01-27N-114	30	
			P-SA01-27N-115	30	
			P-SA01-27N-116	30	
			P-SA01-27N-117	30	
			P-SA01-27N-118	30	
			P-SA01-27N-119	30	
			P-SA01-27N-120	30	
			P-SA01-27N-103	30	
			P-SA01-27N-121	30	
			P-SA01-27N-122	30	
			P-SA01-27N-123	30	
			P-SA01-27N-124	30	
P-SA01-27N-125	30				
P-SA01-27N-126	30				
P-SA01-27N-127	30				
P-SA01-27N-128	30				
P-SA01-27N-129	30				
P-SA01-27N-130	30				
P-SA01-27N-131	30				
P-SA01-27N-201	30				
P-SA01-27N-202	30				
P-SA01-27N-203	30				
P-SA01-27N-204	30				
P-SA01-27N-219	30				
P-SA01-27N-205	30				
P-SA01-27N-220	30				
P-SA01-27N-208	30				
P-SA01-27N-221	30				
P-SA01-27N-222	30				
P-SA01-27N-207	30				
P-SA01-27N-223	30				
P-SA01-27N-208	30				
原子炉格納施設 圧力低減設備 その他の安全設備	格納容器安全設備	格納容器貫通部PEN#457、477 ～ 内部スプリングヘッド 1A、2A、1B、2B新オリフィス	SPH-504	8	令和4年 12月22日
			SPH-505	8	
			SPH-506	8	
			MK-SPH-437	8	
			MK-SPH-495	8	

312年1
(26/36)

施設区分	設備区分	要目表	サポート番号	配管サイズ	確認日
原子炉格納施設 圧力低減設備 その他の安全設備	格納容器安全設備	格納容器貫通部PEN#467、477 内部スプリングヘッド 1A、2A、1B、2B前オフィス	MK-SPH-494	8	令和4年 12月22日
			SPH-514	8	
			SPH-515	8	
			MK-SPH-427	8	
			SPH-496	8	
			MK-SPH-434a	8	
			SPH-507	6	
			SPH-508	6	
			SPH-509	6	
			SPH-510	6	
		SPH-561	6		
		SPH-560	6		
		SPH-511	8		
		SPH-512	6		
		SPH-559	6		
		MK-SPH-465a	6		
		MK-SPH-465b	6		
		SPH-513	6		
		MK-SPH-403a	6		
		SPH-497	6		
		SPH-498	6		
		SPH-499	6		
		SPH-500	6		
		SPH-501	6		
		SPH-502	6		
		MK-SPH-490	6		
		MK-SPH-488	6		
		SPH-558	6		
		SPH-503	6		
		SPH-554-22	6		
		MK-SPH-440-19	6		
		SPH-554-21	6		
		MK-SPH-440-18	6		
		SPH-554-20	6		
		MK-SPH-440-17	6		
		SPH-554-19	6		
		MK-SPH-440-16	6		
		SPH-554-18	6		
		MK-SPH-443a	6		
		MK-SPH-443b	6		
		MK-SPH-440-21	6		
		SPH-554-17	6		
		MK-SPH-440-15	6		
		SPH-554-16	6		
		MK-SPH-440-14	6		
		SPH-554-15	6		
		MK-SPH-440-13	6		
		SPH-554-14	6		
		MK-SPH-440-12	6		
		SPH-554-13	6		
MK-SPH-440-11	6				
SPH-554-12	6				
MK-SPH-440-10	6				
SPH-554-11	6				
MK-SPH-440-9	6				
SPH-554-10	6				
MK-SPH-440-8	6				
SPH-554-9	6				
MK-SPH-440-7	6				
SPH-554-8	6				
MK-SPH-440-6	6				
SPH-554-7	6				
MK-SPH-442a	6				
MK-SPH-442b	6				
		内部スプリングヘッド 1A、2A、4A、1B、2B、3B、4B 内部スプリングヘッド (1A、2A、3A、4A、1B、2B、3B、4B)			
		内部スプリングヘッド (1A、2A、4A、1B、2B、4B)			

別添1
(27/36)

施設区分	設備区分	要目表	サポート番号	配管サイズ	確認日
			MK-SPH-440-20	φ	
			SPH-554-8	φ	
			MK-SPH-440-5	φ	
			SPH-554-5	φ	
			MK-SPH-440-4	φ	
			SPH-554-4	φ	
			MK-SPH-440-3	φ	
			SPH-554-3	φ	
			MK-SPH-440-2	φ	
			SPH-554-2	φ	
			MK-SPH-440-1	φ	
			SPH-554-1	φ	
			MK-SPH-420-22	φ	
			SPH-555-24	φ	
			MK-SPH-420-21	φ	
			SPH-555-23	φ	
			MK-SPH-420-20	φ	
			SPH-555-22	φ	
			MK-SPH-420-19	φ	
			SPH-555-21	φ	
			MK-SPH-420-18	φ	
			SPH-555-20	φ	
			MK-SPH-420-17	φ	
			SPH-555-19	φ	
			MK-SPH-420-16	φ	
			SPH-555-18	φ	
			MK-SPH-423a	φ	
			MK-SPH-423b	φ	
			MK-SPH-420-24	φ	
			SPH-555-17	φ	
			MK-SPH-420-15	φ	
			SPH-555-16	φ	
			MK-SPH-420-14	φ	
			SPH-555-15	φ	
			MK-SPH-420-13	φ	
			SPH-555-14	φ	
			MK-SPH-420-12	φ	
			SPH-555-13	φ	
			MK-SPH-420-11	φ	
			SPH-555-12	φ	
			MK-SPH-420-10	φ	
			SPH-555-11	φ	
			MK-SPH-420-9	φ	
			SPH-555-10	φ	
			MK-SPH-420-8	φ	
			SPH-555-9	φ	
			MK-SPH-420-7	φ	
			SPH-555-8	φ	
			MK-SPH-420-6	φ	
			SPH-555-7	φ	
			MK-SPH-422a	φ	
			MK-SPH-422b	φ	
			MK-SPH-420-23	φ	
			SPH-555-6	φ	
			MK-SPH-420-5	φ	
			SPH-555-5	φ	
			MK-SPH-420-4	φ	
			SPH-555-4	φ	
			MK-SPH-420-3	φ	
			SPH-555-3	φ	
			MK-SPH-420-2	φ	
			SPH-555-2	φ	
			MK-SPH-420-1	φ	
			SPH-555-1	φ	

原子炉格納施設
圧力低減設備
その他の安全設備

格納容器安全設備

内部スプリングヘッド
(1A, 2A, 4A, 1B, 2B, 4B)

令和4年
12月22日

別添1
128/36

施設区分	設備区分	要目表	サポート番号	配管サイズ	確認日
原子炉格納施設 圧力低減設備 その他の安全設備	格納容器安全設備	内部スプリングヘッド (1A, 2A, 4A, 1B, 2B, 4B)	SPH-557-24	φ	
			MK-SPH-400-22	φ	
			SPH-557-23	φ	
			MK-SPH-400-21	φ	
			SPH-557-22	φ	
			MK-SPH-400-20	φ	
			SPH-557-21	φ	
			MK-SPH-400-19	φ	
			SPH-557-20	φ	
			MK-SPH-400-18	φ	
			SPH-557-19	φ	
			MK-SPH-400-24	φ	
			SPH-557-18	φ	
			MK-SPH-400-17	φ	
			SPH-557-17	φ	
			MK-SPH-400-16	φ	
			SPH-557-16	φ	
			MK-SPH-400-15	φ	
			SPH-557-15	φ	
			MK-SPH-400-14	φ	
			SPH-557-14	φ	
			MK-SPH-400-13	φ	
			SPH-557-13	φ	
			MK-SPH-400-12	φ	
			SPH-557-12	φ	
			MK-SPH-400-11	φ	
			SPH-557-11	φ	
			MK-SPH-400-10	φ	
			SPH-557-10	φ	
			MK-SPH-400-9	φ	
			SPH-557-9	φ	
			MK-SPH-400-8	φ	
			SPH-557-8	φ	
			MK-SPH-400-7	φ	
			SPH-557-7	φ	
			MK-SPH-400-23	φ	
			SPH-557-6	φ	
			MK-SPH-400-6	φ	
			SPH-557-5	φ	
			MK-SPH-400-5	φ	
			SPH-557-4	φ	
			MK-SPH-400-4	φ	
			SPH-557-3	φ	
			MK-SPH-400-3	φ	
			SPH-557-2	φ	
MK-SPH-400-2	φ				
SPH-557-1	φ				
MK-SPH-400-1	φ				
SPH-550-20	φ				
MK-SPH-460-18	φ				
SPH-550-19	φ				
MK-SPH-460-17	φ				
SPH-550-18	φ				
MK-SPH-460-16	φ				
SPH-550-17	φ				
MK-SPH-452a	φ				
MK-SPH-452b	φ				
MK-SPH-460-20	φ				
SPH-550-16	φ				
MK-SPH-450-15	φ				
SPH-550-15	φ				
MK-SPH-460-14	φ				
SPH-550-14	φ				
MK-SPH-460-13	φ				

令和4年
12月22日

別添1
(29/36)

施設区分	設備区分	表目表	サポート番号	配管サイズ	確認日
原子炉格納施設 圧力低減設備 その他の安全設備	格納容器安全設備	内部スプリングヘッド (1A, 2A, 4A, 1B, 2B, 4B)	SPH-550-13	φ	令和4年 12月22日
			MK-SPH-450-12	φ	
			SPH-550-12	φ	
			MK-SPH-450-11	φ	
			SPH-550-11	φ	
			MK-SPH-450-10	φ	
			SPH-550-10	φ	
			MK-SPH-450-9	φ	
			SPH-550-9	φ	
			MK-SPH-450-8	φ	
			SPH-550-8	φ	
			MK-SPH-450-7	φ	
			SPH-550-7	φ	
			MK-SPH-453a	φ	
			MK-SPH-453b	φ	
			MK-SPH-450-19	φ	
			SPH-550-6	φ	
			MK-SPH-450-6	φ	
			SPH-550-5	φ	
			MK-SPH-450-5	φ	
			SPH-550-4	φ	
			MK-SPH-450-4	φ	
			SPH-550-3	φ	
			MK-SPH-450-3	φ	
			SPH-550-2	φ	
			MK-SPH-450-2	φ	
			SPH-550-1	φ	
			MK-SPH-450-1	φ	
			SPH-551-24	φ	
			MK-SPH-430-22	φ	
			SPH-551-23	φ	
			MK-SPH-430-21	φ	
			SPH-551-22	φ	
			MK-SPH-430-20	φ	
			SPH-551-21	φ	
			MK-SPH-430-19	φ	
			SPH-551-20	φ	
			MK-SPH-430-18	φ	
			SPH-551-19	φ	
			MK-SPH-432a	φ	
			MK-SPH-432b	φ	
			MK-SPH-430-24	φ	
			SPH-551-18	φ	
MK-SPH-430-17	φ				
SPH-551-17	φ				
MK-SPH-430-16	φ				
SPH-551-16	φ				
MK-SPH-430-15	φ				
SPH-551-15	φ				
MK-SPH-430-14	φ				
SPH-551-14	φ				
MK-SPH-430-13	φ				
SPH-551-13	φ				
MK-SPH-430-12	φ				
SPH-551-12	φ				
MK-SPH-430-11	φ				
SPH-551-11	φ				
MK-SPH-430-10	φ				
SPH-551-10	φ				
MK-SPH-430-9	φ				
SPH-551-9	φ				
MK-SPH-430-8	φ				
SPH-551-8	φ				
MK-SPH-433a	φ				

別添1
(30/36)

施設区分	設備区分	要目表	サポート番号	配管サイズ	確認日	
原子炉格納施設 圧力低減設備 その他の安全設備	格納容器安全設備	内部スプリングヘッド (1A, 2A, 4A, 1B, 2B, 4B)	MK-SPH-433b	φ	令和4年 12月22日	
			MK-SPH-430-23	φ		
			SPH-551-7	φ		
			MK-SPH-430-7	φ		
			SPH-551-6	φ		令和4年12月21日
			MK-SPH-430-6	φ		
			SPH-551-5	φ		
			MK-SPH-430-5	φ		
			SPH-551-4	φ		
			MK-SPH-430-4	φ		
			SPH-551-3	φ		
			MK-SPH-430-3	φ		
			SPH-551-2	φ		
			MK-SPH-430-2	φ		
			SPH-551-1	φ		
			MK-SPH-430-1	φ		
			SPH-551-25	φ		
			SPH-553-24	φ		
			MK-SPH-410-22	φ		
			SPH-553-23	φ		
			MK-SPH-410-21	φ		
			SPH-553-22	φ		
			MK-SPH-410-20	φ		
			SPH-553-21	φ		
			MK-SPH-410-19	φ		
			SPH-553-20	φ		
			MK-SPH-410-18	φ		
			SPH-553-19	φ		
			MK-SPH-410-17	φ	令和4年 12月22日	
			SPH-553-18	φ		
			MK-SPH-410-24	φ		
			SPH-553-17	φ		
			MK-SPH-410-16	φ		
			SPH-553-16	φ		
			MK-SPH-410-15	φ		
			SPH-553-15	φ		
			MK-SPH-410-14	φ		
			SPH-553-14	φ		
			MK-SPH-410-13	φ		
			SPH-553-13	φ		
MK-SPH-410-12	φ					
SPH-553-12	φ					
MK-SPH-410-11	φ					
SPH-553-11	φ					
MK-SPH-410-10	φ					
SPH-553-10	φ					
MK-SPH-410-9	φ					
SPH-553-9	φ					
MK-SPH-410-8	φ					
SPH-553-8	φ					
MK-SPH-410-7	φ					
SPH-553-7	φ					
MK-SPH-410-6	φ					
SPH-553-6	φ					
MK-SPH-410-23	φ					
SPH-553-5	φ					
MK-SPH-410-5	φ					
SPH-553-4	φ					
MK-SPH-410-4	φ					
SPH-553-3	φ					
MK-SPH-410-3	φ					
SPH-553-2	φ					

31年
(31/36)

施設区分	設備区分	要目表	サポート番号	配管サイズ	確認日
原子炉格納施設 圧力低減設備 その他の安全設備	格納容器安全設備	内部スプレリングヘッド (1A, 2A, 4A, 1B, 2B, 4B)	MK-SPH-410-2	φ	令和4年 12月22日
			SPH-553-1	φ	
			MK-SPH-410-1	φ	
			MK-SPH-404	4	
			MK-SPH-400-10	4	
			MK-SPH-400-15	4	
			MK-SPH-400-14	4	
			MK-SPH-400-13	4	
			MK-SPH-400-12	4	
			MK-SPH-400-18	4	
			MK-SPH-400-11	4	
			MK-SPH-400-10	4	
			MK-SPH-400-9	4	
			MK-SPH-400-8	4	
			MK-SPH-400-7	4	
			MK-SPH-400-6	4	
			MK-SPH-400-5	4	
			MK-SPH-400-4	4	
			MK-SPH-400-17	4	
			MK-SPH-400-3	4	
		MK-SPH-400-2	4		
		MK-SPH-400-1	4		
		内部スプレリングヘッド(3A, 3B)	MK-SPH-400-15	4	
			MK-SPH-400-14	4	
			MK-SPH-400-13	4	
			MK-SPH-400-17	4	
			MK-SPH-401-17	4	
			MK-SPH-400-12	4	
			MK-SPH-400-11	4	
			MK-SPH-401-11	4	
			MK-SPH-400-10	4	
			MK-SPH-400-9	4	
			MK-SPH-400-8	4	
			MK-SPH-401-8	4	
		MK-SPH-400-7	4		
		MK-SPH-400-6	4		
		MK-SPH-400-6	4		
		MK-SPH-400-10	4		
		MK-SPH-400-4	4		
		MK-SPH-400-3	4		
		MK-SPH-401-3	4		
		MK-SPH-400-2	4		
		MK-SPH-400-1	4		
		原子炉下部キャビティ注水ポンプ 出口配管分岐点 弁(2MOV-5420)	P-AD-27K-139	φ	
			P-AD-27K-140	φ	
			P-AD-27K-141	φ	
			V-AD-27K-142	φ	
			V-AD-27K-143	φ	
			P-AD-27K-144	φ	
			P-AD-27K-145	φ	
			P-AD-27K-013	φ	
			P-AD-27K-014	φ	
P-AD-27K-015	φ				
P-AD-27K-016	φ				
P-AD-27K-017	φ				
P-AD-27K-018	φ				
P-AD-27K-019	φ				
P-AF-27K-178	φ				
P-AG-27K-020	φ				
P-AG-27K-021	φ				
P-AG-27K-022	φ				
P-AG-27K-023	φ				
P-AG-27K-024	φ				
P-AG-27K-025	φ				

31/41
(32/36)

施設区分	設備区分	要目表	サポート番号	配管サイズ	確認日
原子炉格納施設 圧力低減設備 その他の安全設備	格納容器安全設備	原子炉下部キャビティ注水ポンプ 出口配管分岐点 ～ 弁(2MOV-5420)	P-AG-27K-026	φ	
			P-AG-27K-027	φ	
			P-AG-27K-028	φ	
			P-AG-27K-029	φ	
			P-AG-27K-030	φ	
			P-AG-27K-031	φ	
			P-AG-27K-032	φ	
			P-AG-27K-033	φ	
			P-AG-27K-034	φ	
			P-AG-27K-035	φ	
			P-AG-27K-036	φ	
			P-AG-27K-037	φ	
			P-AG-27K-038	φ	
			P-CG-27K-064	φ	
			P-CG-27K-065	φ	
			P-CG-27K-066	φ	
			P-CG-27K-067	φ	
			P-CG-27K-068	φ	
			P-CG-27K-069	φ	
			P-CG-27K-070	φ	
	P-CG-27K-071	φ			
	P-CG-27K-072	φ			
	P-CG-27K-073	φ			
	P-CG-27K-074	φ			
	P-CG-27K-075	φ			
	P-CG-27K-076	φ			
	P-CG-27K-077	φ			
	P-CG-27K-078	φ			
	P-CG-27K-079	φ			
	P-CG-27K-080	φ			
	P-CG-27K-081	φ			
	P-CG-27K-082	φ			
	P-CF-27K-083	φ			
	P-CF-27K-084	φ			
	P-CF-27K-085	φ			
	P-CF-27K-086	φ			
	P-CF-27K-087	φ			
	P-CF-27K-088	φ			
	P-CF-27K-089	φ			
	P-CF-27K-090	φ			
	P-CD-27K-091	φ			
	P-CD-27K-092	φ			
	P-CD-27K-093	φ			
	P-CD-27K-094	φ			
	P-CD-27K-095	φ			
P-CD-27K-096	φ				
P-CD-27K-097	φ				
P-CD-27K-098	φ				
P-CD-27K-099	φ				
2-SPH-743R	φ				
2-SPH-742R	φ				
2-SPH-741R	φ				
2-SPH-740R	φ				
2-SPH-739R	φ				
2-SPH-738R	φ				
2-SPH-723R	φ				
2-SPH-725R	φ				
2-SPH-726R	φ				
2-SPH-734R	φ				
2-SPH-735R	φ				
2-SPH-736R	φ				
		内部スプレューラ出口分岐点 ～ 外部送へい壁貫通部			

令和4年
12月22日

カ1451
(33/36)

施設区分	設備区分	要目表	サポート番号	配管サイズ	確認日
原子炉格納施設 圧力低減設備 その他の安全設備	格納容器安全設備	外部逃へい壁貫通部 格納容器貫通部PEN#457、477及び PEN#460、461、478、481上流分岐点	2-SPH-724R	8	令和4年 12月22日
			2-SPH-800S	8	
			2-SPH-801N	8	
			2-SPH-802R	8	
			2-SPH-803N	8	
			2-SPH-804R	8	
			2-SPH-805S	8	
			2-SPH-808R	8	
			2-SPH-807R	8	
			2-SPH-808R	8	
			2-SPH-809R	8	
			2-SPH-810R	8	
			2-SPH-811R	8	
			2-SPH-812R	8	
			2-SPH-813R	8	
			2-SPH-814R	8	
			2-SPH-815R	8	
			2-SPH-818R	8	
			2-SPH-817R	8	
			2-SPH-818N	8	
			2-SPH-819R	8	
			2-SPH-820S	8	
			2-SPH-821R	8	
			2-SPH-822R	8	
			2-SPH-823R	8	
			2-SPH-824R	8	
			2-SPH-825R	8	
			2-SPH-826A	8	
			2-SPH-727R	8	
			2-SPH-728R	8	
			2-SPH-729N	8	
			2-SPH-730R	8	
			2-SPH-731R	8	
			2-SPH-848R	8	
			2-SPH-850R	8	
			2-SPH-851A	8	
			2-SPH-882R	8	
			2-SPH-883R	8	
			2-SPH-884R	8	
			2-SPH-885R	8	
			2-SPH-886R	8	
			2-SPH-887R	8	
			2-SPH-888R	8	
			2-SPH-889R	8	
			2-SPH-890R	8	
			2-SPH-891N	8	
			2-SPH-892R	8	
			2-SPH-893R	8	
			2-SPH-737R	8	
			2-SPH-894N	8	
2-SPH-895A	8				
2-SPH-732R	8				
2-SPH-887S	8				
2-SPH-888N	8				
2-SPH-889R	8				
2-SPH-870R	8				
2-SPH-871R	8				
2-SPH-872R	8				
2-SPH-873R	8				
2-SPH-874R	8				
2-SPH-875R	8				
2-SPH-876R	8				

372P1
34/36

施設区分	設備区分	要目表	サポート番号	配管サイズ	確認日
原子炉格納施設 圧力低減設備 その他の安全設備	格納容器安全設備	外部逃へい壁貫通部 格納容器貫通部PEN#457、477及び PEN#450、451、478、481上流分岐点	2-SPH-077R	φ	令和4年 12月22日
			2-SPH-078R	φ	
			2-SPH-079R	φ	
			2-SPH-080N	φ	
			2-SPH-081R	φ	
			2-SPH-733R	φ	
			2-SPH-710R	φ	
			2-SPH-711R	φ	
			2-SPH-712R	φ	
			2-SPH-713R	φ	
			2-SPH-714N	φ	
			2-SPH-715R	φ	
			2-SPH-716R	φ	
			2-SPH-717A	φ	
			格納容器貫通部PEN#450、451、478、481 上流分岐点 格納容器貫通部PEN#450、451、478、481	2-SPH-037A	
		2-SPH-038R		φ	
		2-SPH-039N		φ	
		2-SPH-040R		φ	
		2-SPH-041S		φ	
		2-SPH-042R		φ	
		2-SPH-043R		φ	
		2-SPH-044R		φ	
		2-SPH-045R		φ	
		2-SPH-046R		φ	
		2-SPH-047R		φ	
		2-SPH-048R		φ	
		2-SPH-027S		φ	
		2-SPH-028R		φ	
		2-SPH-029N		φ	
		2-SPH-030R		φ	
		2-SPH-031R		φ	
		2-SPH-032R		φ	
		2-SPH-033R		φ	
		2-SPH-034R		φ	
		2-SPH-035R		φ	
		2-SPH-036R		φ	
		2-SPH-052S		φ	
		2-SPH-053R		φ	
		2-SPH-054N		φ	
		2-SPH-055R		φ	
		2-SPH-056R		φ	
		2-SPH-057R		φ	
		2-SPH-058R		φ	
		2-SPH-059N		φ	
		2-SPH-060R	φ		
2-SPH-061R	φ				
2-SPH-062R	φ				
2-SPH-063R	φ				
2-SPH-064R	φ				
2-SPH-065N	φ				
2-SPH-066R	φ				
2-SPH-700A	φ				
2-SPH-700R	φ				
2-SPH-718S	φ				
2-SPH-719N	φ				
2-SPH-720R	φ				
2-SPH-721N	φ				
2-SPH-722R	φ				
2-SPH-096S	φ				
2-SPH-097R	φ				
2-SPH-098N	φ				
2-SPH-099R	φ				
2-SPH-700R	φ				
2-SPH-701R	φ				

51241
(35/36)

施設区分	設備区分	要目表	サポート番号	配管サイズ	確認日
原子炉格納施設 圧力低減設備 その他の安全設備	格納容器安全設備	格納容器貫通部PEN#460、461、478、481 上流分岐点 ～ 格納容器貫通部PEN#460、461、478、481	2-SPH-702R	φ	
			2-SPH-703R	φ	
			2-SPH-704R	φ	
			2-SPH-705N	φ	
			2-SPH-706R	φ	
			2-SPH-707R	φ	
			IB4762	ダクト	
			IB4763	ダクト	
			IB4768	ダクト	
			IB4769	ダクト	
原子炉格納施設 圧力低減設備 その他の安全設備	放射性物質濃度制御設備及び 可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容 器再循環設備	アニュラス出口取合点～排気筒取合点	IB4770(1)	ダクト	令和4年 12月22日
			IB4770(2)	ダクト	
			IB4771(1)	ダクト	
			IB4771(2)	ダクト	
			IB4767	ダクト	
			IB4745b	ダクト	
			D-AF-27U-001	ダクト	
			2DS-17.0-024FH	ダクト	
			2DS-17.0-022FH	ダクト	
			2DS-17.0-023FH	ダクト	
			2DS-17.0-021FH	ダクト	
			2DS-17.0-020FH	ダクト	
			IB4748	ダクト	
			IB4749	ダクト	
			2DS-17.0-017FH	ダクト	
			2DS-17.0-018FH	ダクト	
			2DS-17.0-019FH	ダクト	
			2DS-17.0-016FH	ダクト	
			IB6091	ダクト	
			IB6076T	ダクト	
			IB6082	ダクト	
			IB6077	ダクト	
			IB6093	ダクト	
			IB6078	ダクト	
			IB6078	ダクト	
			2DS-24.0-014FH	ダクト	
			IB6075	ダクト	
			IB6073	ダクト	
			IB6070	ダクト	
			IB6071	ダクト	
			IB6068	ダクト	
			IB6067	ダクト	
			IB6063	ダクト	
			IB6064	ダクト	
			IB6062	ダクト	
			IB6080	ダクト	
			IB6089	ダクト	
			IB6088	ダクト	
			IB6086	ダクト	
			IB6084	ダクト	
IB6083	ダクト				
IB6082	ダクト				
IB6081	ダクト				
2DS-24.0-011FH	ダクト	令和4年12月21日			
2DS-24.0-013FH	ダクト	令和4年 12月22日			
2DS-24.0-009FH	ダクト				
2DS-24.0-012FH	ダクト				
2DS-24.0-015FH	ダクト				
AB832D	ダクト				

37151
(36/36)

施設区分	設備区分	表目表	サポート番号	配管サイズ	確認日
原子炉格納施設 圧力低下設備 その他の安全設備	放射性物質濃度制御設備及び 可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容 器再循環設備	アニュラス出口取合点～排気筒取合点	AB8321	ダクト	令和4年 12月22日
			AB8322	ダクト	
			AB8323	ダクト	
			AB8328	ダクト	
			AB8329	ダクト	
			AB8330	ダクト	
			AB8331	ダクト	
			2DS-32.3-008FH	ダクト	
			AB8324	ダクト	
			AB8325	ダクト	
			AB8332	ダクト	
			AB8333	ダクト	
			AB8334	ダクト	
			AB8338	ダクト	
			AB8339	ダクト	
			AB8326	ダクト	
			2DS-32.3-004FH	ダクト	
			2DS-32.3-006FH	ダクト	
			2DS-32.3-007FH	ダクト	
			2DS-32.3-003FH	ダクト	
2DS-32.3-002FH	ダクト				

関西電力株式会社
高浜発電所第2号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1610072号99
成績書管理番号：1-12

令和5年3月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-12

1. 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第2号機
2. 検査申請 検査申請一覧表のとおり
3. 検査期日 自 令和5年3月16日
至 令和5年3月17日
4. 検査場所 使用前検査記録のとおり
5. 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
6. 検査結果 検査結果一覧表のとおり
7. 添付資料 使用前検査記録


検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第321号(平成28年10月7日)
	関原発第435号(平成30年3月20日)
	関原発第47号(平成30年4月20日)
	関原発第203号(平成30年7月4日)
	関原発第260号(平成30年8月20日)
	関原発第416号(平成30年12月5日)
	関原発第505号(平成31年2月1日)
	関原発第513号(平成31年2月6日)
	関原発第4号(平成31年4月4日)
	関原発第69号(2019年5月16日)
	関原発第116号(2019年6月24日)
	関原発第205号(2019年8月23日)
	関原発第511号(2020年1月31日)
	関原発第543号(2020年2月26日)
	関原発第618号(2020年3月24日)
	関原発第23号(2020年4月7日)
	関原発第23号(2021年4月30日)
	関原発第293号(2021年8月2日)
	関原発第562号(2022年2月28日)
	関原発第585号(2022年3月15日)
	関原発第137号(2022年6月10日)
	関原発第209号(2022年7月1日)
	関原発第580号(2022年12月27日)

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-12

検査年月日	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者	特記事項
令和 5 年 3 月 16 日	良	平井 隆 荒谷 徹	発電用原子炉 主任技術者 	なし

3

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：1-12

検査年月日：令和 5 年 3 月 16,17日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	⓪・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	⓪・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	⓪・一	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-12

検査年月日：令和 5 年 3 月 16,17 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・一	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・一	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・一	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・一	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-12

検査年月日：令和 5 年 3 月 16, 17 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象			
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵設備 使用済燃料貯蔵槽の温度、水位及び漏えいを監視する装置 使用済燃料ピット温度 (AM用) 使用済燃料ピット水位 (広域) 可搬型使用済燃料ピット水位 使用済燃料ピット温度 (別添 1 参照)			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統機能検査 ・ 警報検査 性能検査 ・ 計測範囲確認検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・ 記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録 (※) による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-0709 ・ 目視で確認した範囲：添付資料 3-3 参照			

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
 (三号検査)
 (立会検査)

成績書管理番号：1-12

検査年月日：令和 5 年 3 月 16,17日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
使用済燃料ピット 温度 (2TE-651)	系統機能検査 ・ 警報検査 性能検査 ・ 計測範囲確認 検査	別添2参照	良	
使用済燃料ピット 温度 (AM用) (2TE-652)	性能検査 ・ 計測範囲確認 検査	別添3参照	良	目視
以下余白				
備考				

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
検査用計器一覧表

成績書管理番号：1-12

検査年月日：令和 5 年 3 月 16,17日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
警報検査	ダイヤル形 抵抗器				2022. 9. 21 2023. 9. 20	
以下余白						

※ set : セッティング

工事計画本文 軽微変更申請前（原規規発第 1606105 号（平成 28 年 6 月 10 日））

核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るものについては、次の事項

3 使用済燃料貯蔵設備に係る次の事項

(6) 使用済燃料貯蔵槽の温度、水位及び漏えいを監視する装置の名称、種類、計測範囲、取付箇所及び個数

(1/2)

変更前				変更後			
名	種	計測範囲	取付箇所	名	種	計測範囲	取付箇所
使用済燃料ピット温度	調温抵抗体	0~100℃	系統名 (ライン名) 使用済燃料ピット 冷却浄化系統 設 置 床	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
使用済燃料ピット水位	超音波式 水位検出器	E.L.+30.99m ~ E.L.+31.99m	系統名 (ライン名) 使用済燃料ピット 冷却浄化系統 設 置 床	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし

9

工事計画本文 軽微変更申請前 (原規規発第 1606105 号 (平成 28 年 6 月 10 日))

核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るものについては、次の事項

3 使用済燃料貯蔵設備に係る次の事項

(6) 使用済燃料貯蔵槽の温度、水位及び漏えいを監視する装置の名称、種類、計測範囲、取付箇所及び個数

(2/2)

変更前				変更後			
名	種	計測範囲	取付箇所	名	種	計測範囲	取付箇所
	使用済燃料ピット温度 (AM用)	測温抵抗体	0~100℃		系統名 (ライン名) 設備 床 漏水防護上の 区画番号 漏水防護上の 配慮が必要な高さ		使用済燃料ピット 水冷浄化系統
	使用済燃料ピット水位 (広域)	電波式 水位検出器	E.L.+24.30m / E.L.+31.05m		系統名 (ライン名) 設備 床 漏水防護上の 区画番号 漏水防護上の 配慮が必要な高さ		使用済燃料ピット 水冷浄化系統
	可搬型使用済燃料ピット水位	フロート式 水位検出器	E.L.+21.0m / E.L.+32.0m		保管場所: [] 取付箇所: []		

(注1) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

(注2) 1・2号機共用の予備は、1号機設備である。

10

工事計画本文 軽微変更申請後 (関原発第 123 号 (平成 30 年 5 月 24 日))

核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るものにあつては、次の事項

3 使用済燃料貯蔵設備に係る次の事項

(6) 使用済燃料貯蔵槽の温度、水位及び漏えいを監視する装置の名称、種類、計測範囲、取付箇所及び個数

別紙-1-1-2

(6) 使用済燃料貯蔵槽の温度、水位及び漏えいを監視する装置の名称、種類、計測範囲、取付箇所及び個数

(1/2)

変更前				変更後			
名称	種類	計測範囲	取付箇所	名称	種類	計測範囲	取付箇所
				使用済燃料ピット温度 ^(注1)	測温抵抗体	0~100℃	系統名 (ライン名) 使用済燃料ピット 水冷浄化系統 設置床 溢水防護上の 区画番号 溢水防護上の 配重が必要な高さ
使用済燃料ピット水位	超音波式 水位検出器	E.L.+30.99m ~ E.L.+31.99m	系統名 (ライン名) 設置床 溢水防護上の 区画番号 溢水防護上の 配重が必要な高さ				変更なし

工事計画本文 軽微変更申請後（関原発第 123 号（平成 30 年 5 月 24 日））

核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るものについては、次の事項

3 使用済燃料貯蔵設備に係る次の事項

(6) 使用済燃料貯蔵槽の温度、水位及び漏えいを監視する装置の名称、種類、計測範囲、取付箇所及び個数

(2/2)

変更前				変更後			
名	種類	計測範囲	取付箇所	名	種類	計測範囲	取付箇所
使用済燃料ピット温度 (AM用)	測温抵抗体	0~100℃	装置名 (ライン名) 設備床 溢水防護上の 区画番号 溢水防護上の 配管が必要な高さ 系統 (ライン名)	使用済燃料ピット 水冷却浄化系統			
使用済燃料ピット水位 (広域)	電波式 水位検出器	E.L.+24.30m ~ E.L.+31.99m	設備床 溢水防護上の 区画番号 溢水防護上の 配管が必要な高さ 保管場所:	使用済燃料ピット 水冷却浄化系統	変更なし		
可搬型使用済燃料 ピット水位	フロート式 水位検出器	E.L.+21.0m ~ E.L.+32.0m	取付箇所: 1台				(注3)

(注1) 平成28年6月10日付け原規規発第1606105号にて認可された既工事計画書には変更前に記載

(注2) 本設備は既存の設備である。

(注3) 1・2号機共用の予備は、1号機設備である。

12

系統機能検査（警報検査）記録

検査対象 (Tag No)	警報設定値		許容誤差範囲		表示値		警報表示
	工学値	模擬入力	工学値	模擬入力	工学値	模擬入力	
	℃	Ω	℃	Ω	℃	Ω	
使用済燃料ピット温度高 (2TE-651)	50.0	119.400	49.6 ~ 50.4	119.244 ~ 119.552	49.8	119.336	TA651 使用済燃料ピット 温度高

13

系統性能検査（計測範囲確認検査）記録

検査対象 (Tag No)	標準入力		標準値	許容誤差範囲	表示値
	工学値	模擬入力		運転コンソール	運転コンソール
	℃	Ω	℃	℃	℃
使用済燃料ピット温度 (AM用) (2TE-651)	0.0	100.000	0.0	-0.5~0.5	0.0
	25.0	109.730	25.0	24.5~25.5	24.9
	50.0	119.400	50.0	49.5~50.5	50.0
	75.0	128.990	75.0	74.5~75.5	75.0
	100.0	138.51	100.0	99.5~100.5	100.0
備考					

14

系統性能検査（計測範囲確認検査）記録

検査対象 (Tag No)	標準入力		標準値	許容誤差範囲	表示値
	工学値	模擬入力		SA監視操作盤	SA監視操作盤
	℃	Ω		℃	℃
使用済燃料ピット温度 (AM用) (2TE-652)	0.0	100.000	0.0	-0.3~0.3	0.0
	25.0	109.730	25.0	24.7~25.3	25.0
	50.0	119.400	50.0	49.7~50.3	50.1
	75.0	128.990	75.0	74.7~75.3	75.1
	100.0	138.510	100.0	99.7~100.3	100.1
備考					

15/E

別添3
令和5年3月17日

関西電力株式会社
高浜発電所第2号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1610072号99

成績書管理番号：1-13

令和5年4月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-13

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第2号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和3年11月26日
至 令和5年4月14日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録



検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第321号 (平成28年10月 7日) 関原発第435号 (平成30年 3月20日) 関原発第 47号 (平成30年 4月20日) 関原発第203号 (平成30年 7月 4日) 関原発第260号 (平成30年 8月20日) 関原発第416号 (平成30年12月 5日) 関原発第505号 (平成31年 2月 1日) 関原発第513号 (平成31年 2月 6日) 関原発第 4号 (平成31年 4月 4日) 関原発第 69号 (2019年 5月16日) 関原発第116号 (2019年 6月24日) 関原発第205号 (2019年 8月23日) 関原発第511号 (2020年 1月31日) 関原発第543号 (2020年 2月26日) 関原発第618号 (2020年 3月24日) 関原発第 23号 (2020年 4月 7日) 関原発第 23号 (2021年 4月30日) 関原発第293号 (2021年 8月 2日) 関原発第562号 (2022年 2月28日) 関原発第585号 (2022年 3月15日) 関原発第137号 (2022年 6月10日) 関原発第209号 (2022年 7月 1日) 関原発第580号 (2022年12月27日)
--------------------	---

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-13

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和 3 年 11 月 26 日	良	増本 豊 平沢 淳	発電用原子炉 主任技術者  ボイラー・タービン 主任技術者 	なし

ω

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：1-13

検査年月日：令和3年 11月 26日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	Ⓔ・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	Ⓔ・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	Ⓔ・—	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-13

検査年月日：令和3年 11月 26日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・一	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・一	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・一	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・一	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-13

検査年月日：令和3年 11月 26日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象			
原子炉冷却系統施設 蒸気タービンの附属設備 貯水設備 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 容器 原子炉格納施設 格納容器安全設備 容器 別添1参照の太線枠内の範囲			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統性能検査 ・容量確認検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	<div style="font-size: 2em; font-family: cursive;">良</div>	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-0502 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

蒸気タービンに係るものにあつては、次の事項

2 蒸気タービンの附属設備に係る次の事項

(3) 給水ポンプの種類、原動機の種類、出力、取付箇所、貯水設備の種類、容量及び個数並びに給水処理設備の種類、容量及び個数

・常設

			変更前	変更後
名称			タービン動補助給水ポンプ (注1)	変更なし
給水ポンプ	種類	—		
	種類	—	蒸気タービン (注3)	
原動機	出力	kW/個		
	系統名 (ライン名)	—	タービン動補助給水ライン (注4)	
取付箇所	設置床	—		
	溢水防護上の 区画番号	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		

7

		変更前	変更後
名称 ^(注1)		復水タンク	復水タンク ^(注2)
種類	—	たて置円筒形	
容量 ^(注3)	m ³ /個		
最高使用圧力 ^(注1.6)	—		
最高使用温度 ^(注1.6)	℃		
主要寸法	^(注1) 胴内径 ^(注7)	mm	
	胴板厚さ ^(注8)	mm	
	屋根板厚さ	mm	
	底板厚さ	mm	
	補助給水ポンプ吸込管台外径	mm	
	補助給水ポンプ吸込管台厚さ	mm	
	ブロー管台外径	mm	
	ブロー管台厚さ	mm	
	タンク補給水入口管台外径	mm	
	タンク補給水入口管台厚さ	mm	
	側マンホール外径	mm	
	側マンホール厚さ	mm	
	側マンホールふた厚さ	mm	
	全高	mm	

8

			変更前	変更後
(注1) 材料	胴板 (注9)	-	[Redacted]	[Redacted]
	屋根板	-		
	底板	-		
	側マンホールふた	-		
個数	-	1 (注10)	同左	
(注1) 取付箇所	系統名 (ライン名)	-	[Redacted]	[Redacted]
	設置床	-		
	溢水防護上の 区画番号	-		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-		

9

・常設

			変更前	変更後	
名称			電動補助給水ポンプ ^(注1)		
給水ポンプ	種類	—	[Redacted]	変更なし	
	原動機	—			
取付箇所	出力	kW/個		[Redacted]	[Redacted]
	系統名 (ライン名)	—			
	設置床	—			
	溢水防護上の 区画番号	—			
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—			

検査項目表

管理番号：1-13

施設区分	設備区分	機器区分	No,	設備名称	3号検査				適合性確認検査 要領書番号	備考
					系統機能 検査	系統性能検査				
					通水検査	スプレイ 検査	運転性能 検査	容量確認 検査		
2核燃料物質 の取扱施設及 び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化 設備	(2)ポンプ	28	送水車	○	○	○	○		(主)
3 原子炉冷却 系統施設	7 非常用炉心冷却設備その他 原子炉注水設備	(1)ポンプ	100	送水車	○	-	○	○		(従)
3 原子炉冷却 系統施設	2 蒸気タービンの附属設備 (3)給水ポンプ、原動機、貯水 設備、給水処理設備	-	466	送水車	○	-	○	○		(従)
7 原子炉格納 施設	(1)格納容器安全設備	ハ ポンプ	102	送水車	○	-	○	○		(従)
2核燃料物質 の取扱施設及 び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化 設備	(7)主配管	42	送水車送水用 50m ホース	○	○	○	-		(主)
3 原子炉冷却 系統施設	7 非常用炉心冷却設備その他 原子炉注水設備	(7)主配管	239	送水車送水用 50m ホース	○	-	○	-		(従)
3 原子炉冷却 系統施設	2 蒸気タービンの附属設備 (4)管等	イ 主配管	479	送水車送水用 50m ホース	○	-	○	-		(従)
7 原子炉格納 施設	(1)格納容器安全設備	リ 主配管	152	送水車送水用 50m ホース	○	-	○	-		(従)
2核燃料物質 の取扱施設及 び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化 設備	(7)主配管	43	送水車送水用 20m ホース	○	○	○	-		(主)

: 11/26 検査対象、記録確認検査：容量確認検査

施設区分	設備区分	機器区分	No.	設備名称	3号検査				適合性確認検査 要領書番号	備考
					系統機能 検査	系統性能検査				
					通水検査	スプレイ 検査	運転性能 検査	容量確認 検査		
2 核燃料物質 の取扱施設及 び貯蔵施設	4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化 設備	(7)主配管	44	スプレイヘッド	○	○	○	-		(主)
3 原子炉冷却 系統施設	2 蒸気タービンの附属設備 (3)給水ポンプ、原動機、貯水 設備、給水処理設備	-	465	復水タンク	-	-	-	○	T2-3-0502	(主)
3 原子炉冷却 系統施設	7 非常用炉心冷却設備その他 原子炉注水設備	(2)容器	105	復水タンク	-	-	-	○	T2-3-0502	(従)
7 原子炉格納 施設	(1)格納容器安全設備	ホ 容器	106	復水タンク	-	-	-	○	T2-3-0502	(従)
3 原子炉冷却 系統施設	7 非常用炉心冷却設備その他 原子炉注水設備	(2)容器	106	仮設組立式水槽	○	-	○	○		(主)
3 原子炉冷却 系統施設	2 蒸気タービンの附属設備 (4)管等	イ 主配管	470	復水タンク～タービン動補助 給水ポンプ	○	-	-	-		(主)
3 原子炉冷却 系統施設	2 蒸気タービンの附属設備 (4)管等	イ 主配管	467	弁(2AS-108A、B)～タービン動 補助給水ポンプ	○	-	-	-		(主)
3 原子炉冷却 系統施設	2 蒸気タービンの附属設備 (4)管等	イ 主配管	471	復水タンク～復水タンク出口 配管分岐点	○	-	-	-		(主)
3 原子炉冷却 系統施設	7 非常用炉心冷却設備その他 原子炉注水設備	(7)主配管	205	復水タンク～復水タンク出口 配管分岐点	○	-	-	-		(従)
7 原子炉格納 施設	(1)格納容器安全設備	リ 主配管	143	復水タンク～復水タンク出口 配管分岐点	○	-	-	-		(従)
3 原子炉冷却 系統施設	2 蒸気タービンの附属設備 (4)管等	イ 主配管	472	復水タンク出口配管分岐点～A 電動補助給水ポンプ	○	-	-	-		(主)
3 原子炉冷却 系統施設	2 蒸気タービンの附属設備 (4)管等	イ 主配管	473	復水タンク出口配管分岐点～B 電動補助給水ポンプ入口配管分 岐点	○	-	-	-		(主)

□: 11/26 検査対象、記録確認検査: 容量確認検査

施設区分	設備区分	機器区分	No.	設備名称	3号検査				適合性確認検査 要領書番号	備考
					系統機能 検査	系統性能検査				
					通水検査	スプレイ 検査	運転性能 検査	容量確認 検査		
3 原子炉冷却 系統施設	7 非常用炉心冷却設備その他 原子炉注水設備	(7)主配管	206	復水タンク出口配管分岐点～B 電動補助給水ポンプ入口配管分岐 点	○	-	-	-		(従)
7 原子炉格納 施設	(1)格納容器安全設備	リ 主配管	144	復水タンク出口配管分岐点～B 電動補助給水ポンプ入口配管分岐 点	○	-	-	-		(従)
3 原子炉冷却 系統施設	2 蒸気タービンの附属設備 (4)管等	イ 主配管	474	B 電動補助給水ポンプ入口配管 分岐点～B 電動補助給水ポンプ	○	-	-	-		(主)
3 原子炉冷却 系統施設	2 蒸気タービンの附属設備 (4)管等	イ 主配管	475	電動補助給水ポンプ～弁(2FW- 550A、B、C)	○	-	-	-		(主)
3 原子炉冷却 系統施設	2 蒸気タービンの附属設備 (4)管等	イ 主配管	476	タービン動補助給水ポンプ～弁 (2FW-556A、B、C)	○	-	-	-		(主)
3 原子炉冷却 系統施設	2 蒸気タービンの附属設備 (4)管等	イ 主配管	477	弁(2FW-550A、B、C及び2FW- 556A、B、C)～弁(2FW-562A、B、 C)	○	-	-	-		(主)

3
継続 全完

□: 11/26 検査対象、記録確認検査: 容量確認検査

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-13

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和 4 年 12月10日	良	須貝 実 増本 豊	発電用原子炉 主任技術者 ボイラー・タービン 主任技術者	なし

14

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：1-13

検査年月日：令和4年12月10日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・一	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-13

検査年月日：令和4年 12月 10日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・—	
系統構成が完了していること。	立会 記録確認	良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-13

検査年月日：令和4年 12月 10日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象			
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 主配管 ポンプ 別添1参照の太線枠内の範囲			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統機能検査 ・スプレイ検査 系統性能検査 ・運転性能検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-1201 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
 (三号検査)
 (立会検査)

成績書管理番号：1-13

検査年月日：令和4年12月10日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
主配管 スプレイヘッド ポンプ 送水車(7号車)	スプレイ検査	※1	良	目視
	運転性能検査※2	容量 (m ³ /h/個) 62.4	良	
		吐出圧力 (MPa) 1.25		
以下余白				
備考 ※1 使用済燃料ピット模擬範囲内にスプレイされていることを確認した。 ※2 判定基準：容量 60m ³ /h/個以上、吐出圧力 1.13MPa 以上				

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
 検査用計器一覧表

成績書管理番号：1-13

検査年月日：令和4年12月10日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
機能性能 検査	圧力計	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	2022.6.6 2025.6.5	
	流量計				2021.5.28 2023.5.27	
以下余白						

核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るものにあつては、次の事項

4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備に係る次の事項

- (2) ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所

(工事の計画の認可 平成28年6月10日認可)

・可搬型

(1/2)

			変更前	変更後	
名 称				送水車 (注1)	
ポンプ	種 類	—		うず巻形	
	容 量 (注2)	m ³ /h/個			
	吐 出 圧 力 (注2)	MPa			
	最 高 使 用 圧 力 (注2)	MPa			
	最 高 使 用 温 度 (注2)	℃			
	主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm		
		吐 出 口 径	mm		
		た て	mm		
		横	mm		
		高 さ	mm		
		車 両 全 長	mm		
		車 両 全 幅	mm		
	材 料	ケ ー シ ン グ	—		
		個 数	—		

次ページに続く

			変更前	変更後
ポンプ	取付箇所	—	—	[Redacted]
	種類	—		
原動機	出力	kW/個	—	147
	個数	—		2 (注10)
	取付箇所	—		ポンプと同じ

(注1) 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備、原子炉冷却系統施設のうち蒸気タービンの附属設備及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）と兼用

(注2) 重大事故等時における使用時の値

(注3) 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（使用済燃料ピットへの注水）で使用する場合はの値

(注4) 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備で使用する場合はの値

(注5) 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）で使用する場合はの値

(注6) 原子炉冷却系統施設のうち蒸気タービンの附属設備で使用する場合はの値

(注7) 公称値

(注8) 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（使用済燃料ピットへのスプレイ）で使用する場合はの値

(注9) アウトリガ最大張出時の車両全幅

(注10) 1・2号機共用の予備は、1号機設備である。

次ページに続く

・可搬型

(1/2)

		変更前	変更後
名称		送水車 (注1, 2)	
種類	—	うず巻形	
容	量 (注3) m ³ /h/個		
吐	出 圧 力 (注3) MPa		
最	高 使 用 圧 力 (注3) MPa		
最	高 使 用 温 度 (注3) °C		
主 要 寸 法	吸 込 口 径 mm		
	吐 出 口 径 mm		
	た て mm		
	横 mm		
	高 さ mm		
	車 両 全 長 mm		

22

次ページに続く

				変更前	変更後
ポンプ	主要寸法	車両全幅	mm		
		車両高さ	mm		
	材料	ケーシング	-		
		個数	-		
	取付箇所	-			
原動機	種類	-	ディーゼル機関		
	出力	kW/個	147		
	個数	-	2		
	取付箇所	-	ポンプと同じ		

(注1) 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備、原子炉冷却系統施設のうち蒸気タービンの附属設備及び
原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）と兼用

次ページに続く

23

(注2) 本設備は記載の適正化のみを行うものであり、手続き対象外である。

(注3) 重大事故等時における使用時の値

(注4) 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（使用済燃料ピットへの注水）で使用する場合は値

(注5) 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備で使用する場合は値

(注6) 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）で使用する場合は値

(注7) 原子炉冷却系統施設のうち蒸気タービンの附属設備で使用する場合は値

(注8) 公称値

(注9) 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（使用済燃料ピットへのスプレイ）で使用する場合は値

(注10) アウトリガ最大張出時の車両全幅

4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備に係る次の事項

(7) 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・可搬型

(工事の計画の認可 平成28年6月10日認可)

変更前		変更後					取付箇所
名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
-	使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	(注1)					保管場所 (注5, 6) : [Redacted]
		送水車送水用 [Redacted] mホース	(注2)	(注2)	(注3)	(注4)	[Redacted]

25

次ページに続く

(工事の計画の認可 平成28年6月10日認可)

変更前	変更後						
	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	取付箇所
-	使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 送水車 送水用 〇mmホース	(注2)	(注2)	(注3)	(注4)	-	保管場所 (注5, 8) : [Redacted] 取付箇所 : [Redacted]

26

次ページに続く

27

変更前		変更後					
名称		最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	取付箇所
-	使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	(注2)	(注2)	(注3)			保管場所 (注5, 10) :
							取付箇所 :

(注1) 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備、原子炉冷却系統施設のうち蒸気タービンの附属設備及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）と兼用

(注2) 重大事故等時における使用時の値

(注3) メーカーにて規定する呼び径を示す。

(注4) メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

(注5) 1・2号機共用の予備は、1号機にて設置する。

(注6) 当該ホース 本（必要本数）以上を保管する。

(注7) 本数については当該ルートで最長に敷設した場合の記載

(注8) 当該ホース 本（必要本数）以上を保管する。

(注9) スプレーヘッド本体の材料

(注10) 当該設備 台（必要台数）以上を保管する。

次ページに続く



(工事計画軽微変更届出 平成30年5月24日届出)

変更前							変更後								
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	(注11) 個数	取付箇所 (注11)	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所
使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	(注1)						保管場所：	使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備							保管場所：
	送水車 送水用 ホース	(注2)	(注2)	(注3)	(注4)	(注12)			変更なし						
							(次頁へ続く)								(次頁へ続く)

28

次ページに続く

29

変更前								変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	(注11) 個数	(注11) 取付箇所	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所
(注1)	(前頁からの続き)						(前頁からの続き)	(前頁からの続き)	(前頁からの続き)						(前頁からの続き)
使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	送水車	送水用	50m	ホース			取付箇所： 	使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備							取付箇所： 

次ページに続く

変更前							変更後									
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	(注11) 個数	取付箇所	(注11)	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所
使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 スプレイヘッド	(注2)	(注2)	(注3)			(注12)	保管場所： [Redacted]		使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備							変更なし
							取付箇所： [Redacted]									

(注1) 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備、原子炉冷却系統施設のうち蒸気タービンの附属設備及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）と兼用

(注2) 重大事故等時における使用時の値

(注3) メーカーにて規定する呼び径を示す。

(注4) メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

(注5) 1・2号機共用の予備は、1号機にて設置する。

(注8) 当該ホース■本（必要本数）以上を保管する。

次ページに続く

(注9) スプレイヘッダ本体の材料

(注10) 当該設備■台（必要台数）以上を保管する。

(注11) 実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則改正に係る適正化

(注12) 1・2号機共用の予備は、1号機設備である。

(注13) 最長に敷設した場合の本数

31
以下の設備は、既存の1号機設備であり、-本工事計画で1号機、2号機、3号機及び4号機共用とする。

・可搬型

送水車（1号機設備、1・2・3・4号機共用）^(7E1)

(注1) 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備、原子炉冷却系統施設のうち蒸気タービンの附属設備及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）と兼用

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-13

32

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和 5 年 1 月 12 日	良	種市 隆人 宇野 正登	ボイラー：ターセン 主任技術者 [Redacted] 発電用原子炉主任技術者 [Redacted]	なし

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-13

検査年月日：令和5年 1月 12日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・一	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-13

検査年月日：令和5年 1月 12日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ ◎記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-13

検査年月日：令和5年 1月 12日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象			
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 主配管 ※1 ポンプ 原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 容器 別添 1 参照の太線枠内の範囲	※1: 令和5年1月24日追記。種市隆人 原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 蒸気タービンの附属設備 原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備 (格納容器安全設備)		
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統機能検査 ・通水検査 系統性能検査 ・運転性能検査 ・容量確認検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 2px; display: inline-block;">記録確認</div>
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-0556(その1)、T2-3-0555 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るものについては、次の事項

4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備に係る次の事項

(2) ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所

・可搬型

(1/2)

			変 更 前	変 更 後	
名 称			送水車 (注1, 2)		
ポンプ	種 類	—	うず巻形		
	容 量 (注3)	m ³ /h/個			
	吐 出 圧 力 (注3)	MPa			
	最 高 使 用 圧 力 (注3)	MPa			
	最 高 使 用 温 度 (注3)	℃			
	主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm		
		吐 出 口 径	mm		
		た て	mm		
		横	mm		
		高 さ	mm		
車 両 全 長		mm			

次ページへ続く

36

			変更前	変更後
主要寸法 材料	車両全幅	mm		
	車両高さ	mm		
	ケーシング	-		
	個数	-		
	取付箇所	-		
ポンプ	種類	-	ディーゼル機関	
	出力	kW/個	147	
	個数	-	2	
	取付箇所	-	ポンプと同じ	
原動機	種類	-	ディーゼル機関	
	出力	kW/個	147	
	個数	-	2	
	取付箇所	-	ポンプと同じ	

(注1) 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備、原子炉冷却系統施設のうち蒸気タービンの附属設備及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）と兼用

次ページへ続く

37

- (注2) 本設備は記載の適正化のみを行うものであり、手続き対象外である。
- (注3) 重大事故等時における使用時の値
- (注4) 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（使用済燃料ピットへの注水）で使用する場合の値
- (注5) 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備で使用する場合の値
- (注6) 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）で使用する場合の値
- (注7) 原子炉冷却系統施設のうち蒸気タービンの附属設備で使用する場合の値
- (注8) 公称値
- (注9) 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（使用済燃料ピットへのスプレイ）で使用する場合の値
- (注10) アウトリガ最大張出時の車両全幅

(7) 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・可搬型

関原発第 123 号 平成 30 年 5 月 24 日軽微変更届出分

変更前							変更後								
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数 (注11)	取付箇所 (注11)	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所
使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 送水車 送水用 ■mm ホース	(注2)	(注2)	(注3)	(注4)	■	(注12)	保管場所： ■	使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 変更なし							保管場所： ■
	(次頁へ続く)														

39

40

変更前								変更後								
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	(注11) 個数	(注11) 取付箇所	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	
(注1)	(前頁からの続き)							(注11)	(前頁からの続き)							
使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備								取付箇所： [Redacted]	使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備							
送水車																
送水用																
mm																
ホース																

次ページへ続く

41

変更前								変更後								
名称	最高	最高	外径	厚さ	材料	(注11) 個数	取付箇所	(注11)	名称	最高	最高	外径	厚さ	材料	個数	取付箇所
	使用	使用								使用	使用					
	圧力	温度	(mm)	(mm)					圧力	温度	(mm)	(mm)				
	(MPa)	(℃)							(MPa)	(℃)						
使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備							保管場所： [Redacted]		使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備							変更なし
スプレイヘッド	(注2)	(注2)	(注3)			(注12)	取付箇所： [Redacted]									

(注1) 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備、原子炉冷却系統施設のうち蒸気タービンの附属設備及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）と兼用

(注2) 重大事故等時における使用時の値

(注3) メーカーにて規定する呼び径を示す。

(注4) メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

(注5) 1・2号機共用の予備は、1号機にて設置する。

(注8) 当該ホース■本（必要本数）以上を保管する。

次ページへ続く

(注9) スプレイヘッダ本体の材料

(注10) 当該設備■台(必要台数)以上を保管する。

(注11) 実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則改正に係る適正化

(注12) 1・2号機共用の予備は、1号機設備である。

(注13) 最長に敷設した場合の本数

原子炉冷却系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの（蒸気タービンに係るものを除く。）にあつては次の事項

7 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備に係る次の事項

(2) 容器の名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所

以下の設備の予備は、既存の3号機設備（3号機及び4号機共用）であり、本工事計画で1号機、2号機、3号機及び4号機共用とする。

・可搬型

			変更前	変更後
名 称				仮設組立式水槽
種 類	—			組立式水槽
容 量	公称値	m ³ /個		
最 高 使 用 圧 力	公称値	—		大気圧
最 高 使 用 温 度	公称値	℃		
主 要 寸 法	直 径	mm		
	高 さ	mm		
材 料	フ レ ー ム	—		
	シ ー ト	—		
個 数	—	—		2
取 付 箇 所				

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) 公称値

(注3) 1・2・3・4号機共用の予備は、3号機設備である

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-13

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
<p style="font-size: 2em; margin: 0;">4</p> <p>令和 5 年 3 月 29 日</p>	<p style="font-size: 2em;">良</p>	<p style="font-size: 1.5em;">森谷 徹</p> <p style="font-size: 1.5em;">宇野 正登</p>	<p>ホウラ-タ-ヒツ 主任技術者</p> <div style="background-color: black; width: 100px; height: 20px; margin: 5px 0;"></div> <p>発電用原子炉主任技術者</p> <div style="background-color: black; width: 100px; height: 20px; margin: 5px 0;"></div>	<p style="font-size: 1.5em;">なし</p>

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-13

検査年月日：令和5年3月29日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・一	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-13

検査年月日：令和5年3月29日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・☹	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-13

検査年月日：令和5年3月29日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象			
原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 蒸気タービンの附属設備 原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備） 主配管 別添1参照の太線枠内の範囲			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統機能検査 ・通水検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">記録確認</div>
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-0003、T2-3-0005、T2-3-0006 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

原子炉冷却系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの（蒸気タービンに係るものを除く。）にあつては、次の事項

蒸気タービンに係るものにあつては、次の事項

2 蒸気タービンの附属設備に係る次の事項

(4) 管等に係る次の事項

イ 主配管の最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・常設

工事計画本文（原規規発第 1606105 号 平成 28 年 6 月 10 日 認可）

変更前						変更後					
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	
蒸気タービンの附属設備	(注9)	(注10)	(注3)	(注3)	(注11)	蒸気タービンの附属設備	変更なし				
	0	40	267.4	9.3	SUS304TP				(注3,5)	(注3,5)	(注5)
									(注3,4,5)	(注3,4,5)	(注4,5)
									(注3,4)	(注3,4)	
							(注2)	(注2)			
							0	40	267.4	9.3	
									267.4	9.3	(注4)
									165.2	7.1	

48

49

変更前						変更後					
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	
(注9) 復水タンク 出口配管分岐点 ~ A電動補助 給水ポンプ	(注10) 0	40	(注3, 19) 114.3	(注3, 19) 6.0	(注19) SUS304TP	蒸気タービンの 附属設備 変更なし	(注2) 0	40	(注3, 4, 5) 165.2	(注3, 4, 5) 7.1	(注4, 5) SUS304TP
			(注3) 165.2	(注3) 7.1	(注11) SUS304TP				(注3, 4) 165.2	(注3, 4) 7.1	(注4) SUS304TP
	(注2)	(注2)	(注3, 4) 114.3	(注3, 4) 6.0	(注4) SUS304TP						
	(注3, 4) 165.2	(注3, 4) 7.1	(注4) SUS304TP								

50

変更前						変更後					
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	
蒸気タービンの附属設備 復水タンク 出口配管分岐点 ～ B電動補助 給水ポンプ 入口配管分岐点	(注9)	(注10)	(注3)	(注3)	(注11)	蒸気タービンの附属設備 復水タンク 出口配管分岐点 ～ B電動補助 給水ポンプ 入口配管分岐点	変更なし				
	0	40	165.2	7.1	SUS304TP		(注2)	(注2)	(注3, 4, 5)	(注3, 4, 5)	(注4, 5)
							0	40	165.2	7.1	SUS304TF
									267.4	9.3	(注4) SUS304TF
									165.2	7.1	
									165.2	7.1	
									165.2	7.1	SUS304TF
									165.2	7.1	

51

変更前						変更後					
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(℃)	(mm)	(mm)			(MPa)	(℃)	(mm)	(mm)	
(注9) 蒸気タービンの附属設備 B電動補助 給水ポンプ 入口配管分岐点 ~ B電動補助 給水ポンプ	(注10) 0	40	(注3, 19) 114.3	(注3, 19) 6.0	(注19) SUS304TP	蒸気タービンの附属設備 変更なし	変更なし				
			(注3) 165.2	(注3) 7.1	(注11) SUS304TP		(注2) 0	(注2) 40	(注3, 4, 5) 165.2	(注3, 4, 5) 7.1	(注4, 5) SUS304TP
	(注3, 4) 165.2	(注3, 4) 7.1	(注1) SUS304TP	(注3, 4) 114.3	(注3, 4) 6.0				(注1) SUS304TP		
	—	—	—								

(次ページに続く)

変更前					変更後						
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	
蒸気タービンの 附属設備 (注9)	B電動補助 給水ポンプ 入口配管分岐点 ~ B電動補助 給水ポンプ				-	蒸気タービンの 附属設備 変更なし	(注2) 0	(注2) 40	(注3,4) 165.2	(注3,4) 7.1	(注4) SUS304TP
	(注3,4) 165.2	(注3,4) 7.1									

52

変更前					変更後							
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	
	圧力	温度					圧力	温度				
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)		
蒸気タービンの 附属設備	(注16)					蒸気タービンの 附属設備			(注3,4)	(注3,4)		
	弁(2FW-550									114.3	11.1	
	A、B、C									/	/	(注4)
	及び									114.3	11.1	STPT42
	2FW-556							(注2)	(注2)	114.3	11.1	
	A、B、C)							8.6	40	(注3,4)	(注3,4)	
～								88.9	11.1			
弁(2FW-562								/	/	(注4)		
A、B、C)								88.9	11.1	STPT42		
								/	/			
								-	-			

(注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「主蒸気管分岐点～タービン動補助給水ポンプ」と記載

(注2) 重大事故等時における使用時の値

(注3) 公称値

(注4) 本設備は既存の設備である。

(注5) エルボを示す。

(注6) SI単位に換算したものである。

(注7) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「制御弁 (2-FCV-478、488、498) 出口合流点～弁 (2-FW-520A、B、C)」と記載

(注8) 本設備は記載の適正化のみを行うものであり、手続き対象外である。

(注9) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「復水タンク～補助給水ポンプ」と記載

(注10) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「 $2\text{kg}/\text{cm}^2\text{G}$ 」と記載

(注11) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPT38」と記載

(注12) 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）と兼用

(注13) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「補助給水ポンプ (AF-1A、1B) ～弁 (2-FW-550A、B、C)」と記載

(注14) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPT42」と記載

(注15) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「補助給水ポンプ (AF-2) ～弁 (2-FW-556A、B、C)」と記載

(注16) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (2-FW-550A、B、C及び2-FW-556A、B、C) ～弁 (2-FW-562A、B、C)」と記載

(注17) エルボについては管と同等以上の厚さのものを選定する。

(注18) STPT38同等材 (STPT370) への取替えを行う。

(注19) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-13

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和 5 年 4 月 13 日 14	良	増本 豊 吉村 直樹	発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted]	なし

57

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-13

検査年月日：令和5年 4月 13日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	良・一	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
(三号検査)

成績書管理番号：1-13

検査年月日：令和5年 4月 13日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・-	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・-	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・(-)	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・-	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-13

検査年月日：令和5年4月13日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象			
原子炉冷却系統施設 蒸気タービンの附属設備 主配管 別添1参照の太線枠内の範囲			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統機能検査 ・通水検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-0003 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

工事計画本文 (原規規発第 1606105 号 平成 28 年 6 月 10 日 認可)

原子炉冷却系統施設

蒸気タービンに係るものについては、次の事項

2 蒸気タービンの附属設備に係る次の事項

(4) 管等に係る次の事項

イ 主配管の最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・常設

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
(注1) 弁 (2AS-108A、B) ~ タービン動 補助給水ポンプ	(注6) 7.48	291	(注3.19) 60.5	(注3.19) 5.5	(注19) STPT38	蒸気タービンの 附属設備 変更なし	変更なし (注2) 8.0	変更なし (注2) 351	変更なし		
			(注3) 165.2	(注3) 11.0	(注18) STPT38				(注3.1) (差し込み部の内径)	(注4) (最小)	(注4) S25C
			(注3.18) 165.2	(注3.18) 11.0	(注18) STPT370				(注3.4.5) (差し込み部の内径)	(注4.5) (最小)	(注4.5) S25C
				(注2) 8.0	(注2) 351		(注3.1) 61.1	(注4) 7.9	(注4) S25C		
						(注2) 8.0	(注2) 351	(注3.1) 61.1	(注4) 6.1	(注4.5) S25C	

59

(次ページに続く)

09

変更前					変更後						
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	
蒸気タービンの附属設備 弁 (2AS-108A、B) ～ タービン動 補助給水ポンプ			—			蒸気タービンの附属設備 変更なし	(注2) 8.0	(注2) 351	(注3, 4, 5)	(注3, 4, 5)	(注4, 5)
									165.2	11.0	STPT38
									(注3, 5)	(注3, 5)	(注5)
									165.2	11.0	STPT370
									(注3, 4)	(注3, 4)	(注4)
165.2	11.0	STPT38									
114.3	8.6										
(注3, 4)	(注3, 4)	(注4)									
165.2	11.0	STPT38									
89.1	7.6										

(次ページに続く)

変更前						変更後					
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
蒸気タービンの附属設備 弁 (2AS-108A、B) ～ タービン動 補助給水ポンプ						蒸気タービンの附属設備 変更なし			(注3,4)	(注4)	
							(注2)	(注2)	114.3	8.6	(注3)
							8.0	351	(差し込み部の内径)	(最小)	(注4)
									61.1	8.7	

(次ページに続く)

61

62

変更前					変更後							
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
蒸気タービンの附属設備 弁 (2AS-108A、B) ~ タービン動 補助給水ポンプ						蒸気タービンの附属設備 変更なし	(注2) 8.0	(注2) 351	(注3, 4)	(注3, 4)		
									165.2	11.0		
									/	/		(注4)
									165.2	11.0		STPT38
									/	/		
									165.2	11.0		
									(注3)	(注3)		
									165.2	11.0		
									/	/		STPT370
									/	/		
165.2	11.0											
(注3, 4)	(注3, 4)											
165.2	11.0											
/	/	(注4)										
165.2	11.0	STPT38										
/	/											
-	-											

69

変更前						変更後					
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	
蒸気タービンの附属設備 復水タンク ~ タービン動補助 給水ポンプ	(注10) 0	40	(注3)	(注3)	STPT38	蒸気タービンの附属設備 変更なし	変更なし				
			(注3)	(注3)	STPT38						
			(注3)	(注3)	(注11) SUS304TP						
	-										
	(注2) 0	(注2) 40	(注3, 5)	(注3, 5)	(注5) SUS304TP						
			(注3, 4, 5)	(注3, 4, 5)	(注4, 5) SUS304TP						

(次ページに続く)

64

変更前						変更後						
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	
	圧力	温度					圧力	温度				
	(MPa)	(℃)	(mm)	(mm)			(MPa)	(℃)	(mm)	(mm)		
蒸気タービンの附属設備	(注9)					蒸気タービンの附属設備	変更なし	0	40		(注3, 4)	(注3, 4)
										267.4	9.3	(注4)
										/	/	STPT38
										165.2	7.1	
										/	/	
復水タンク ～ タービン動補助 給水ポンプ	-					蒸気タービンの附属設備	0	40		(注3, 4)	(注3, 4)	
									267.4	9.3	(注4)	
									/	/	SUS304TP	
									267.4	9.3		
									-	-		

65

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
蒸気タービンの附属設備 電動補助給水 ポンプ ～ 弁(2FW-550 A、B、C)	(注13) 15.7	(注6) 40	(注2) 88.9	(注3) 11.1	(注3) STPT42	蒸気タービンの附属設備 変更なし	変更なし				
	—						(注2) 15.7	(注2) 40	(注3, 4, 5) 88.9	(注3, 4, 5) 11.1	(注4, 5) STPT42
	(注6) 15.7	40	(注3) 114.3	(注3) 11.1	(注3) STPT42		変更なし				
			(注3) 114.3	(注3) 11.1	(注11) SUS304TP						
—					(注2) 15.7	(注2) 40	(注3, 4, 5) 114.3	(注3, 4, 5) 11.1	(注4, 5) STPT42		
—					(注2) 15.7		(注3, 4, 5) 114.3	(注3, 4, 5) 11.1	(注4, 5) SUS304TP		
—					(注2) 15.7		(注3, 4) 114.3	(注3, 4) 11.1	(注4) STPT42		
—					(注2) 15.7		(注2) 40	(注3, 4) 88.9	(注3, 4) 11.1	(注4) STPT42	

(次ページに続く)

変更前					変更後							
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	
	圧力	温度					圧力	温度				(MPa)
蒸気タービンの 附属設備 電動補助給水 ポンプ ~ 弁(2FW-550 A、B、C)						蒸気タービンの 附属設備 変更なし	(注2)	(注2)	(注3,4)	(注3,4)	(注4)	
							15.7	40	114.3	11.1	SUS304TP	
										114.3	11.1	(注4)
										114.3	11.1	STPT42

(次ページに続く)

67

変更前					変更後							
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	
	圧力	温度					圧力	温度				
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)		
蒸気タービンの 附属設備 電動補助給水 ポンプ ~ 弁(2FW-550 A、B、C)						蒸気タービンの 附属設備 変更なし			(注3,4)	(注3,4)		
										88.9	11.1	
										/	/	(注4)
										88.9	11.1	STPT42
										/	/	
										88.9	11.1	
							(注2)	(注2)	(注3,4)	(注3,4)		
							15.7	40				
									88.9	11.1		
									/	/	(注4)	
									88.9	11.1	STPT42	
									/	/		
									-	-		

68

変更前						変更後					
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	
蒸気タービンの附属設備 タービン動 補助給水ポンプ ~ 弁(2FW-556 A、B、C)	(注15)	(注6)	(注3)	(注3)	STPT42	蒸気タービンの附属設備 変更なし	変更なし				
		12.3	40	88.9	11.1		(注2)	(注2)	(注3, 4, 5)	(注3, 4, 5)	(注4, 5)
		12.3	40	168.3	14.3		12.3	40	88.9	11.1	STPT42
		(注6)	(注3)	(注3)	STPT42		変更なし				
						(注2)	(注2)	(注3, 4, 5)	(注3, 4, 5)	(注4, 5)	
						12.3	40	168.3	14.3	STPT42	
								(注3, 4)	(注3, 4)	(注4)	
								168.3	14.3	STPT42	
								141.3	12.7		
								(注3, 4)	(注3, 4)	(注4)	
								168.3	14.3	STPT42	
								88.9	11.1		

(次ページに続く)

69

変更前					変更後							
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	
	圧力	温度					圧力	温度				
	(MPa)	(℃)	(mm)	(mm)			(MPa)	(℃)	(mm)	(mm)		
(注15) 蒸気タービンの附属設備 タービン動 補助給水ポンプ ~ 弁(2FW-556 A、B、C)						蒸気タービンの附属設備 変更なし			(注3,4)	(注3,4)		
										168.3	14.3	
										/	/	(注4)
										168.3	14.3	STPT42
										/	/	
										88.9	11.1	
							(注2)	(注2)	(注3,4)	(注3,4)		
							12.3	40	88.9	11.1	(注4)	
									/	/		
									88.9	11.1	STPT42	
									/	/		
									-	-		
									(注3,4)	(注3,4)		
									89.1	11.1		
									/	/	(注4)	
									89.1	11.1	STPT410	
									/	/		
									-	-		

70

変更前						変更後					
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	
蒸気タービンの附属設備 弁(2FW-550 A、B、C 及び 2FW-556 A、B、C) ~ 弁(2FW-562 A、B、C)	(注16)	(注6)	(注3)	(注3)		変更なし					
		8.6	40	88.9	11.1	STPT42	(注2)	(注2)	(注3, 4, 5)	(注3, 4, 5)	(注4, 5)
				-			8.6	40	88.9	11.1	STPT42
	(注6)	8.6	40	(注3)	(注3)	STPT42	変更なし				
			(注3)	(注3)	STPT410	変更なし					
			(注3)	(注3)	(注14)	変更なし					
			114.3	11.1	STPT410	(注2)	(注2)	(注3, 4, 5)	(注3, 4, 5)	(注4, 5)	
			114.3	11.1	STPT410	8.6	40	114.3	11.1	STPT410	
								(注3, 5)	(注3, 5)	(注5)	
								114.3	11.1	STPT410	
								(注3, 4)	(注3, 4)		
								114.3	13.5	(注4)	
								/	/	STPT42	
								88.9	11.1		

(次ページに続く)

71

変更前					変更後							
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	
	圧力	温度					圧力	温度				
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)		
(注16) 弁 (2FW-550 A、B、C 及び 2FW-556 A、B、C) ~ 弁 (2FW-562 A、B、C)						蒸気タービンの 附属設備 変更なし			(注3,4)	(注3,4)		
										114.3	11.1	
										/	/	(注4)
										114.3	11.1	STPT42
										/	/	
										114.3	11.1	
	(注2)						(注2)	40	(注3,4)	(注3,4)		
	8.6								88.9	11.1		
									/	/	(注4)	
									88.9	11.1	STPT42	
									/	/		
									-	-		

(注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「主蒸気管分岐点～タービン動補助給水ポンプ」と記載

(注2) 重大事故等時における使用時の値

(注3) 公称値

(注4) 本設備は既存の設備である。

(注5) エルボを示す。

(注6) SI単位に換算したものである。

(注7) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「制御弁 (2-FCV-478、488、498) 出口合流点～弁 (2-FW-520A、B、C)」と記載

(注8) 本設備は記載の適正化のみを行うものであり、手続き対象外である。

(注9) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「復水タンク～補助給水ポンプ」と記載

(注10) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「2kg/cm²G」と記載

(注11) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPT38」と記載

(注12) 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備 (格納容器安全設備) と兼用

(注13) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「補助給水ポンプ (AF-1A、1B) ～弁 (2-FW-550A、B、C)」と記載

(注14) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPT42」と記載

(注15) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「補助給水ポンプ (AF-2) ～弁 (2-FW-556A、B、C)」と記載

(注16) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (2-FW-550A、B、C及び2-FW-556A、B、C) ～弁 (2-FW-562A、B、C)」と記載

(注17) エルボについては管と同等以上の厚さのものを選定する。

(注18) STPT38同等材 (STPT370) への取替えを行う。

(注19) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

72/E

関西電力株式会社
高浜発電所第2号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1610072号99

成績書管理番号：1-14

令和5年3月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-14

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第2号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和 4 年 12 月 19 日
至 令和 5 年 3 月 29 日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録



検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第321号(平成28年10月7日) 関原発第435号(平成30年3月20日) 関原発第47号(平成30年4月20日) 関原発第203号(平成30年7月4日) 関原発第260号(平成30年8月20日) 関原発第416号(平成30年12月5日) 関原発第505号(平成31年2月1日) 関原発第513号(平成31年2月6日) 関原発第4号(平成31年4月4日) 関原発第69号(2019年5月16日) 関原発第116号(2019年6月24日) 関原発第205号(2019年8月23日) 関原発第511号(2020年1月31日) 関原発第543号(2020年2月26日) 関原発第618号(2020年3月24日) 関原発第23号(2020年4月7日) 関原発第23号(2021年4月30日) 関原発第293号(2021年8月2日) 関原発第562号(2022年2月28日) 関原発第585号(2022年3月15日) 関原発第137号(2022年6月10日) 関原発第209号(2022年7月1日) 関原発第580号(2022年12月27日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-14

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和 4 年 12月19日	良	渋谷 徹 増本 豊	発電用原子炉 主任技術者  ホイラー・タ・ゼン 主任技術者 	なし

3

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：1-14

検査年月日：令和4年12月19日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・一	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-14

検査年月日：令和4年12月19日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ ◎記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-14

検査年月日：令和4年12月19日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象			
原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 ポンプ 主配管 別添1参照の太線枠内の範囲			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統機能検査 ・通水検査 系統性能検査 ・運転性能検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">良</div>	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-0122 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

設 備 概 要

工事計画本文 (原規規発第1606105号 (平成28年6月10日認可))


原子炉冷却系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの (蒸気タービンに係るものを除く。) については、次の事項

9 原子炉補機冷却設備に係る次の事項

(3) ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所

・可搬型

			変更前	変 更 後	
名 称				可搬型原子炉補機冷却水循環ポンプ	
ポンプ	種 類	—		容積式	
	容 量 (注1)	m ³ /h/個		1.0 以上 (1.0 (注2))	
	揚 程 (注1)	m		10 以上 (10 (注2))	
	最高使用圧力 (注1)	MPa		0.33	
	最高使用温度 (注1)	℃		40	
	主要寸法	吸 込 口 径	mm		18.631 (注2,3)
		吐 出 口 径	mm		18.631 (注2,3)
		た て	mm		100 (注2)
		横	mm		173.5 (注2)
		高 さ	mm		115.5 (注2)
	材 料	ケ ー シ ン グ	—		SCS13
	個 数	—			1 (予備1)
	取 付 箇 所	—			
原動機	種 類	—		三相誘導電動機	
	出 力	kW/個		0.4	
	個 数	—		1 (予備1)	
	取 付 箇 所	—		ポンプと同じ	

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) 公称値

(注3) ネジ接続。記載内容は、JISB0203による。

設 備 概 要

工事計画本文（原規規発第1606105号（平成28年6月10日認可））

原子炉冷却系統施設

9 原子炉補機冷却設備に係る次の事項

（8）主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・常設

（次ページより記載）

8

変更前					変更後						
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	
						B使用済					
						燃料ピットクーラ					
						供給配管分岐点			(注3)	(注3, 50)	
						～			34.0	3.4	STPT370
						格納容器雰囲気					
						ガスサンプル					
						リング冷却器	(注4)	(注4)			
～	1.2	95	(注3)	(注3)							
格納容器雰囲気											
ガスサンプル			34.0	3.4							
リング冷却器			/	/							
出口配管分岐点			34.0	3.4	STPT370						
～			/	/							
弁(2V-45204)			34.0	3.4							
下流側取合点											

原子炉補機冷却設備

6

10

変更前					変更後						
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	
						B使用済			(注3)	(注3)	
						燃料ピットクーラ			34.0	3.4	
						供給配管分岐点			/	/	
						～			34.0	3.4	STPT370
						格納容器雰囲気			/	/	
						ガスサンプル			-	-	
						リング冷却器	(注4)	(注4)			
						～	1.2	95	(注3)	(注3)	
						格納容器雰囲気					
						ガスサンプル			34.0	3.4	
						リング冷却器			/	/	
						出口配管分岐点			-	-	STPT370
						～			/	/	
						弁(2V-45204)			34.0	3.4	
						下流側取合点					

原子炉補機冷却設備

変更前					変更後					
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm) 材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm) 材料	
					原子炉補機冷却設備	可搬型原子炉 補機冷却水 循環ポンプ 入口配管分岐点 ～ 可搬型原子炉 補機冷却水 循環ポンプ 入口接続点	(注4) 0.33	(注4) 40	(注3) 34.0	(注3,50) 3.4 STPT370

12

変更前					変更後							
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
						原子炉補機冷却設備	可搬型原子炉 補機冷却水 循環ポンプ 出口接続点 ～ 0.33	(注4) 40	(注4) 34.0	(注3) 3.4	(注3, 50)	STPT370
							可搬型原子炉 補機冷却水 循環ポンプ 出口配管合流点					
							A海水供給母管 接続口 ～ 1.2 Aa、Ab 海水ストレーナ 入口配管合流点	(注4) 40	(注4) 267.4	(注3) 9.3	(注3, 50)	STPT370

(注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水クーラA、B、C～ティ (20×20×16)」と記載

(注2) SI単位に換算したものである。

(注3) 公称値

- (注4) 重大事故等時における使用時の値
- (注5) 本設備は既存の設備である。
- (注6) エルボを示す。
- (注7) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水クーラ出口連絡管」と記載
- (注8) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ヘッダA、B: ティ (20×20×16) ～レジューサ (20×14) 」と記載
- (注9) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (20×14) ～内部スプレクーラ」と記載
- (注10) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ヘッダC: ティ (16×16×16) ～レジューサ (16×12) 」と記載
- (注11) 当該ラインについては、主配管に該当しないため記載の適正化を行う。
- (注12) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ヘッダC: レジューサ (16×12) ～ティ (20×20×16) 」と記載
- (注13) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ヘッダA、B: 内部スプレクーラ～レジューサ (20×14) 」と記載
- (注14) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ヘッダA、B: レジューサ (20×14) ～ティ (20×20×16) 」と記載
- (注15) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水ポンプ入口連絡管」と記載
- (注16) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ティ (20×20×16) ～1次系冷却水ポンプA、B、C、D」と記載
- (注17) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水ポンプ出口レジューサ (16×12) ～ティ (20×20×16) 」と記載
- (注18) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水ポンプ出口連絡管」と記載
- (注19) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水ポンプA、D出口ティ (20×20×16) ～1次系冷却水クーラA、C入口ティ (20×20×16) 」と記載
- (注20) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水クーラ入口連絡管」と記載
- (注21) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ティ (20×20×16) 及びレジューサ (20×16) ～1次系冷却水クーラA、C及びB」と記載
- (注22) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「母管分岐点～余熱除去クーラ (RH-2) A、B」と記載
- (注23) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去クーラ (RH-2) A、B～戻母管合流点」と記載
- (注24) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「母管分岐点～冷却材ポンプA、B、Cへの分岐点」と記載

- カ
- (注25) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「冷却材ポンプB、Cからの合流点～弁 (2-FCV-1241)」と記載
- (注26) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「冷却材ポンプA、Bからの合流点～戻管 (8B) 合流点」と記載
- (注27) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次冷却水ポンプ入口分岐点～弁 (2-5105A、B)」と記載
- (注28) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (2-5105A、B) ～1次系冷却水タンク」と記載
- (注29) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系機器冷却水母管A、B分岐点～燃料ピットクーラ」と記載
- (注30) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料ピットクーラ～1次系機器冷却水戻母管A、B合流点」と記載
- (注31) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系機器冷却水母管分岐点～余剰抽出水クーラ」と記載
- (注32) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余剰抽出水クーラ～1次系機器冷却水戻母管 (10B) 合流点」と記載
- (注33) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系機器冷却水母管～レジューサ (3×2)」と記載
- (注34) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (3×2) ～計器用コンプレッサーパッケージIA-1A、IA-1B入口レジューサ (2×1 1/2)」と記載
- (注35) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「計器用コンプレッサーパッケージIA-1A、IA-1B出口レジューサ (2×1 1/2) ～レジューサ (3×2)」と記載
- (注36) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (3×2) ～1次系機器冷却水戻母管」と記載
- (注37) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系機器冷却水母管分岐点～余熱除去ポンプおよび内部スプレポンプ室空調装置入口レジューサ (3×2)」と記載
- (注38) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (3×2) ～1次系機器冷却水戻母管合流点」と記載
- (注39) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系機器冷却水母管分岐点～レジューサ (4×2)」と記載
- (注40) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (4×2) ～1次系機器冷却水戻母管合流点」と記載
- (注41) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去ポンプおよびスプレポンプ室空調装置冷却ライン分岐点～レジューサ (2×1 1/2)」と記載
- (注42) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去ポンプ冷却ライン分岐点～余熱除去ポンプ入口レジューサ (1 1/2×1/2)」と記載

- (注43) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- (注44) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (2×1 1/2) ～内部スプレポンプ入口分岐点」と記載
- (注45) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレポンプ入口分岐点～レジューサ (1×1/2)」と記載
- (注46) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (1×1/2) ～内部スプレポンプ出口合流点」と記載
- (注47) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレポンプ出口合流点～レジューサ (2×1 1/2)」と記載
- (注48) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去ポンプおよび内部スプレポンプ出入口管」と記載
- (注49) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去ポンプ出口レジューサ (1 1/2×1/2) ～余熱除去ポンプおよび内部スプレポンプ冷却もどりライン合流点」と記載
- (注50) エルボについては管と同等以上の厚さのものを選定する。
- (注51) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (2×1 1/2) ～レジューサ (3×2)」と記載
- (注52) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系機器冷却水母管分岐点～レジューサ (12×10)」と記載
- (注53) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (12×10) ～レジューサ (10×6)」と記載
- (注54) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～レジューサ (6×4)」と記載
- (注55) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (6×4) 及び分岐点～レジューサ (4×2)」と記載
- (注56) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (4×2) および分岐点～格納容器循環空調装置」と記載
- (注57) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (4×2) ～レジューサ (6×4) 及び合流点」と記載
- (注58) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (6×4) ～VS-39Bからの合流点 (VS-39A)」と記載
- (注59) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (10×6) ～レジューサ (12×10)」と記載
- (注60) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (12×10) ～レジューサ (12×8)」と記載
- (注61) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (12×8) ～レジューサ (12×8)」と記載
- (注62) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (12×8) ～1次系機器冷却水戻母管合流点」と記載
- (注63) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てんポンプ室空調装置冷却ライン分岐点～充てん/高圧注入ポンプ分岐点」と記載
- (注64) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てん/高圧注入ポンプ入口分岐点～レジューサ (2×1 1/2) および (2 1/2×2)」

15

と記載

(注65) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (2×1 1/2) ～充てん／高圧注入ポンプ～レジューサ (2×1 1/2)」と記載

(注66) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (2 1/2×2) 充てん／高圧注入ポンプ～レジューサ (2 1/2×2)」と記載

(注67) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (2×1 1/2) およびレジューサ (2 1/2×2) ～充てん／高圧注入ポンプ出口合流点」と記載

(注68) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てん／高圧注入ポンプ出口合流点～充てんポンプ室空調装置冷却戻ライン合流点」と記載

(注69) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「海水ポンプから中間建屋入口まで」と記載

(注70) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SS41」と記載

(注71) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「中間建屋入口～海水母管分岐点及びレジューサ (30×24)」と記載

(注72) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「海水母管分岐点及びレジューサ (30×24) ～1次系冷却水クーラ」と記載

(注73) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水クーラ～戻母管」と記載

(注74) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「中間建屋出口までの戻母管 (埋設部除く)」と記載

(注75) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「戻母管分岐点～ラプチャディスク」と記載

(注76) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「海水母管分岐点～連絡管レジューサ (10×8)」と記載

(注77) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「連絡管分岐点～ディーゼル発電機」と記載

(注78) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ディーゼル発電機～レジューサ (12×8) 及び合流点」と記載

(注79) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (12×8) ～海水戻母管」と記載

(注80) STPT38同等材 (STPT370) への取替えを行う。

(注81) STPG42同等材 (STPG410) への取替えを行う。

(注82) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPG42」と記載

(注83) 本設備は記載の適正化のみを行うものであり、手続き対象外である。

設 備 概 要

工事計画本文（原規規発第1606105号（平成28年6月10日認可））

原子炉冷却系統施設




9 原子炉補機冷却設備に係る次の事項

（8）主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・可搬型




（次ページより記載）

18

変更前		変更後					
名称		最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	取付箇所
-	原子炉補機冷却設備	0.33 <small>(注1)</small>	40 <small>(注1)</small>	20A <small>(注2)</small>	-	SUS304	保管場所 <small>(注8)</small> :
							
	可搬型原子炉補機 冷却水循環ポンプ 吸水用  フレキシブルホース						取付箇所 :
							

19


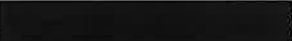
変更前		変更後					
名称		最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材 料	取付箇所
-	原子炉補機冷却設備	0.33 <small>(注1)</small>	40 <small>(注1)</small>	20A <small>(注2)</small>	— <small>(注3)</small>	SUS304	保管場所 <small>(注8)</small> :
							取付箇所 :

変更前		変更後					
名称		最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	取付箇所
—	原子炉補機冷却設備	0 (注1)	60 (注1)	25A (注2)	— (注3)	SUS304	保管場所 (注8) :  取付箇所 : 
	格納容器雰囲気ガス サンプリング冷却水 屋外排水用  m フレキシブルホース						

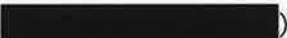
(注1) 重大事故等時における使用時の値


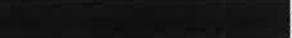
(注2) メーカーにて規定する呼び径を示す。

(注3) メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

(注4) 当該ホース  本 (必要本数 ) 以上を保管する。

(注5) 1・2号機共用の予備は、1号機にて設置する。

(注6) 本数については当該ルートで最長に敷設した場合を記載 ()

(注7) 当該ホース  本 (必要本数 ) 以上を保管する。

(注8) 当該ホース本() 以上を保管する。

(注9) 公称値

(注10) 当該マニホールド() 以上を保管する。

設 備 概 要



別表第二及び工認ガイド改正に伴う書類の提出（関原発第382号（平成30年2月7日））

9 原子炉補機冷却設備に係る次の事項

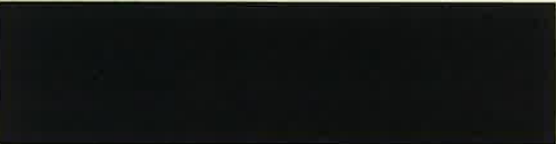

(9) 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・可搬型

(次ページより記載)

名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	個 数	取付箇所
可搬型 原子炉補機 冷却水 循環ポンプ 吸水用 1mフレキシブル ホース	(注1) 0.33	(注1) 40	(注2) 20A	(注3) —	SUS304	1 (予備1)	保管場所：  取付箇所： 

原子炉補機冷却設備

名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	個 数	取付箇所
原子炉補機冷却設備 可搬型 原子炉補機 冷却水 循環ポンプ 送水用 1mフレキシブル ホース	(注1) 0.33	(注1) 40	(注2) 20A	(注3) —	SUS304	1 (予備1)	保管場所：  取付箇所： 

名 称	最高使用	最高使用	外 径	厚 さ	材 料	個 数	取付箇所
	圧 力 (MPa)	温 度 (°C)					
原子炉補機冷却設備 格納容器 雰囲気ガス サンプリング 冷却水 屋外排水用 mフレキシブル ホース	(注1) 0	(注1) 60	(注2) 25A	(注3) —	SUS304	1 (予備1)	保管場所： [Redacted] 取付箇所： [Redacted]

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) メーカーにて規定する呼び径を示す。

(注3) メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

(注4) [Redacted]

(注5) 1・2号機共用の予備は、1号機設備である。



(注6) 最長に敷設した場合の本数 ([Redacted])

(注7) 公称値

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-14

26

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和 5 年 / 月 / 2 日	良	種市 隆人 守野 正登	ボイラー・タービン 主任技術者  発電用原子炉主任技術者 	なし

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-14

検査年月日：令和5年 1月 12日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-14

検査年月日：令和5年 / 月 / 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・一	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・一	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・☹	
系統構成が完了していること。	立会/ ◎記録確認	◎良・一	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-14

検査年月日：令和5年 1 月 12 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象			
原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 主配管 別添1参照の太線枠内の範囲			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統機能検査 ・通水検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">記録確認</div>
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-0550(その1) ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

原子炉冷却系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの（蒸気タービンに係るものを除く。）にあつては、
次の事項

9 原子炉補機冷却設備に係る次の事項

軽微変更届出 関原発第123号 平成30年5月24日

(9) 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・可搬型

変更前								変更後								
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	(注1) 個数	(注1) 取付箇所	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	(注1) 取付箇所	
原子炉補機冷却設備 大容量 ポンプ 出口 ライン 送水用 ホース	(注1) 1.2	(注1) 40	(注2) 250A	(注3) —	(ジャケット部) ポリエ ステル (内張り 部) 合成ゴ ム	(注12,13) 36	保管場所： [黒塗り]	原子炉補機冷却設備	変更なし						保管場所： [黒塗り]	
							(次頁へ続く)									(次頁へ続く)

30

変更前							変更後							
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	(注11) 材料	(注11) 個数 取付箇所	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所
原子炉補機冷却設備 大容量 ポンプ 出口 ライン 送水用 〇mm、〇mm ホース	(前頁からの続き)					(前頁からの続き)	原子炉補機冷却設備	(前頁からの続き)					(前頁からの続き)	
						取付箇所： [Redacted]							取付箇所： [Redacted]	

変更前								変更後							
名称	最高	最高	外径	厚さ	材料	(注12)	取付箇所	名称	最高	最高	外径	厚さ	材料	個数	取付箇所
	使用	使用							使用	使用					
	圧力	温度	(mm)	(mm)				圧力	温度	(mm)	(mm)				
	(MPa)	(°C)						(MPa)	(°C)						
原子炉補機冷却設備	格納容器券囲						保管場所： [Redacted] 取付箇所： [Redacted]	原子炉補機冷却設備							変更なし
	気ガス														
	サンプリング	(注1)	(注1)	(注2)	(注3)	SUS3	1								
	冷却水	0	60	25A	—	04	(予備1)								
	屋外排水用フレキシブルホース														

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) メーカーにて規定する呼び径を示す。

(注3) メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであつて、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

(注7) 当該ホース [Redacted] 本 (必要本数 [Redacted]) 以上を保管する。

(注8) 当該ホース本 (必要本数 [redacted]) 以上を保管する。

(注9) 公称値

(注10) 当該マニホールド台 (必要台数 [redacted]) 以上を保管する。

(注11) 実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則改正に係る適正化

(注12) [redacted]

(注13) 1・2号機共用の予備は、1号機設備である。

(注14) 最長に敷設した場合の本数 ([redacted])

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-1.4

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和 5 年 3 月 29 日	良	荒谷 徹 宇野 正登	ボイラ- タ-ビン 主任技術者 [Redacted] 発電用原子炉主任技術者 [Redacted]	なし

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-14

検査年月日：令和5年 3月 29日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	Ⓔ・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	Ⓔ・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	Ⓔ・一	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-14

検査年月日：令和5年 3月 29日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	Ⓔ良・－	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	Ⓔ良・－	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・Ⓔ	
系統構成が完了していること。	立会/ Ⓔ記録確認	Ⓔ良・－	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-14

検査年月日：令和5年 3月 29日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象			
原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 主配管 別添1参照の太線枠内の範囲			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統機能検査 ・通水検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 <div style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 2px; display: inline-block;">記録確認</div>
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-0014 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			


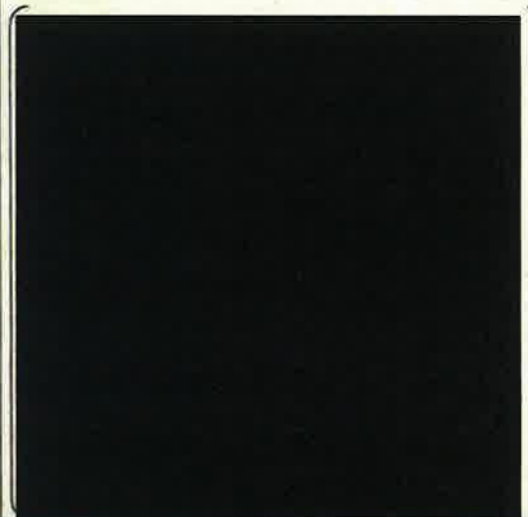
原子炉冷却系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの（蒸気タービンに係るものを除く。）にあつては、次の事項

9 原子炉補機冷却設備に係る次の事項

- (8) 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料
 - ・可搬型

工事計画本文（原規規発第 1606105 号 平成 28 年 6 月 10 日 認可）

変更前	変更後						
	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	取付箇所
-	原子炉補機冷却設備 B充てん／高圧 注入ポンプ 海水排水用 1mホース	(注1) 1.2	(注1) 60	(注2) 50A	(注3) -	(ジャケット部) ポリエステル (内張り部) ゴム 又は 合成樹脂	保管場所 (注7) :  取付箇所 : 

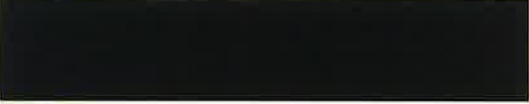

38

工事計画本文（関原発第 382 号 平成 30 年 2 月 7 日 にて別表・ガイド改正）

名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	個 数	取付箇所
原子炉補機冷却設備 B充てん／高圧 注入ポンプ 海水排水用 mホース	(注1) 1.2	(注1) 60	(注2) 50A	(注3) —	(ジャケット部) ポリエステル (内張り部) ゴム 又は 合成樹脂	2 (予備1)	保管場所： [Redacted] 取付箇所： [Redacted]

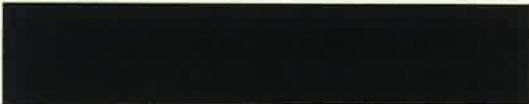
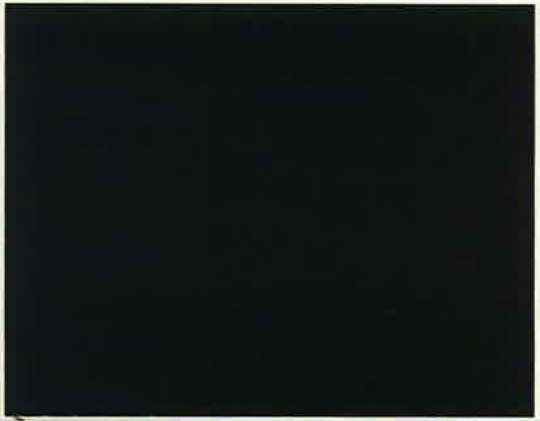
39

工事計画本文 (原規規発第 1606105 号 平成 28 年 6 月 10 日 認可)

変更前	変更後						
	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	取付箇所
—	原子炉補機冷却設備 B余熱除去ポンプ 海水排水用 ■ホース	(注1) 1.2	(注1) 60	(注2) 40A	(注3) —	(ジャケット部) ポリエステル (内張り部) ゴム 又は 合成樹脂	保管場所 (注8) :  取付箇所 : 



40

工事計画本文（関原発第 382 号 平成 30 年 2 月 7 日 にて別表・ガイド改正）

名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	個 数	取付箇所
原子炉補機冷却設備	B余熱除去ポンプ 海水排水用 ■mホース	(注1) 1.2	(注1) 60	(注2) 40A	(注3) —	(ジャケット部) ポリエステル (内張り部) ゴム 又は 合成樹脂	保管場所： 
							取付箇所： 
						1 (予備1)	

17

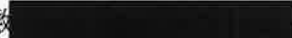
工事計画本文 (原規規発第 1606105 号 平成 28 年 6 月 10 日 認可)

変更前	変更後						
	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	取付箇所
—	原子炉補機冷却設備	0	60	25A	—	SUS304	保管場所 (注8):  取付箇所: 

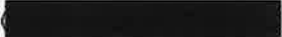
(注1) 重大事故等時における使用時の値

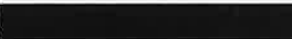
(注2) メーカーにて規定する呼び径を示す。

(注3) メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

(注4) 当該ホース 本 (必要本数 ) 以上を保管する。

(注5) 1・2号機共用の予備は、1号機にて設置する。

(注6) 本数については当該ルートで最長に敷設した場合を記載 ()

(注7) 当該ホース 本 (必要本数 ) 以上を保管する。

工事計画本文（原規規発第 1606105 号 平成 28 年 6 月 10 日 認可）

(注8) 当該ホース本 (必要本数 [REDACTED]) 以上を保管する。

(注9) 公称値

(注10) 当該マニホールド台 (必要台数 [REDACTED]) 以上を保管する。

工事計画本文（関原発第 382 号 平成 30 年 2 月 7 日 にて別表・ガイド改正）

名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	個 数	取付箇所
原子炉補機冷却設備	(注1)	(注1)	(注2)	(注3)	SUS304	1 (予備1)	保管場所： [REDACTED]
							取付箇所： [REDACTED]
格納容器 雰囲気ガス サンプリング 冷却水 屋外排水用 フレキシブル ホース	0	60	25A	—			

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) メーカーにて規定する呼び径を示す。

(注3) メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

(注4) [REDACTED]

(注5) 1・2号機共用の予備は、1号機設備である。

(注6) 最長に敷設した場合の本数 ([REDACTED])

(注7) 公称値

44/E

関西電力株式会社
高浜発電所第2号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1610072号99

成績書管理番号：1-15

令和5年4月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-15

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第2号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和5年 1月12日
至 令和5年 4月14日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録



検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第321号(平成28年10月7日) 関原発第435号(平成30年3月20日) 関原発第47号(平成30年4月20日) 関原発第203号(平成30年7月4日) 関原発第260号(平成30年8月20日) 関原発第416号(平成30年12月5日) 関原発第505号(平成31年2月1日) 関原発第513号(平成31年2月6日) 関原発第4号(平成31年4月4日) 関原発第69号(2019年5月16日) 関原発第116号(2019年6月24日) 関原発第205号(2019年8月23日) 関原発第511号(2020年1月31日) 関原発第543号(2020年2月26日) 関原発第618号(2020年3月24日) 関原発第23号(2020年4月7日) 関原発第23号(2021年4月30日) 関原発第293号(2021年8月2日) 関原発第562号(2022年2月28日) 関原発第585号(2022年3月15日) 関原発第137号(2022年6月10日) 関原発第209号(2022年7月1日) 関原発第580号(2022年12月27日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-15

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和 5 年 1 月 12 日	良	種市 隆人 宇野 正登	ボイラー、タービン 主任技術者  発電用原子炉主任技術者 	なし

ω

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-15

検査年月日：令和5年 / 月 / 2日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	⓪良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	⓪良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	⓪良・一	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-15

検査年月日：令和5年 1月 12日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	⊙・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	⊙・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	⊙・—	
系統構成が完了していること。	立会/ ⊙記録確認	⊙・—	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-15

検査年月日：令和5年 1月12日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象			
<p>原子炉冷却系統施設 ※1 非常用炉心冷却設備等の他原子炉注水設備 原子炉補機冷却設備 ポンプ 主配管 ※1 別添1参照の太線枠内の範囲</p> <p style="text-align: right;">※1: 令和5年1月24日 修正及び追記。 種市隆人 蒸気タービンの附属設備 主配管 原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備(格納容器安全設備) 主配管</p>			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統機能検査 ・ 通水検査 系統性能検査 ・ 運転性能検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-0555、T2-3-0607 ・ 目視で確認した範囲：添付資料3-3参照 			

原子炉冷却系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの（蒸気タービンに係るものを除く。）にあつては次の事項

7 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備に係る次の事項

(1) ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所

以下の設備の予備は、既存の3号機設備（3号機及び4号機共用）であり、本工事計画で1号機、2号機、3号機及び4号機共用とする。

・可搬型

(1/2)

名称		変更前	変更後
種類			可搬式代替低圧注水ポンプ
容量	m ³ /h/個		
揚程	m		
最高使用圧力	MPa		1.55
最高使用温度	℃		
主要寸法	吸込口径	mm	
	吐出口径	mm	
	たて	mm	
	横	mm	
	高さ	mm	
	両全長	mm	
	両全幅	mm	
ポンプ	両高さ	mm	
	ケーシング		
	ケーシング		
材料	ケーシング		
	ケーシング		
	カバー		
個数			2 (1E3)
取付箇所			

次ページへ続く

(2/2)

			変更前	変更後
原動機	種	類	—	三相誘導電動機
	出	力	kW/個	[REDACTED]
	個	数	—	2
	取	付	箇所	[REDACTED]

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) 公称値

(注3) 1・2・3・4号機共用の予備は、3号機設備である。

工事計画本文（関原発第382号 平成30年2月7日にて届出）

7 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備に係る次の事項



(7) 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・可搬型

名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	個 数	取付箇所
非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 可搬式代替低圧 注水ポンプ 吸水用 mホース	(注1)	(注1)	(注2)	(注3)		(注4)	保管場所： [Redacted]
				—			取付箇所： [Redacted]

9

工事計画本文（関原発第123号 2018年5月24日にて軽微変更届出）

変更前							変更後								
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数 (注11)	取付箇所 (注11)	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所
非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	可搬式 代替低圧 注水 ポンプ ～	(注1)	(注1)	(注6)	(注6)	(注4, 12)	保管場所：  (次頁へ続く)	非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	変更なし						保管場所：  (次頁へ続く)
	可搬式 代替低圧 注水 ポンプ 出口 接続口														

次ページへ続く

10

11

変 更 前								変 更 後							
名 称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	(注1) 個数	(注1) 取付箇所	名 称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所
(前頁からの続き)							(前頁からの続き)	(前頁からの続き)							(前頁からの続き)
非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備							[Redacted]	非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備							[Redacted]
可搬式 代替低圧 注水 ポンプ ～ 可搬式 代替低圧 注水 ポンプ 出口 接続口															

次ページへ続く

(注3) メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

(注4) 1・2・3・4号機共用の予備は、3号機設備である。

(注5) 当該ホース本（必要本数）以上を保管する。

(注6) 公称値

(注8) 1・2号機共用の予備は、1号機にて設置する。

(注9) 当該ホース本（必要本数）以上を保管する。

(注10) 本数については当該ルートで最長に敷設した場合を記載（ ）

(注11) 実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則改正に係る適正化

(注12) 可搬式代替低圧注水ポンプの保有数と同じ数量

工事計画本文（関原発第382号 平成30年2月7日にて届出）

名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	個 数	取付箇所
非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 可搬式代替低圧 注水ポンプ 送水用 ■ mホース (フランジ継手付、 フランジ継手なし)	(注1)	(注1)	(注2)	(注3)		(注7,8)	保管場所： <div style="background-color: black; width: 100%; height: 50px;"></div>
				—			取付箇所： <div style="background-color: black; width: 100%; height: 150px;"></div>

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) メーカーにて規定する呼び径を示す。

(注3) メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

13

(注4) 1・2・3・4号機共用の予備は、3号機設備である。

(注5) 公称値

(注6) 可搬式代替低圧注水ポンプの保有数と同じ数量

(注7) 1・2号機共用の予備は、1号機設備である。

(注8)

(注9) 最長に敷設した場合の本数

原子炉冷却系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの（蒸気タービンに係るものを除く。）にあつては次の事項

7 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備に係る次の事項

(1) 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・常設

(次のページに続く)

16

変更前					変更後							
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	
	圧力	温度					圧力	温度				
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)		
						(注56)	(注15)	(注15)	(注3)	(注3)		
					非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	復水タンク ブロー配管 接続口 ～ 弁(2CW-301) ～ 復水タンク	0	40	165.2	7.1	SUS304TP	
										(注3)	(注3)	SUS304TP
										(注3)	(注3, 8)	SUS304TP
								(注15)	(注15)	(注3)	(注3)	
								1.3	40	165.2	7.1	
								—	—	SUS304TP		
								89.1	5.5			

(注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料取換用水タンク～弁(2-6400A、B)」と記載

(注2) SI単位に換算したものである。

(注3) 公称値

(注4) エルゴについては既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。厚さについては管と同等以上のものを選定する。なお、記載内容は、設計図書による。

(注5) 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備(格納容器安全設備)及びその他発電用原子炉の附属施設(火災防護設

備)のうち消火設備と兼用

(注6) 重大事故等時に使用

(注7) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

(注8) エルボについては管と同等以上の厚さのものを選定する。

(注9) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料取換用水タンク～弁 (2-8926)」と記載

(注10) 計測制御系統施設のうちほう酸注入機能を有する設備と兼用

(注11) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SUS27TP」と記載

(注12) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「逆止弁 (2-8926) ～弁 (2-LCV-115B、D)」と記載

(注13) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「格納容器サンプ～弁 (2-8811A、B)」と記載

(注14) 記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の「原子炉格納容器」の「原子炉格納容器本体」による。

(注15) 重大事故等時における使用時の値

(注16) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (2-8811A、B) ～弁 (2-8812A、B)」と記載

(注17) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料取換用水タンク～逆止弁 (2-8958)」と記載

(注18) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「逆止弁 (2-8958) ～弁 (2-8809A、B)」と記載

(注19) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去ポンプ入口母管～弁 (2-5400)」と記載

(注20) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てん／高圧注入ポンプ出口集合母管～弁 (2-8803A、B) および弁 (2-8816) (2-FE943取付部を除く)」と記載

(注21) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てん／高圧注入ポンプ出口集合母管～弁 (2-8815) 及び弁 (2-8814) (2-FE940取付部を除く)」と記載

(注22) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (2-8815) ～分岐点」と記載

(注23) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～逆止弁 (2-8942A、B、C)」と記載

(注24) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「逆止弁 (2-8942A、B、C) ～余除去クーラ出口合流点」と記載

(注25) エルボを示す。



17

- 18
- (注26) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「2-FE943および2-FE940取付部（レジューサ4×3～レジューサ4×3）」と記載
- (注27) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（2-8803A、B）～レジューサ（6×3）」と記載
- (注28) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ（6×3）～ほう酸注入タンク」と記載
- (注29) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ほう酸注入タンク出口レジューサ（6×3）～弁（2-8801A、B）」と記載
- (注30) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（2-8801A、B）～分岐点」と記載
- (注31) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～逆止弁（2-8944A、B、C）」と記載
- (注32) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（2-8944A、B、C）～主冷却材管ループ低温側注入ライン合流点」と記載
- (注33) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「（最小）9.5」と記載
- (注34) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「（最小）9.5／－／（最小）9.5」と記載
- (注35) 公称値は既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。
- (注36) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（2-8816）～分岐点」と記載
- (注37) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～逆止弁（2-8937A、B、C）」と記載
- (注38) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（2-8814）～分岐点」と記載
- (注39) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～逆止弁（2-8939A、B、C）」と記載
- (注40) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（2-8937C）及び弁（2-8939C）～弁（2-8940C）」と記載
- (注41) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「（最小）9.5／（最小）9.5／（最小）9.5」と記載
- (注42) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「逆止弁（2-8937A、B）及び逆止弁（2-8939A、B）～余熱除去クーラ出口合流点」と記載
- (注43) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（2-8973A、B、C）～弁（2-8945A、B、C）」と記載
- (注44) 余熱除去設備と兼用
- (注45) 余熱除去設備及び計測制御系統施設のうちほう酸注入機能を有する設備と兼用
- (注46) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去クーラ出口ラインと非常用炉心冷却設備との取合点～弁（2-8818A、B）及び弁（2-8819）」と記載

- (注47) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁(2-8818A、B)～逆止弁(2-8971A、B)を経てコールドレグループB注入ラインへの分岐点」と記載
- (注48) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「コールドレグループB注入ラインへの分岐点～逆止弁(2-8973A、B、C)」と記載
- (注49) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁(2-8819)～分岐点」と記載
- (注50) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～逆止弁(2-8935A、B)」と記載
- (注51) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁(2-8935A、B)～弁(2-8940A、B)」と記載
- (注52) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「アキュムレータA、B、C～弁(2-8808A、B、C)」と記載
- (注53) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁(2-8808A、B、C)～逆止弁(2-8948A、B、C)」と記載
- (注54) 本設備は既存の設備である。
- (注55) 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備(格納容器安全設備)と兼用
- (注56) 蒸気タービンの附属設備及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備(格納容器安全設備)と兼用

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-15

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和 5 年 3 月 29 日	良	洪 本 徹 宇野 正登	ボイラ- タ-ビン 主任技術者  発電用原子炉主任技術者 	なし

20

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：1-15

検査年月日：令和5年3月29日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	Ⓔ良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	Ⓔ良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	Ⓔ良・一	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-15

検査年月日：令和5年 3月 29日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	Ⓐ・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	Ⓐ・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・Ⓐ	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	Ⓐ・—	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
(三号検査)

成績書管理番号：1-15

検査年月日：令和5年 3月 29日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象			
原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備） 主配管 別添1参照の太線枠内の範囲			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統機能検査 ・通水検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-0005、T2-3-0006 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
(三号検査)
(立会検査)

成績書管理番号：1-15

検査年月日：令和5年 3月 29日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
主配管	通水検査	-	良	目視 ^{*1}
以下余白				
備考 ※1：別添1の太線枠内の範囲（検査範囲の詳細については、別添2参照）				

原子炉冷却系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの（蒸気タービンに係るものを除く。）にあつては、次の事項

7 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備に係る次の事項

(7) 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・常設

工事計画本文（原規規発第 1606105 号 平成 28 年 6 月 10 日 認可）

変更前					変更後									
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm) 材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm) 材料					
					(注55) 燃料取替用水 タンク出口配管 分岐点 及び B電動補助 給水ポンプ 入口配管分岐点 ～ 原子炉下部 ギャビティ 注水ポンプ 及び 恒設代替低圧 注水ポンプ			(注3)	(注3, 8)					
					非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備					267.4	9.3	SUS304TP		
									(注3)	(注3, 8)	355.6	11.1	SUS304TP	
						(注15)	(注15)	(注3)	(注3)	0	40	267.4	9.3	SUS304TP
											165.2	7.1		
									(注3)	(注3)	355.6	11.1	SUS304TP	
										267.4	9.3			

(次ページに続く)

25

26

変 更 前					変 更 後						
名 称	最高使用	最高使用	外 径	厚 さ	材 料	名 称	最高使用	最高使用	外 径	厚 さ	材 料
	圧 力	温 度					圧 力	温 度			
						(注55)			(注3)	(注3,8)	
					非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	燃料取替用水 タンク出口配管 分岐点 及び B電動補助 給水ポンプ			267.4	9.3	SUS304TP
						入口配管分岐点 ～ 原子炉下部 キャビティ 注水ポンプ 及び 恒設代替低圧 注水ポンプ	(注15)	(注15)	355.6	11.1	SUS304TP
							0	40	267.4	9.3	SUS304TP
									165.2	7.1	
									355.6	11.1	SUS304TP
								267.4	9.3		

(次ページに続く)

27

変更前					変更後						
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
					非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	(注55) 燃料取替用水 タンク出口配管 分岐点 及び B電動補助 給水ポンプ 入口配管分岐点 ～ 原子炉下部 キャビティ 注水ポンプ 及び 恒設代替低圧 注水ポンプ			(注3) 165.2	(注3, 8) 7.1	SUS304TP
						(注15) 0	(注15) 95	(注3) 216.3	(注3, 8) 8.2	SUS304TP	
								(注3) 267.4	(注3, 8) 9.3	SUS304TP	

(次ページに続く)

28

変更前					変更後					
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
					(注55) 燃料取替用水 タンク出口配管 分岐点 及び B電動補助 給水ポンプ 入口配管分岐点 ～ 原子炉下部 キャビティ 注水ポンプ 及び 恒設代替低圧 注水ポンプ	0	95	355.6	11.1	SUS304Ti
					非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備			267.4	9.3	SUS304Ti
								165.2	7.1	

(次ページに続く)

29

変更前					変更後						
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
			(mm)	(mm)		(注5)			(注3)	(注3)	
					非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	燃料取替用水 タンク出口配管 分岐点 及び B電動補助 給水ポンプ	(注15)	(注15)	355.6 /	11.1 /	SUS304TP
						入口配管分岐点 ～ 原子炉下部 キャビティ 注水ポンプ 及び 恒設代替低圧 注水ポンプ	0	95	216.3 /	8.2 /	
									(注3)	(注3)	
									355.6 /	11.1 /	SUS304TP
									355.6 /	11.1 /	SUS304TP
									267.4 /	9.3 /	

変更前					変更後							
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	
	圧力	温度					圧力	温度				(MPa)
						(注55)			(注3)	(注3, 8)		
									114.3	6.0	SUS304TP	
									(注3)	(注3, 8)		
									165.2	7.1	SUS304TP	
									(注3)	(注3)		
									165.2	7.1		
							(注15)	95	/	/	SUS304TP	
							(注15)	2.7	114.3	6.0		
									(注3)	(注3)		
									165.2	7.1		
									/	/		
									165.2	7.1	SUS304TP	
									/	/		
									165.2	7.1		
									(注15)	(注3)	(注3, 8)	
									150	165.2	7.1	SUS304TP

非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備

原子炉下部
キャビティ注水
ポンプ
～
A内部スプレ
クーラ
出口配管合流点

31

変更前					変更後						
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	
						(注55)			(注3, 54)	(注3, 8, 54)	(注54)
					非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	内部スプレ クーラ			114.3	6.0	SUS27TP
						出口テスト ライン分岐点	(注15)	(注15)	(注3)	(注3, 8)	SUS304TP
						～	0	95			
						弁 (2MOV-6496 A、B)			(注3, 54)	(注3, 54)	
						～			114.3	6.0	
						燃料取替 用水タンク			—	—	(注54) SUS27TP
									114.3	6.0	

(次ページに続く)

32

変更前					変更後						
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
						(注55) 内部スプレ クーラ 出口テスト ライン分岐点 ～ 弁(2MOV-6496 A、B) ～ 燃料取替 用水タンク	(注15) 2.1	(注15) 95	(注3, 54) 114.3	(注3, 8, 54) 6.0	(注54) SUS27TP
									(注3) 114.3	(注3, 8) 6.0	SUS304TP
									(注3, 54) 114.3	(注3, 54) 6.0	
									114.3	6.0	(注54) SUS27TP
									114.3	6.0	

(次ページに続く)

変更前					変更後						
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
						(注55)			(注3)	(注3)	
						内部スプレ クーラ			114.3	6.0	
						出口テスト ライン分岐点	(注15)	(注15)	114.3	6.0	SUS304TP
						～	2.1	95	-	-	
						弁(2MOV-6496 A、B)			(注3)	(注3)	
						～			114.3	6.0	
						燃料取替 用水タンク			-	-	SUS304TP
									114.3	6.0	

非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備

(次ページに続く)

中

変更前					変更後						
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
						(注55)			(注3)	(注3, 8)	SUS304TP
						内部スプレ クーラ			114.3	6.0	
						出口テスト ライン分岐点	(注15)	(注15)	(注3, 54)	(注3, 54)	(注54)
						～	2.7	150	114.3	8.6	SUS27TP
						弁(2MOV-6496 A、B)			(注3)	(注3)	
						～			114.3	6.0	
						燃料取替 用水タンク			—	—	SUS304TP
									114.3	6.0	

非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備

35

変更前					変更後							
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	
	圧力	温度					圧力	温度				
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)		
						非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	(注56)	(注15)	(注15)	(注3)	(注3)	
								0	40	165.2	7.1	SUS304TP
							復水タンク ブロー配管 接続口 ～ 弁(2CW-301) ～ 復水タンク	(注15)	(注15)	(注3)	(注3)	
										89.1	5.5	SUS304TP
										(注3)	(注3, 8)	
165.2	7.1	SUS304TP										
	1.3	40	(注3)	(注3)								
			165.2	7.1								
			/	/								
			-	-	SUS304TP							
			/	/								
			89.1	5.5								

(注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料取換用水タンク～弁(2-6400A、B)」と記載

(注2) SI単位に換算したものである。

(注3) 公称値

(注4) エルボについては既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。厚さについては管と同等以上のものを選定する。なお、記載内容は、設計図書による。

(注5) 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備(格納容器安全設備)及びその他発電用原子炉の附属施設(火災防護設

備)のうち消火設備と兼用

(注6) 重大事故等時に使用

(注7) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

(注8) エルボについては管と同等以上の厚さのものを選定する。

(注9) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料取換用水タンク～弁(2-8926)」と記載

(注10) 計測制御系統施設のうちほう酸注入機能を有する設備と兼用

(注11) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SUS27TP」と記載

(注12) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「逆止弁(2-8926)～弁(2-LCV-115B、D)」と記載

(注13) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「格納容器サンプ～弁(2-8811A、B)」と記載

(注14) 記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の「原子炉格納容器」の「原子炉格納容器本体」による。

(注15) 重大事故等時における使用時の値

(注16) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁(2-8811A、B)～弁(2-8812A、B)」と記載

(注17) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料取換用水タンク～逆止弁(2-8958)」と記載

(注18) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「逆止弁(2-8958)～弁(2-8809A、B)」と記載

(注19) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去ポンプ入口母管～弁(2-5400)」と記載

(注20) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てん／高圧注入ポンプ出口集合母管～弁(2-8803A、B) および弁(2-8816) (2-FE943取付部を除く)」と記載

(注21) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てん／高圧注入ポンプ出口集合母管～弁(2-8815) 及び弁(2-8814) (2-FE940取付部を除く)」と記載

(注22) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁(2-8815)～分岐点」と記載

(注23) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～逆止弁(2-8942A、B、C)」と記載

(注24) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「逆止弁(2-8942A、B、C)～余除去クーラ出口合流点」と記載

(注25) エルボを示す。

(注26) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「2-FE943および2-FE940取付部（レジューサ4×3～レジューサ4×3）」と記載

(注27) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（2-8803A、B）～レジューサ（6×3）」と記載

(注28) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ（6×3）～ほう酸注入タンク」と記載

(注29) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ほう酸注入タンク出口レジューサ（6×3）～弁（2-8801A、B）」と記載

(注30) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（2-8801A、B）～分岐点」と記載

(注31) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～逆止弁（2-8944A、B、C）」と記載

(注32) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（2-8944A、B、C）～主冷却材管ループ低温側注入ライン合流点」と記載

(注33) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「（最小）9.5」と記載

(注34) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「（最小）9.5／－／（最小）9.5」と記載

(注35) 公称値は既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。

(注36) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（2-8816）～分岐点」と記載

(注37) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～逆止弁（2-8937A、B、C）」と記載

(注38) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（2-8814）～分岐点」と記載

(注39) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～逆止弁（2-8939A、B、C）」と記載

(注40) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（2-8937C）及び弁（2-8939C）～弁（2-8940C）」と記載

(注41) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「（最小）9.5／（最小）9.5／（最小）9.5」と記載

(注42) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「逆止弁（2-8937A、B）及び逆止弁（2-8939A、B）～余熱除去クーラ出口合流点」と記載

(注43) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（2-8973A、B、C）～弁（2-8945A、B、C）」と記載

(注44) 余熱除去設備と兼用

(注45) 余熱除去設備及び計測制御系統施設のうちほう酸注入機能を有する設備と兼用

(注46) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去クーラ出口ラインと非常用炉心冷却設備との取合点～弁（2-8818A、B）及び弁（2-8819）」と記載

- (注47) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (2-8818A、B) ～逆止弁 (2-8971A、B) を経てコールドレグループB注入ラインへの分岐点」と記載
- (注48) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「コールドレグループB注入ラインへの分岐点～逆止弁 (2-8973A、B、C) 」と記載
- (注49) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (2-8819) ～分岐点」と記載
- (注50) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～逆止弁 (2-8935A、B) 」と記載
- (注51) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (2-8935A、B) ～弁 (2-8940A、B) 」と記載
- (注52) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「アキュムレータA、B、C～弁 (2-8808A、B、C) 」と記載
- (注53) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (2-8808A、B、C) ～逆止弁 (2-8948A、B、C) 」と記載
- (注54) 本設備は既存の設備である。
- (注55) 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備 (格納容器安全設備) と兼用
- (注56) 蒸気タービンの附属設備及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備 (格納容器安全設備) と兼用



工事計画認可申請	第7-2-2図
高圧送電所	第2号機
原子炉格納施設の系統図 (正力低減設備その他の安全設備 (格納容器安全設備)(2/S) (重大事故対処設備))	
関西電力株式会社	



工事計画認可申請	第7-2-6図
高圧発電所	第2号機
原子炉格納施設の系統図 (圧力低減設備その他の安全設備 (格納容器安全設備))(6/8) (重大事故等対処設備)	
関西電力株式会社	

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-15

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和 5 年 4 月 13 日 14	良	増本 豊 吉村 直樹	発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] ボイラ・タービン 主任技術者 [Redacted]	なし

ヤ

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-15

検査年月日：令和5年 4月 13日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
(三号検査)

成績書管理番号：1-15

検査年月日：令和5年4月13日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・-	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・-	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・-	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・-	

工事計画本文 (原規規発第 1606105 号 平成 28 年 6 月 10 日 認可)

原子炉冷却系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの（蒸気タービンに係るものを除く。）にあつては、次の事項

7 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備に係る次の事項

- (1) ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所


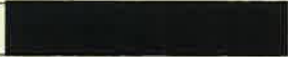

・常設

(1/2)

名 称			変 更 前	変 更 後	
ポンプ	種 類	—	—	恒設代替低圧注水ポンプ (注1)	
	容 量 (注2)	m ³ /h/個		うず巻形	
	揚 程 (注2)	m			
	最高使用圧力 (注2)	MPa			
	最高使用温度 (注2)	℃			
	主要寸法	吸 込 口 径			mm
		吐 出 口 径			mm
		ケーシング厚さ			mm
		た て			mm
		横			mm
		高 さ			mm
	材 料	ケーシング			—
		ケーシングカバー			—
	個 数	—			

(次ページに続く)

4445

			変更前	変更後
ポンプ	取付箇所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—	恒設代替低圧注水ライン 
		設 置 床	—	
		溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	
		溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	
原動機	種 類	—	三 相 誘 導 電 動 機	
	出 力	kW/個		
	個 数	—	1	
	取 付 箇 所	—		

4546



(7) 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・常設

変更前					変更後						
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
						(注54) B内部スプレ クーラ			(注3) 165.2	(注3,8) 7.1	SUS304TP
						出口配管分岐点 弁(2MOV-8746)	(注15) 2.7	(注15) 150	(注3) 165.2	(注3) 7.1	
						行き ~ 弁(2MOV-8746)			/	/	SUS304TP
						~ B余熱除去クーラ			/	/	
						出口配管合流点	(注15) 4.1	(注15) 200	(注3) 165.2	(注3,8) 7.1	SUS304TP

非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備

47

88/48

変更前					変更後						
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
						(注55)			(注3)	(注3,8)	
					非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	燃料取替用水			267.4	9.3	SUS304TP
						タンク出口配管			(注3)	(注3,8)	
						分岐点			355.6	11.1	SUS304TP
						及び					
						B電動補助					
					給水ポンプ	(注15)	(注15)	(注3)	(注3)		
					入口配管分岐点	0	40	267.4	9.3		
					～			/	/	SUS304TP	
					原子炉下部			165.2	7.1		
					キャビティ						
					注水ポンプ			355.6	11.1		
					及び			/	/	SUS304TP	
					恒設代替低圧			267.4	9.3		
					注水ポンプ						

(次ページに続く)

4849

変更前					変更後						
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	
						(注55)					
					非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	燃料取替用水・ タンク出口配管 分岐点 及び B電動補助 給水ポンプ 入口配管分岐点 ～ 原子炉下部 キャビティ 注水ポンプ 及び 恒設代替低圧 注水ポンプ			(注3)	(注3, 8)	SUS304TP
						(注15)	(注15)	(注3)	(注3, 8)	SUS304TP	
						0	95				
									(注3)	(注3, 8)	SUS304TP

(次ページに続く)

1950

変更前					変更後						
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	
						(注56) 燃料取替用水 タンク出口配管 分岐点 及び B電動補助 給水ポンプ 入口配管分岐点 ～ 原子炉下部 キャビティ 注水ポンプ 及び 恒設代替低圧 注水ポンプ	(注15) 0	(注15) 95	(注3) 355.6	(注3, 8) 11.1	SUS304TP
					非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備			(注3) 267.4	(注3) 9.3		SUS304TP
								165.2	7.1		

(次ページに続く)

5051

変更前					変更後					
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
					(注55) 燃料取替用水 タンク出口配管 分岐点 及び B電動補助 給水ポンプ 入口配管分岐点 ～ 原子炉下部 キャビティ 注水ポンプ 及び 恒設代替低圧 注水ポンプ	(注15) 0	(注15) 95	(注3) 355.6 216.3	(注3) 11.1 8.2	SUS304TP
								(注3) 355.6 355.6 267.4	(注3) 11.1 11.1 9.3	SUS304TP

非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備

5152

変更前					変更後							
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	
	圧力	温度					圧力	温度				
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)		
						(注55)			(注3)	(注3, 8)		
									114.3	6.0	SUS304TP	
									(注3)	(注3, 8)		
									165.2	7.1	SUS304TP	
									(注3)	(注3)		
									165.2	7.1	SUS304TP	
							(注15)	95	/	/		
							(注15)	2.7	114.3	6.0		
									(注3)	(注3)		
									165.2	7.1	SUS304TP	
									/	/		
									165.2	7.1		
									/	/		
									165.2	7.1		
									(注15)	(注3)	(注3, 8)	
									150	165.2	7.1	SUS304TP

非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備

恒設代替低圧
注水ポンプ
～
B内部スプレ
クーラ
出口配管合流点

5253

変更前					変更後							
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
						非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	恒設代替低圧 注水ポンプ 出口配管分岐点 ～ 弁(2V-6484) ～ 恒設代替低圧 注水ポンプ 出口配管合流点	(注15) 2.7	(注15) 95	(注3) 60.5	(注3, 8) 3.9	SUS304TP

#254

変更前					変更後						
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	
									(注3)	(注3.8)	
									165.2	7.1	SUS304TP
									(注3)	(注3)	
									165.2	7.1	
									/	/	SUS304TP
									114.3	6.0	
									(注3)	(注3)	
									165.2	7.1	
							(注15)	(注15)	/	/	
							2.7	40	165.2	7.1	SUS304TP
									/	/	
									165.2	7.1	
									(注3)	(注3)	
									165.2	7.1	
									/	/	
									165.2	7.1	SUS304TP
									/	/	
									-	-	

非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備

可搬式代替低圧
注水ライン
接続口
～
恒設代替低圧
注水ポンプ
出口配管合流点

(次ページに続く)

5455

変更前					変更後					
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm) 材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm) 材料	
					非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	(注15) 2.7	(注15) 95	(注3) 60.5	(注3, 8) 3.9	SUS304TP
								(注3) 165.2	(注3, 8) 7.1	SUS304TP

56

変更前					変更後						
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	
						非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備			(注3)	(注3, 8)	
									(注3)	(注3, 8)	
							(注15)	(注15)	(注3, 54)	(注3, 54)	(注54)
									(注3)	(注3)	

(次ページに続く)

56-57

変更前					変更後						
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
									(注3)	(注3)	
									89.1	11.1	
									89.1	11.1	SUS304TP
							(注15)	(注15)	—	—	
						弁(2V-8579)	18.8	150			
									(注3)	(注3)	
									89.1	11.1	
									—	—	SUS304TP
									89.1	11.1	

非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備

5758

変更前					変更後						
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
						(注56)	(注15)	(注15)	(注3)	(注3)	
						非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	0	40	165.2	7.1	SUS304TP
					復水タンク ブロー配管 接続口 ～				(注3) 89.1	(注3) 5.5	SUS304TP
					弁(2CW-301) ～		(注15) 1.3	(注15) 40	(注3) 165.2	(注3, 8) 7.1	SUS304TP
					復水タンク				(注3) /	(注3) /	SUS304TP
									89.1	5.5	

(注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料取換用水タンク～弁(2-6400A、B)」と記載

(注2) SI単位に換算したものである。

(注3) 公称値

(注4) エルゴについては既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。厚さについては管と同等以上のものを選定する。なお、記載内容は、設計図書による。

(注5) 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備(格納容器安全設備)及びその他発電用原子炉の附属施設(火災防護設

備)のうち消火設備と兼用

(注6) 重大事故等時に使用

(注7) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

(注8) エルボについては管と同等以上の厚さのものを選定する。

(注9) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料取換用水タンク～弁(2-8926)」と記載

(注10) 計測制御系統施設のうちほう酸注入機能を有する設備と兼用

(注11) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SUS27TP」と記載

(注12) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「逆止弁(2-8926)～弁(2-LCV-115B、D)」と記載

(注13) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「格納容器サンプ～弁(2-8811A、B)」と記載

(注14) 記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の「原子炉格納容器」の「原子炉格納容器本体」による。

(注15) 重大事故等時における使用時の値

(注16) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁(2-8811A、B)～弁(2-8812A、B)」と記載

(注17) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料取換用水タンク～逆止弁(2-8958)」と記載

(注18) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「逆止弁(2-8958)～弁(2-8809A、B)」と記載

(注19) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去ポンプ入口母管～弁(2-5400)」と記載

(注20) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てん/高圧注入ポンプ出口集合母管～弁(2-8803A、B)および弁(2-8816)(2-FE943取付部を除く)」と記載

(注21) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てん/高圧注入ポンプ出口集合母管～弁(2-8815)及び弁(2-8814)(2-FE940取付部を除く)」と記載

(注22) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁(2-8815)～分岐点」と記載

(注23) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～逆止弁(2-8942A、B、C)」と記載

(注24) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「逆止弁(2-8942A、B、C)～余熱除去クーラ出口合流点」と記載

(注25) エルボを示す。

59

5960

- (注26) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「2-FE943および2-FE940取付部（レジューサ4×3～レジューサ4×3）」と記載
- (注27) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（2-8803A、B）～レジューサ（6×3）」と記載
- (注28) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ（6×3）～ほう酸注入タンク」と記載
- (注29) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ほう酸注入タンク出口レジューサ（6×3）～弁（2-8801A、B）」と記載
- (注30) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（2-8801A、B）～分岐点」と記載
- (注31) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～逆止弁（2-8944A、B、C）」と記載
- (注32) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（2-8944A、B、C）～主冷却材管ループ低温側注入ライン合流点」と記載
- (注33) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「（最小）9.5」と記載
- (注34) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「（最小）9.5／－／（最小）9.5」と記載
- (注35) 公称値は既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。
- (注36) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（2-8816）～分岐点」と記載
- (注37) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～逆止弁（2-8937A、B、C）」と記載
- (注38) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（2-8814）～分岐点」と記載
- (注39) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～逆止弁（2-8939A、B、C）」と記載
- (注40) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（2-8937C）及び弁（2-8939C）～弁（2-8940C）」と記載
- (注41) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「（最小）9.5／（最小）9.5／（最小）9.5」と記載
- (注42) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「逆止弁（2-8937A、B）及び逆止弁（2-8939A、B）～余熱除去クーラ出口合流点」と記載
- (注43) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（2-8973A、B、C）～弁（2-8945A、B、C）」と記載
- (注44) 余熱除去設備と兼用
- (注45) 余熱除去設備及び計測制御系統施設のうちほう酸注入機能を有する設備と兼用
- (注46) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去クーラ出口ラインと非常用炉心冷却設備との取合点～弁（2-8818A、B）及び弁（2-8819）」と記載

工事計画本文（原規規発第 1606105 号 平成 28 年 6 月 10 日 認可）

- (注47) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（2-8818A、B）～逆止弁（2-8971A、B）を経てコールドレグループB注入ラインへの分岐点」と記載
- (注48) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「コールドレグループB注入ラインへの分岐点～逆止弁（2-8973A、B、C）」と記載
- (注49) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（2-8819）～分岐点」と記載
- (注50) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～逆止弁（2-8935A、B）」と記載
- (注51) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（2-8935A、B）～弁（2-8940A、B）」と記載
- (注52) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「アキュムレータA、B、C～弁（2-8808A、B、C）」と記載
- (注53) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（2-8808A、B、C）～逆止弁（2-8948A、B、C）」と記載
- (注54) 本設備は既存の設備である。
- (注55) 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）と兼用
- (注56) 蒸気タービンの附属設備及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）と兼用

1907

工事計画本文 (原規規発第 1606105 号 平成 28 年 6 月 10 日 認可)

8 化学体積制御設備に係る次の事項

(2) ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料及び個数並びに原動機の種類、出力及び個数 (1/2)

名 称			変 更 前	変 更 後
			充てん/高压注入ポンプ	充てん/高压注入ポンプ (注1)
種 類	—		うず巻形 (注2)	変更なし
容 量	m ³ /h/個			
揚 程	m			
最 高 使 用 圧 力	MPa			
最 高 使 用 温 度	℃			
主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm		
	吐 出 口 径	mm		
	ケーシング厚さ	mm		
	た て	mm		
	横	mm		
	高 さ	mm		
材 料	ケーシング	—		
	ケーシング	—		
	カバ	—		
個 数	—			変更なし

(次ページに続く)

#62

工事計画本文 (原規規発第 1606105 号 平成 28 年 6 月 10 日 認可)

(2/2)

			変更前	変更後				
ポンプ	取付箇所	(注9) 系 統 名 (ラ イ ン 名)	—	A充てん/ 高圧注入ポンプ	B充てん/ 高圧注入ポンプ	C充てん/ 高圧注入ポンプ		
		設 置 床	—	A充てん/ 高圧注入ライン	B充てん/ 高圧注入ライン	C充てん/ 高圧注入ライン		
		溢水防護上の 区 画 番 号	—	[Redacted]				
		溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—					
原動機	種 類	—	[Redacted]					
	出 力	kW/個				変更なし		
	個 数	—				ポンプと同じ		
	取 付 箇 所 (注9)	—				ポンプと同じ		

#263

工事計画本文（関原発第 123 号 平成 30 年 5 月 24 日 にて軽微変更届出）

名称			変更前	変更後						
ポンプ	種	類	充てん/高圧注入ポンプ ^(注1)	変更なし						
	容	量			m ³ /h/個					
	揚	程			m					
	最	高			使用	圧	力	MPa		
	最	高			使用	温	度	℃		
	主要寸法	吸			込	口	径	mm		
		吐			出	口	径	mm		
		ケー			シ	ン	グ	厚	さ	mm
		た			て				mm	
		横							mm	
材料	高	さ		mm						
	ケー	シ	ン	グ	—					
	ケー	シ	ン	グ	—					
個	数	カ	バ	ー	—					
個	数			—						

(次ページに続く)

6364

工事計画本文（関原発第 123 号 平成 30 年 5 月 24 日 にて軽微変更届出）

(2/2)

			変更前			変更後
ポンプ	(注9) 取付箇所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	A充てん/ 高圧注入ポンプ	B充てん/ 高圧注入ポンプ	C充てん/ 高圧注入ポンプ	変更なし
		設 置 床	A充てん/ 高圧注入ライン	B充てん/ 高圧注入ライン	C充てん/ 高圧注入ライン	
		溢水防護上の 区 画 番 号				
		溢水防護上の 配慮が必要な高さ				
種 類						
出 力	kW/個					
原動機	個 数	-				
	取 付 箇 所 (注9)	-				

6A65

工事計画本文（関原発第 123 号 平成 30 年 5 月 24 日 にて軽微変更届出）

(注8) 注記について記載の適正化を行う。既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。平成28年6月10日付け原規規発第1606105号にて認可された既工事計画書には「記載の適正化を行う。既工事計画書には「横置多段片吸込うず巻きポンプ」と記載」と記載

(注9) 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備及び計測制御系統施設のうちほう酸注入機能を有する設備に使用する場合の記載事項

65
66

#7-68

変更前						変更後					
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	
(注11)			(注3,6)	(注3,6)		(注5)					
充てん/高圧 注入ポンプ A、B、C 出口レギュレーサ (4×3) ~ 充てん/高圧 注入ポンプA、B 出口ライン 分岐点 及び 充てん/高圧 注入ポンプC 出口ライン 分岐点 上流レギュレーサ (4×3)						充てん/高圧 注入ポンプ A、B、C 出口レギュレーサ (4×3) ~ 充てん/高圧 注入ポンプA、B 出口ライン 分岐点 及び 充てん/高圧 注入ポンプC 出口ライン 分岐点 上流レギュレーサ (4×3)					
化学体積制御設備	18.8	150	114.3	11.1	SUS32TP	化学体積制御設備					変更なし
	(注2)		88.9	11.1	(注6)						

70

変更前					変更後						
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
化学体積制御設備	(注6) 弁(2A0V-8145) ~ 弁(2V-8377)	17.16	343	(注3) (最小) 9.4	ASTM A182 F304 (注3) (SUSF304 相当)	化学体積制御設備	変更なし				
				(差し込み部の内径) 61.1							
				(差し込み部の内径) 61.1							
				(9.4)							

(注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てんポンプ入口ライン集合母管」と記載

(注2) SI単位に換算したものである。

(注3) 公称値

(注4) エルボについては既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。厚さについては管と同等以上のものを選定する。なお、記載内容は、設計図書による。

- (注5) 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備及び計測制御系統施設のうちほう酸注入機能を有する設備と兼用
- (注6) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- (注7) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁(2-8706A、B)～充てんポンプ入口ライン集合母管」と記載
- (注8) 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備と兼用
- (注9) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁(2-LCV-115B、D)～充てんポンプ入口ライン集合母管」と記載
- (注10) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てんポンプ入口ライン集合母管～充てんポンプA、B、C」と記載
- (注11) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てんポンプA、B、C出口レギュレーサ(4×3)～充てんポンプ出口ライン集合母管」と記載
- (注12) 重大事故等時に使用
- (注13) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てんポンプ出口ライン集合母管レギュレーサ(4×3)～レギュレーサ(4×3)」と記載
- (注14) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レギュレーサ(4×3)～弁(2-8107)」と記載
- (注15) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SUS27TP」と記載
- (注16) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁(2-8107)～抽出水再生クーラ入口」と記載
- (注17) 重大事故等時における使用時の値
- (注18) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「抽出水再生クーラ～弁(2-8146)」と記載
- (注19) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁(2-8146)～弁(2-8378B)」と記載
- (注20) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁(2-LCV460)～抽出水再生クーラ～レギュレーサ(3×2)」と記載
- (注21) 本設備は記載の適正化のみ行うものであり、手続き対象外である。
- (注22) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁(2-8149A、B、C)～抽出水非再生クーラ」と記載
- (注23) エルボを示す。
- (注24) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(最小)6.1」と記載
- (注25) 公称値は既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。
- (注26) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SUSF304相当(ASTM A182 F304)」と記載

5071

工事計画本文（原規規発第 1606105 号 平成 28 年 6 月 10 日 認可）

- (注27) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(最小) 6.1 / (最小) 6.1 / (最小) 6.1」と記載
- (注28) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(最小) 6.1 / (最小) 6.1 / -」と記載
- (注29) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (2-LCV-115E) ~レジューサ (8×4)」と記載
- (注30) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (8×4) ~充てんポンプ入口ライン集合母管」と記載
- (注31) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てんポンプ出口ライン集合母管分岐点~弁 (2-8105)」と記載
- (注32) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (2-8105) ~レジューサ (3×2)」と記載
- (注33) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (3×2) ~封水注入フィルタA、B~レジューサ (3×2)」と記載
- (注34) エルボについては管と同等以上の厚さのものを選定する。
- (注35) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (3×2) ~各冷却材ポンプへの分岐ラインレジューサ (3×2)」と記載
- (注36) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (3×2) ~レジューサ (2×1)」と記載
- (注37) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (2×1) ~弁 (2-8369A、B、C) ~レジューサ (2×1)」と記載
- (注38) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (2×1) ~レジューサ (2×1 1/2)」と記載
- (注39) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (3×2) ~封水フィルタ~封水クーラ~弁 (2-8484、2-8482)」と記載
- (注40) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てんラインからの分岐点~弁 (2-8145)」と記載
- (注41) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(最小) 9.5」と記載
- (注42) SUS27TP同等材 (SUS304TP) への取替えを行う。
- (注43) 記載内容は、既工事計画認可申請書 (平成23年8月1日付け関原発第203号工事計画認可申請書、平成23年8月15日付け平成23・8・01原第6号にて認可) による。なお、本工事計画は、認可された工事計画に対して、基本設計方針の変更を行うことに伴い申請するものである。

72
#E

関西電力株式会社
高浜発電所第2号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1610072号99
成績書管理番号：1-16

令和5年3月
原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-16

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第2号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和5年3月29日
至 令和5年3月29日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	
	関原発第321号(平成28年10月7日)
	関原発第435号(平成30年3月20日)
	関原発第47号(平成30年4月20日)
	関原発第203号(平成30年7月4日)
	関原発第260号(平成30年8月20日)
	関原発第416号(平成30年12月5日)
	関原発第505号(平成31年2月1日)
	関原発第513号(平成31年2月6日)
	関原発第4号(平成31年4月4日)
	関原発第69号(2019年5月16日)
	関原発第116号(2019年6月24日)
	関原発第205号(2019年8月23日)
	関原発第511号(2020年1月31日)
	関原発第543号(2020年2月26日)
	関原発第618号(2020年3月24日)
	関原発第23号(2020年4月7日)
	関原発第23号(2021年4月30日)
	関原発第293号(2021年8月2日)
	関原発第562号(2022年2月28日)
	関原発第585号(2022年3月15日)
	関原発第137号(2022年6月10日)
	関原発第209号(2022年7月1日)
	関原発第580号(2022年12月27日)

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-16

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和 5 年 3 月 29 日	良	荒 太 徹 宇野 正 登	ボイラ...タセン主任技術者 [Redacted] 発電用原子炉主任技術者 [Redacted]	なし

3

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：1-16

検査年月日：令和5年 3月 29日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・一	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-16

検査年月日：令和5年 3月 29日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	⓪良・一	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	⓪良・一	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	⓪良・一	
系統構成が完了していること。	立会 記録確認	⓪良・一	

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-16

検査年月日：令和5年 3月 29日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検 査 対 象			
原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 ポンプ 原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備） ポンプ 主配管 別添1参照の太線枠内の範囲			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統性能検査 ・ 運転性能検査 系統機能検査 ・ 通水検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	(目視) (記録確認)
備考 ・ 記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T2-3-0005 ・ 目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
 (三号検査)
 (立会検査)

成績書管理番号：1-16

検査年月日：令和5年 3月 29日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
ポンプ	運転性能検査 ^{※2}		良	目視 ^{※1}
主配管	通水検査	-	良	
以下余白				

備考

※1：別添1の太線枠内の範囲（検査範囲の詳細については、別添2参照）

※2 判定基準：容量 120m³/h/個以上、揚程 150m以上

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
 検査用計器一覧表

成績書管理番号：1-16
 検査年月日：令和5年3月29日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
系統性能 検査	圧力計	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	2018/8/21 次回定期事業者検査 まで	
					2018/8/21 次回定期事業者検査 まで	
	流量計				2021/8/11 次回定期事業者検査 まで	
以下余白						

原子炉冷却系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの（蒸気タービンに係るものを除く。）にあつては、次の事項

7 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備に係る次の事項

- (1) ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所

・常設

工事計画本文（原規規発第 1606105 号 平成 28 年 6 月 10 日 認可）

(1/2)

名 称			変 更 前	変 更 後	
ポンプ	種 類	—	—	原子炉下部キャビティ注水ポンプ (注1)	
	容 量 (注2)	m ³ /h/個			
	揚 程 (注2)	m			
	最高使用圧力 (注2)	MPa		2.7	
	最高使用温度 (注2)	℃		95	
	主要寸法	吸 込 口 径		mm	—
		吐 出 口 径		mm	
		ケーシング厚さ		mm	
		た て		mm	
		横		mm	
	材 料	ケ ー シ ン グ		—	—
		ケーシングカバー		—	
	個 数	—		1	

(次ページに続く)

6

			変 更 前	変 更 後
ポンプ	取付箇所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—	原子炉下部キャビティ注水ライン
		設 置 床	—	
		溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	
		溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	
原動機	種 類	—	三相誘導電動機	
	出 力	kW/個		
	個 数	—	1	
	取 付 箇 所	—		

(注1) 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）と兼用

(注2) 重大事故等時における使用時の値

(注3) 公称値

(注4) 原子炉下部キャビティに注水する場合の値

(注5) 原子炉格納容器内にスプレイする場合の値

(注6) 復水タンクの水を燃料取替用水タンクに供給する場合の値

原子炉格納施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るものにあつては、次の事項

3 圧力低減設備その他の安全設備に係る次の事項

(1) 格納容器安全設備に係る次の事項

リ 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・常設

工事計画本文 (原規規発第 1606105 号 平成 28 年 6 月 10 日 認可)

変更前						変更後					
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	
						格納容器安全設備 原子炉下部 キャビティ注水 ポンプ出口配管 分岐点 ～ 弁 (2MOV-5420)	2.7 (注9)	95 (注9)	(注3, 26)	(注3, 26, 27)	(注26)
					88.9				5.5	SUS27TP	
					(注3)				(注3, 27)		
					88.9				5.5	SUS304TP	
					(注3)				(注3, 27)		
					89.1	5.5	SUS304TP				
					(注3)	(注3, 27)					
					165.2	7.1	SUS304TP				
					(注3)	(注3)					
					165.2	7.1	SUS304TP				
					/	/	SUS304TP				
					89.1	5.5					

(次ページに続く)

12

変更前					変更後									
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料			
						格納容器安全設備 原子炉下部 キャビティ注水 ポンプ出口配管 分岐点 ~ 弁(2MOV-5420)	(注9) 2.7	(注9) 95	(注3, 26)	(注3, 26, 27)	(注26)	88.9	5.5	SUS27TP
					(注3)				(注3, 27)	88.9	5.5	SUS304TP		
					(注3)				(注3, 27)	89.1	5.5	SUS304TP		
					(注3)				(注3, 27)	165.2	7.1	SUS304TP		
					(注3)				(注3)	165.2	7.1	SUS304TP		
							89.1	5.5			SUS304TP			

(次ページに続く)

13

変更前					変更後						
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	
						格納容器安全設備	(注9) 2.7	(注9) 95	(注3) 88.9	(注3) 5.5	SUS304TP
					原子炉下部 キャビティ注水 ポンプ出口配管 分岐点				—	—	
									(注3) 89.1	(注3) 5.5	SUS304TP
									(注3) 165.2	(注3) 7.1	
									—	—	
									(注3) 165.2	(注3) 7.1	

41

変更前					変更後							
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
						格納容器貫通部 PEN#301	弁(2MOV-5420) ~ 格納容器貫通部 PEN#301	(7E9) 2.7	(7E9) 138	(7E3) 88.9	(7E3, 27) 5.5	SUS304TP
							格納容器貫通部 PEN#301 ~ 弁(2V-5421)	(7E9) 2.7	(7E9) 138	(7E3) 88.9	(7E3, 27) 5.5	SUS304TP

15

変更前					変更後							
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料		
					格納容器 安全設備 弁(2V-5421) ~ 下部キャビティ 取合点	(注9) 2.7	(注9) 138	(注3)	(注3)	SUS304TP		

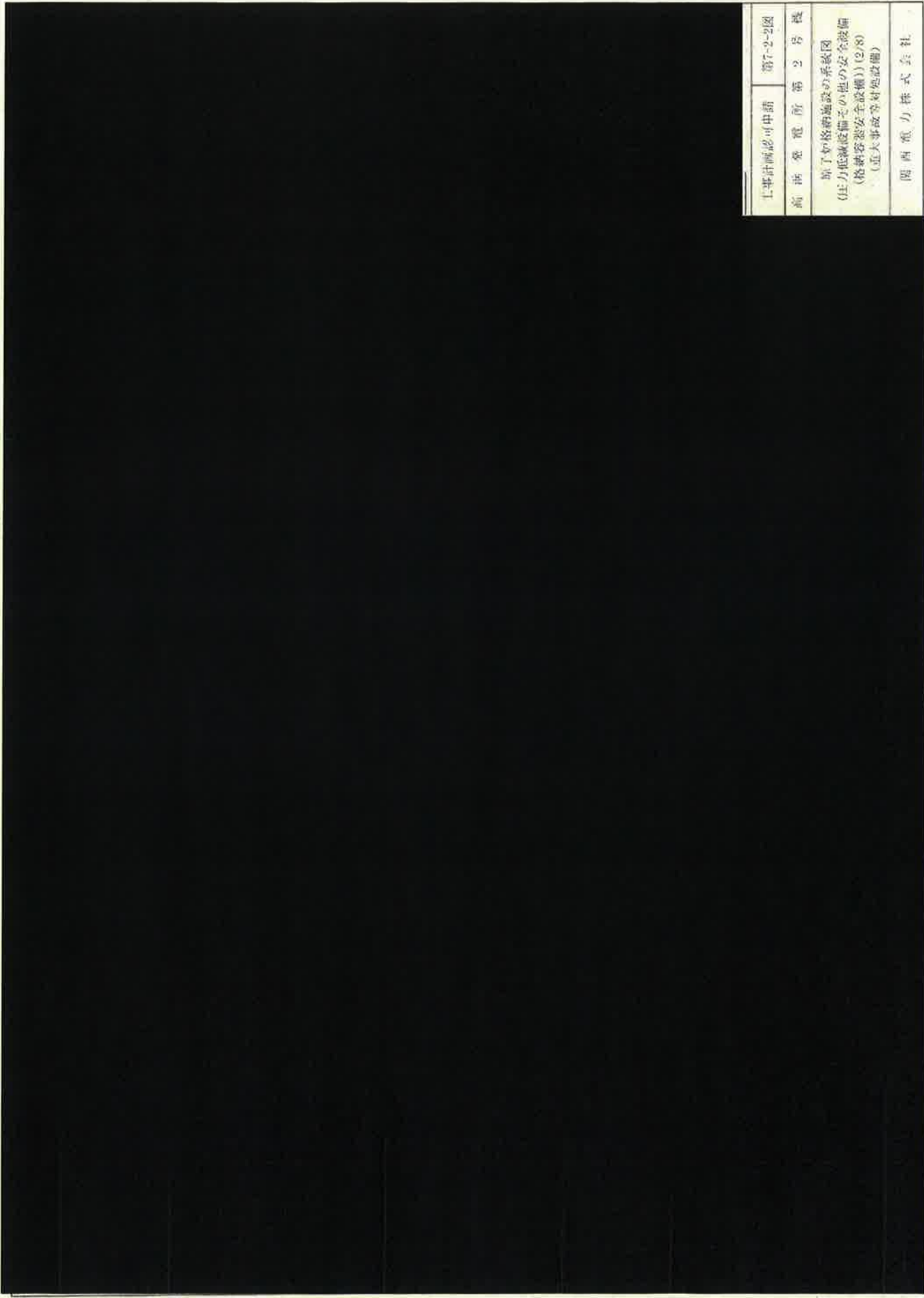
(注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁(2-6400A、B) ~内部スプレポンプ(SP-1、A、B、C、D) への分岐点」と記載
 (注2) SI単位に換算したものである。
 (注3) 公称値

- 9/
- (注4) 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備及びその他発電用原子炉の附属施設（火災防護設備）のうち消火設備と兼用
 - (注5) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
 - (注6) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「格納容器サンプB～弁（2-6408A、B）」と記載
 - (注7) 記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書「原子炉格納容器」による。
 - (注8) 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備と兼用
 - (注9) 重大事故等時における使用時の値
 - (注10) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（2-6408A、B）～内部スプレイポンプへの合流点」と記載
 - (注11) エルボについては既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。厚さについては管と同等以上のものを選定する。なお、記載内容は、設計図書による。
 - (注12) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレポンプへの分岐点～内部スプレポンプ入口レジューサ（10×8）」と記載
 - (注13) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレポンプ出口レジューサ（8×6）～内部スプレクーラへの合流点」と記載
 - (注14) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレクーラ入口合流点～内部スプレクーラ出口分岐点」と記載
 - (注15) 重大事故等時に使用
 - (注16) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレクーラ出口分岐点～外部しゃへい壁貫通部」と記載
 - (注17) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（2-6417A、B）～エゼクタ」と記載
 - (注18) エルボを示す。
 - (注19) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレポンプ出口分岐点～エゼクタ～内部スプレポンプ入口管」と記載
 - (注20) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「よう素除去薬品タンク～弁（2-6417A、B）」と記載
 - (注21) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「外部しゃへい壁貫通部～レジューサ（8×6）」と記載
 - (注22) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「オリフィス～内部スプレリングヘッド（1A、2A、3A、4A、1B、2B、3B、4B）」と記載
 - (注23) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレクーラ出口分岐点～弁（2-6411A、B）」と記載
 - (注24) SUS27TP同等材（SUS304TP）への取替えを行う。

(注25) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (8×6) および分岐点～オリフィス」と記載

(注26) 本設備は既存の設備である。

(注27) エルボについては管と同等以上の厚さのものを選定する。



工事計画認可申請 第7-2-2図

関西電力 第2号機

原子炉格納施設の系統図
(圧力低減設備その他の安全設備
(格納容器安全設備)) (2/8)
(重大事故等対応設備)

関西電力株式会社